

官報 號外

明治三十九年三月十七日

土曜日

印刷局

○第二十二回 帝國議會 衆議院議事速記録第十六號

明治三十九年三月十六日(金曜日)午後一時六分開議

議事日程 第十五號 明治三十九年三月十六日

午後一時開議

- 第一 官國幣社經費ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第三 貨幣法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第五 徵兵令中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第七 鐵道國有法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第八 京釜鐵道買收法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第九 韓國ニ於ケル裁判事務ニ關スル法律案 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十 醬油稅則中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

○議長(杉田定一君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

- 一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
農工銀行補助法中改正法律案
- 一 貴族院ヨリ送付セラレタル政府提出案左ノ如シ
臺灣總督府鐵道部現金前渡官吏設置ニ關スル法律案
- 一 議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
明治三十三年勅令第二百二十二號廢止ニ關スル建議案
- 提出者 川島 瀧藏君 神崎 東藏君
- 明治三十三年法律第八十六號改正法律案
- 提出者 內山 吉太郎君 中西 六三郎君 柳田 藤吉君
- 一 山根正次君提出不具藥品ノ取締ニ關スル質問ニ對シ原內務大臣ヨリ左ノ答辯アリ
衆議院議員山根正次君提出不具藥品ノ取締ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候也

明治三十九年三月十五日

衆議院議長杉田定一殿

內閣總理大臣侯爵西園寺公望

內務省衆公第八號

衆議院議員山根正次君提出ニ係ル不具藥品取締ニ關スル質問ニ對スル答辯書

政府カ本期議會ニ藥品營業並藥品取扱規則改正法律案ヲ提出セサルハ尙調査ヲ要スル處アリト認ムルニ由ル
右及答辯候也

明治三十九年三月十四日

內務大臣 原 敬

一 貴族院ハ本院送付ニ係ル明治三十九年度歲入歲出總豫算追加案(第一號)ヲ否決シタル旨同院ヨリ通牒アリタリ

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)

一 委員長及理事左ノ適當選セラレタリ

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案 理事 武瀧 義雄君

委員長 寺井 純司君 理事 加瀬 禮逸君

明治三十八年法律第七十號中改正法律案 理事 小川 平吉君

委員長 大淵 龍太郎君 理事 鈴木 友治郎君

內國官憲ノ管掌ニ關スル事項ニ付統監ノ職權ニ關スル法律案 理事 安藤 新太郎君

委員長 橫井 時雄君 理事 鈴水 友治郎君

日本體育會國庫補助ニ關スル建議案 理事 安藤 新太郎君

委員長 山根 正次君 理事 安藤 新太郎君

催眠術取締ニ關スル建議案 理事 安藤 新太郎君

委員長 西山 彰君 理事 安藤 新太郎君

民事訴訟法中改正法律案 理事 安藤 新太郎君

委員長 向坂 弘君 理事 安藤 新太郎君

○議長(杉田定一君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、御諮リヲ致シマスコトガアリマス、森懋君ハ病氣ノため、明治三十八年法律第七號中改正法律案ノ委員ノ辭任ヲ願出ラレマシタ、許可シテ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、然ラバ其補缺トシテ、北村左吉君ヲ指名致シマス、諸君ニチヨット申上ケルコトガアリマスガ、近來往々脊廣服ヲ御着用ニナリ、又ハ縞ノ羽織ヲ御着用ニナツテ、御臨席ノ御方ガアルヤノ趣アリマス、衆議院規則第百七十一條ニ脊廣服ト云フモノハナリマセヌ

(「高聲ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 改メテ申上ゲマス、近來往々脊廣服ヲ御着用ニナリ、又ハ縞ノ羽織ヲ御着用ニナツテ、御出席ノ御方ガアルヤノ趣アリマス、此脊廣ノ服ハ、規則ニ於テナリマセヌト云フコトデアリマスカラ、先年モサウニ云フ物ヲ著テ御出席ヲ止メタヤウナ次第ゴザイマス、又縞ノ羽織ハ、略服ト云フコトニナルト思ヒマス、ソレアドウカ將來脊廣ノ服、又ハ縞ノ羽織ヲ御着用ニナツテ、御出席ノ御方ガアルヤニ御注意ヲ願ヒマス

一 日程第一、官國幣社經費ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、議案ノ朗讀

第一 官國幣社經費ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會

(書記朗讀)

官國幣社經費ニ關スル法律案

第一條 官國幣社ノ經費ハ國庫ヨリ之ヲ供進シ其ノ各社ニ對スル金額ハ內務大臣之ヲ定ム

天災事變ノ爲要スル臨時費用ノ外前項ノ經費ハ明治四十九年度ニ至ル迄ハ毎年二十二萬圓ヲ超ユルコトヲ得ス

第二條 從前官國幣社ニ於テ積立タル永遠資本金及維持元資金ハ官國幣社ノ基本財産トシ其ノ元本及利子ハ之ヲ費消スルコトヲ得ス

官國幣社ハ內務大臣ノ定ムル所ニ依リ前條供進金ノ一部ヲ蓄積シ前項ノ基本財産ニ繰入ルヘシ

內務大臣ニ於テ必要ト認ムルトキハ基本財産ノ利子ヲ官國幣社ノ經費ニ充ツルコトヲ得

官國幣社ノ財産及其ノ收入ハ內務大臣ノ定ムル所ニ依リ經費ニ充ツ

第三條 官國幣社ハ內務大臣ノ定ムル所ニ依リ臨時ノ費用ニ充ツル爲第一條供進金ノ中ヨリ一定ノ積立ヲ爲スヘシ

前項ノ積立金ハ各社共通ノ費途ニ充テ內務大臣ハ內務省神社局長ヲシテ之ヲ保管セシメ其ノ收支ヲ取扱ハシム

第四條 從前官國幣社ニ於テ積立タル官國幣社保存費共通金ハ前條各社共通金ニ編入ス

第五條 本法ハ官幣大社臺灣神社及別格官幣社靖國神社ニ適用セス

附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

○議長(杉田定一君) 原內務大臣

(內務大臣原敬君登壇)

○內務大臣(原敬君) 官國幣社經費ニ關スル法律案ニ付イテ、大體ノ説明ヲ致シマス、此法律ハ屢々議會ヨリ建議モゴザイマス、又法律案ノ提出モアツタコトデ、衆議院ニ於テハ、諸君ノ極メテ熟知セラル、法案ゴザイマス、要スルニ官國幣社ハ、國庫ヨリ其經費ヲ支辨スルコトヲ云フコトノ趣意ヲ明カニスルニ過ギヌノデアリマス、今日ニ於テモ國庫ヨリ相當ノ補助ヲ與ヘマシテ、其中ノ幾分ヲ積立金ト致サセ、將來ニ於テ神社ハ其經費ヲ以テ維持スルコトノ仕組ニ相成テ居リマスルガ、尙之ヲ國家ヨリ其祭案ヲ供スルコトヲ云フコトノ趣意ヲ明カニシテ置クタメニ、此法案ヲ提出シテ次第デアリマス、其金額ハ第一條中ニ掲ゲテアリマス通ニ、今日國庫ヨリ支辨致シテ居ル金額ニ相當致スノデアリマシテ、別段ニ之ガタメニ經費ヲ増スト云フ次第デアリマセヌ、官國幣社ハ國家ニ於テ祭ルト云フ趣意ヲ明カニスルニ過ギヌノデアリマス、尙詳細ノコトハ委員會ニ於テ説明致サウト思ヒマスガ、大體右ノ次第デアリマスカラ、願クハ速ニ御協賛アラシコトヲ希望致シマス

○遠山正和君 唯今御讀ミナリマシタ、此法案ハ、官國幣社ノ經營ハ法律ヲ以テセヌケレバ完全ナラヌト云フ趣意デゴザイマスガ、此法律案ヲ見マスルト、範圍ガ大變狹イ、是デハ勅令ヲ以テ範圍ガ廣クナデ居タノヲ、是ノ如ク法律ヲ以テ狹クシナケレバナラヌト云フ理由ハ、ドウモ私ハ解セヌノデアリマスカラ、此點ヲ詳カニ承リタイ、ソレカラ豫算ニ於キマシテハ、三十九年度デハ、二十二萬三千九百二十四圓ト云フ額デゴザイマスルガ、本案ニ據ルト、二十二萬圓ト極メテゴザイマス、將來我國體ニ於テハ官國幣

社ト云フ者ハ最モ重シセンナラヌ必要ガゴザイマス、將來經費ヲ増サナケレバナラヌ必要ガアラウト思フノデアリマスガ、此經費ヲ減スト云フノハ、ドウ云フ譯デアリマスガ、此二點ヲ御答フ願ヒマス

(政府委員法學博士水野練太郎君登壇)

○政府委員(法學博士水野練太郎君) 唯今ノ御質問ニ御答辯致シマス、此案ヲ法律案ト致シマシテ理由ハ、今日ノ會計法ノ補則ニ一即チ法律トナデ居ル補則ニ、神社費ト云フモノガ、義務費トナデ居リマス、而シテ官國幣社ニ從來下附シテ居リマシタ保存費ト申シマスモノハ、政府ノ義務ニナデ居ルノデアリマス、ソレデ今度ハ配付額ヲ多少變ヘナケレバナラヌ必要ガアリマシテ、法律ヲ以テスルノ適當アルト信ジマシタカラ、此案ヲ法律案ト致シタノデアリマス、ソレカラ第二ニ、此豫算ノ關係デアリマスガ、成程豫算ノ神社費ト云フコロニ、二十二萬何千圓ト云フコトニナデ居ルノデアリマス、其豫算ノ二十二萬圓ヲ云フノハ、官國幣社ノ費用ニ止ラヌノデ、官國幣社ニ加フルニ、招魂社ノ費用ガ這入デ居リマス、官國幣社ノ費用ハ、其中二十一萬圓ヲナデス、故ニ法律デ二十二萬圓ヲ超ユルコトヲ得ズト致シマシテモ、官國幣社今日ノ豫算ノ上ニ於テハ、差支ナイト認メタノデアリマスカラ、第一條ノ法律デ、二十二萬圓ト致シマシテモ、現時ノ狀態ニ於テハ、差支ガナイト認メルノデアリマス、此點ヲ御答致シマス

○恆松隆慶君 第二ノ日程ニ移ラシコトヲ希望致シマス

○議長(杉田定一君) 日程第二、右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ニ移リマス

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君 九名ノ委員、議長指名アラシコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 恆松君發言ノ通、九名ノ委員、議長指名ニ御異議ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス——第三、貨幣法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス

○恆松隆慶君 朗讀ハ省略セラレンコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 議案ノ朗讀ハ省略致シマス——阪谷大藏大臣

第三 貨幣法中改正法律案(政府提出貴族院送付)

貨幣法中改正法律案 (小字及一ハ貴族院修正)

第六條中第四號及第五號ヲ左ノ如ク改ム

四 五十錢銀貨幣 二匁七分(十「グラム」一二五〇)

五 二十錢銀貨幣 一匁零分八厘(四「グラム」一五〇〇)

第十條中第二號ヲ左ノ如ク改ム

二 銀貨幣五十錢ハ每片二厘一毛六(「グラム」〇八一〇)一千枚毎ニ

一匁零分八厘(四「グラム」〇五〇〇)二十錢ハ每片一厘零毛六

(「グラム」〇四〇〇)一千枚毎ニ六分五厘(「グラム」四三七五

○十錢ハ每片一厘零毛零八(〇「グラム」〇三七八〇)一千枚毎ニ五分八厘二「グラム」二七五〇〇)トス

附則

本法ハ明治三十九年六月一日ヨリ之ヲ施行ス
從來發行ノ銀貨ハ從前ノ通用スヘシ
本法施行前發行シタル銀貨ハ從前ノ規定ニ依ル

〔大藏大臣法學博士阪谷芳郎君登壇〕

○大藏大臣(法學博士阪谷芳郎君) 此法案ハ現在ノ補助貨幣ノ中デ、銀貨ノ五
十錢並ニ二十錢ノ量目ヲ輕ク致シマシテ、便利ニスルコト云フ趣意デゴザイマス、御承
知ノ通ニ、近來各國共ニ此補助貨幣ハ成ルベク攜帶ノ便利ヲ計シテ、量目ヲ輕クスル
ト云フコトニナリ居リマス、我國ノ補助貨幣ハ明治二十年金貨本位實施ノ際ニ於
キマシテ、從前ノ舊ニナリ居リマシタガタメ、少シク目方重過ギルノデ、ソレ故ニ多
年此改正ノコトニ付キマシテハ、取調ベテ居リマシテ、唯今五十錢ト二十錢ノ量目ヲ
改正ノコトガ調査ヲ終リマシタ、十錢ノ銀貨ハ此度ハマダ改正致シマセヌ、是ハ假リニ
調査致シマシタナレドモ、未ダ適當ナル形ヲ發見スルコトガ出來マセヌノデゴザイマス、
十錢デケハ暫ク現行ノ儘ト致シテ、置ク積リデアリマス、又銅貨ノ方ハ、調ガ出來テ居リマ
セヌ、是モ現在ノ補助銅貨ハ、矢張目方重過ギマスカラ、モウ少シ輕便ノモノニ致
シタイト云フ考ヲ持テ居リマス、是ハマダ調査ヲ終リマセヌ、即チ調査ノ終リマシタ五十
錢並ニ二十錢デケハ、此度量目ヲ改正シタイト云フ法律案デゴザイマス、是ノ如ク改正
ニ相成リマシタ結果、新ナル五十錢、二十錢ノ中ニ含マレテ居ル銀ト金ノ價值ヲ比
較致シマスルト、一ニ付イテ二十一ト云フ割合ニナリマス、各國ニ行ハレテ居ルハ、或
ハ一ニ付イテ十六位ニナリ居リマス、併ナガラ現在ノ日本ノ銀貨ノ補助貨幣ノ比準カ
ラ見マス、現行ハ一ニ付イテ二十八位ニナリ居リマス、餘程比準ガ少ナクナリマス
割合ニナリマス、サウ致シマスルト將來銀貨ニ變動ガアリマシテモ、此補助貨ガ鑄造サレ
ルト云フ憂ニ遠ザカル譯ニナリマス、是ハ貴族院ニ於キマシテモ、別段異議ハ無カッタ
ゴザイマス、併ナガラ貴族院ニ於キマシテハ、多少ノ修正ガゴザイマシタノハ、別段大體
ノ趣意ニ變リガアルノデハゴザイマセヌデ、法文ノ上ニ現ハシテ居ルコロノ數字ノ書方ガ
學理ニ適當シナイ、ソレ故ニ學理ニ適當シタヤウニ修正シタ方ガ宜カラウト云フノデ、貴
族院ニ於テ修正ニナリマシタノデ、其事ニ付キマシテハ、政府ト貴族院トハ十分協議致シ
マシテ、貴族院ノ修正ハ至極適當デアラウト考ヘマシテ、之ヲ同意ヲ表シテアリマス、貴
族院修正ノ通ニ本院ニ於キマシテモ、御協賛ヲ與ヘラレシコトヲ願ヒマス
○早速整爾君 チョット質問ガアリマス、唯今ノ御説明デ此案ノ大體ノ要點ハ能ク分ッテ
居リマス、大體ニ於テ異議ノナイヤウニ考ヘマスガ、此十錢銀貨ニ對シテハ、少シモ
改メルトコトヲシナイデ現在ノ儘ニシテ置カレト云フ理由ニ付イテ、チョット承ッテ見タイノ
デアリマス、チョット貴族院ノ方ノ議事ノ經過ニ付イテ考ヘマシテモ、大藏大臣ノ御説明ニ
依ルト、十錢銀貨ハ之ヲ五十錢、二十錢、ニ改メルト割合ニスルコト、餘程小サクナル、却
テ通用ノ上ニ於テ不便ヲ感ズルヤウニナルシ、殊ニ十錢銀貨ニ付イテハ、價格ガ違ッテ來
テモ、別ニ鑄造スト云フヤウナコトハ、無カラウト云フ御説明ノヤウニ考ヘマス、併シ今日
此補助貨ノ流通高ノ上カラ見マス、實ハ五十錢ヨリモ二十錢ヨリモ、十錢銀貨ガ一
番多額ヲ占メテ居ルノデアアル、ソレデアラカラ此銀ノ價ガ騰貴スルト云フ場合ガ參リマスレ
バ、十錢銀貨ハ鑄造スヤウニ相成ルモノト考ヘマスガ、之ニ對シテハドウ云フ御見込ヲ
持ッテ居ラルカ、形ガ餘リ小サ過ギテ通用上不便ト云フコトニナレバ、寧ロ品位ヲ下ケテ

適當ノ形ニシテ、之ヲ鑄替ヘスト云フ方法ヲ取ルガ如キモ、一ツノ途デアアルマイカ、之ヲ
鑄造スコトニ付イテ非常ナ差支ガアリ、十錢銀貨ハ改鑄シナイデモ、宜シト云フ根本ノ
御見込ガアルナラ承ッテ置キタイノデアリマス、ソレカラ序ニ貨幣法改正ト云フコトニ付イ
テ承ッテ見タイト思ヒマス、ハ、是マデ通用シテ居ルコロノ一圓紙幣ノ始末デアアル、貨幣
法ヲ改正セラル、ト云フ時機ニ方ッテハ、此一圓紙幣ノ始末ニ付イテ何トカ一ツ方法ヲ
講ジラレト云フコトガ、必要デアアルマイカ、私共ガ考ヘマシテモ、從來ノ此一圓紙幣ト
云フモノハ、本位貨ヲ代表シテ居ル者デアアルカ、或ハ補助貨デアアルカ少シモ、其性質ガ分
ヲナイノデアアル、言ッテ見レバ曖昧ナル性質ヲ帶ビテ居ル貨幣デアアル、勿論政府ハ此一圓
紙幣ヲ回收スルト云フ御方針デアアル、是ハ無論其當時ハ必要ガアッタノデゴザイマセウケ
レドモ、實際ニ於テ此一圓紙幣ヲ必要トスルト云フ社會ノ事情カラ、回收ト云フコトニ
付イテモ、手控ヘニナリ居ル模様デアアル、如何ニモ一圓紙幣ト云フモノハ、今日ノ社會
ノ事情ト致シマシテモ、最モ必要ナル貨幣トシテ、日本ノ國デハ行ハレテ居ルモノデゴザイ
マス、ケレドモ、此貨幣法ヲ改正スルト云フ時期ニ方ッテ、一圓紙幣ノ始末ヲドウスルト云
フ方針ヲ決定セラレト云フコトハ、頗ル適當ナル處置デアアルト考ヘルノデアリマス、之ヲ
純然タル補助貨トスルト云フコトハ出來ナイ、或ハ五十錢ノ補助貨ヲ止メテ、更ニ一圓
ノ補助貨ト云フモノヲ銀貨デ以テ替ヘルト云フヤウナコトノ出來ナイモノカ、免ニ角是マ
デ通用シテ居ル一圓紙幣ノ性質ノ曖昧ナルモノヲ改メ、ト云フ方法ヲ執ルコトハ出來
ナイモノデアアルカ、此點ニ關シテ政府ノ御見込ヲ伺ッテ見タイノデアリマス、ソレカラ銀貨ノ
改鑄ヲシテ在來ノモノモ、之ヲ使フテ置クコトニスルト、非常ニ流通貨幣ガ補助貨ニ替
タ物ガ、二種ノ變ッタモノガ二通り通用スルコトニナリマスカラ、是ニ付イテハ別ニ不都合
ナ點ハゴザイマスマイカ、チョット御見込ヲ伺ッテ置キタイ
(大藏大臣法學博士阪谷芳郎君登壇)

〔答辯ニ及バズ答辯ノ必要ナシ無用々々ト呼フ者アリ〕

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 簡單ニ御答致シマス、十錢ノ銀貨ハ之ヲ小サク致
シマスコトニハ品位ヲ墜スト云フコトヨリ外ニ途ハナイ、今日ノ補助銀貨ハ八百位ニナ
リ居リマスガ、之ヲ七百乃至七百五十位ニ品位ヲ墜シマスレバ、形ヲ小サクセヌ出來
マス、併ナガラ、サウ致シマスルト云フト、銀ノ色ガ惡クナリマシテ、流通上却テ不便ヲ
生ズルデアラウト云フノガ、多數調査委員ノ意見デアリマス、ソレデ十錢ハ此儘ニ致シテ
置キマシテモ、之ヲ買占メテ改鑄スルト云フヤウナコトハ、言フベクシテ出來ルモノデアリ
デアリマスカラ、暫ク現行ノ儘ニ存シテ、尙適當ナル考案ヲ加ヘルト云フヲ相當ト認メマ
ス(弊害ハゴザイマセヌカト呼フ者アリ) 弊害ハアリマセヌ、ソレカラ一圓札ハ急激ニハ
回收致シマセヌ、段々小サキ札ト云フモノガ、商業ノ發達ト共ニ其便利ハ感ジマセヌ
デアリマスカラ、追々大サキ札ニ改メマスガ、決シテ之ヲ急激ニ回收スルト云フコトハ致シ
マセヌ、此度ノ補助貨幣ノコトニ付キマシテ、矢張一圓ノ補助貨幣ヲ造ルト云フコトモ
十分調査致シマシタガ、是ハ矢張一利一害デ、現在本位貨幣ノ一圓ト云フモノハ、滿洲
及清國其他ニ通用致シテ居リマスカラ、其本位貨幣ノ一圓ト、補助貨幣ノ一圓トガ紛ラ
ハシタルト云フ議論デアリマシテ、其議論ノ解決ヲ告グルニ至ラナイカラ、此一圓ノ補助
貨幣ト云フコトハ其考デゴザイマスガ、是ハマダ此度決行スルト云フ時機ニハ達シテ居リ
マセヌ、暫ク是ハ後ノ考ニ譲リタイト思ヒマス、ソレカラ五十錢、二十錢ヲ新タニ改造致
シマスニ付キマシテ、從來ノ分ト新規ナルモノガ、同時ニ通用致シマシテモ、是ハドウチ
ラモ實價ガ廉イノデゴザイマスカラ、決シテ此通用上ニ妨ゲニナル氣遣ヒハゴザイマセヌ
○議長(杉田定一君) 日程第四、右議案ノ審査ヲ附託スベキ委員ノ選舉ニ移リマス

即チ此敷設費ノ以內ニ於テ買上ゲルト云フコトアル、即チ建設費以內ニ於テ買上ゲルト云フコトアル、即チ建設費以內ニ於テ買上ゲルト云フコトアル、斯ウ云フコトアル、ソレカラ他ニ別ニ何ニモナク、其以內ト云フコトハ、何ノ標準ニ依ツテ之ヲ買收スルコトアル、ソレカラ他ニ開クトコロニ依レバ、即チ此橫濱鐵道ノ如キモノハ、ハヤ既ニイロ／＼ノ風説アリマス、種々ノ情實ガ行ハレツ、アルト云フコトヲ聞キマス、マダ此通過シナイ先キニ、サウ云フコトガ發表セラル、ヤウナコトデハ、將來幾多ノ鐵道ヲ買上ゲルトキニ於テハ、ドウ云フ弊害ガ生ズルデアラウカト云フコトヲ、本員ハ大ニ憂慮ニ堪エナイデアアル、併シ是ハ隨分大イナル問題デアリマシテ、何レモ此事ニ付イテハ心配ヲシテ居ルトコロコトデアリマス、是ニ於テ當局者ノ確カリシタ、私ハ御答ガ聽キタイと思フ、ソレハ何カト云ヘバ、即チ此將來買收スルノ當局者ノ態度デアル、是ハ當局者ハ之ヲ買上ゲル場合ニ於テハ、一步モ假借セス、少シノ情實モ挾マズ、法律ノ示ストコロニ於テ、ドシ／＼ヤルデアラウト云フコトハ、小生モ——本員モ之ヲ信ジテ居ルガ、今ニ於テ既ニサウ云フコトヲ風聞スルト云フコトニナルト、餘程此前途ガ憂慮ニ堪エラレナイデアアル、ソレデ此事ニ付イテ當局者ニ於テハ、ハッキリシタ御答ガ聽キタイデアアル、デ此第七條ノ如キモノハ、ドウ云フコトヲ標準ニシテ買收スルデアルカ、又其他ノ點ニ於テモ、少シモ情實ヲ挾マナク、能ク儼然ト此法律ヲ施行スルデアルカ其邊ヲ能ク明確ニ御答ニ與リタイと思ヒマス

○遞信大臣山縣伊三郎君登壇

○遞信大臣(山縣伊三郎君) 御答致シマス、唯今御尋ノ此法律案ガ通過シタル曉ニハ、嚴重ニヤルカ否ヤ、ト斯ウ云フコトデアリマスガ、固ヨリ此法律ニ依ツテ十分情實ニ拘泥セズ、嚴重ニヤル積リデゴザイマス

○岡田治衛武君

○岡田治衛武君 本員ハ本案ノ討論ニ入ルノ前ニ於テ、政府ノ意思ヲ確メテ置キタイコトガアリマス、(君ハ此委員デアッタヤナイカ、委員會デ聽イタルウ)ト呼フ者アリ)ソレハ第十八條ニ於テ「買收ヲ受ケヘキ會社ノ營業ヲ營ム場合ニ於テハ其兼業ニ屬スル資產ヲ併セテ買收スルコトヲ得」トアル、此事ニ付イテハ、本員ガ委員會ニ於テ、政府ノ意思ヲ遞信大臣ニ御尋ラシテ、答ハ確カニ受ケテ居ル、併ナガラ尙本會ニ於テ明カニ意思ヲ固メテ置キタイデアアル、ソレハ此兼業ニ云フ文字バカリニ致シタナラバ、後日或ハ濫買ノ弊ヲ生ズルト云フヤウナ慮ガアルニ依ツテ、此兼業ト云フ意味ハ、即チ運送ノ用ニ供スル、直接ノ性質ノモノハ買收スルコトヲ得ルガ、其他ノモノハ買收シナイト云フコトヲ、明カニ御答シテ貰ヒタイと思フ、例ヘバ(「簡單々々」ト呼フ者アリ)差向キ北海道炭礦鐵道ノ、即チ炭山ノ如キモノハ、決シテ買ハナイデアアル、買收セヌデアアルト云フ御答デアラカ、ソレニ間違ナイカ、ドウカ、ソレカラ尙將來ニ於テモ、交通上ニ直接關係ノナイモノハ、買收セヌト云フコトヲ、本會ニ於テ明ニ答ヘテ貰ヒタイと思フデアリマス

○遞信大臣山縣伊三郎君登壇

○遞信大臣(山縣伊三郎君) 御答致シマス、昨日モ委員會ニ於テ、御答致シタ通、炭礦ノ如キモノハ買收致シマス

○岡田治衛武君

○岡田治衛武君 尙其他ノ項モ……

○議長(杉田一君)

○議長(杉田一君) 日程第七、鐵道國有法案、第一讀會ノ續ヲ開キマス、武富時敏君

○武富時敏君

○武富時敏君(拍手スル者アリ) 私ハ此鐵道國有法案ニハ、反對ヲ致シマスル一人デゴザイマス、ソレ

デ、反對ノ理由ヲ略述ベタイト思ヒマス、過日西園寺總理大臣ハ、此鐵道國有法案提出ノ理由ト致シマシテ、政府ハ、當初ヨリ今日マデ、鐵道ハ國有タルベキ方針ヲ有シテ居ルト云フノ趣意ヲ述ベラレマシテ、新橋橫濱間ノ鐵道ヲ、明治四年ニ政府ガ建築工事ニ著手致シマシタ、古イ歴史カラ繰立テ、此法案提出ノ理由ノ一ト致サレマシタガ、斯様ナ古イ歴史ヲ繰立テ、此國有法案ノ是非ニ何ノ關係ガアルノデゴザイマセウカ、私ハソレハ存ジマセヌ、併ナガラ、若シ古イ歴史ヲ繰立テマシラバ、從來政府ハ鐵道ニ對シテ、嘗テ一定ノ方針ハゴザイマセヌ、今日マデ維新ノ當初ヨリ、政府ガ全國ノ各鐵道ニ對シテ如何ナル方針ヲ採ツタカ、決シテ一定ノ方針ハゴザイマセヌ、其證據ニハ一方ニハ國有ノ方針ヲ採ツテ居ルガ如キ態度ヲ致シラバ、明治二十二年ニハ、北海道ノ鐵道ハ、政府デ建築ヲ致シテ、其建築費ヲ殆ト年額ニモ足ラザル、一東三支ノ直段ヲ以テ、之ヲ民間ニ拂下ゲタノデアアル、當時ハ誰ノ内閣デゴザイマシタカ、黒田内閣デゴザイマシタカ、山縣内閣デゴザイマシタカ、其邊ハ今確カニ記憶ハ致シマセヌガ、是ハ何デモ明治二十二年、明治二十三年ノ頃ノコトデアリマス、其他是マデ鐵道ノ言ハハ切賣ト云フヤウナコトヲ致シタコトハ度アル、此一例ヲ以テモ從來政府ガ鐵道ニ對シテ、嘗テ一定ノ方針ガナカッタト云フコトハ、明白デゴザイマス、併ナガラ斯様ナ古イ歴史ヲ繰立テ、政府ニ一定ノ方針ノ有無ヲ爭フハ、是ハ無益ノコトニ屬スルノデ、私ハ強テ爭ハ致シマセヌ、ソコデ果シテ從來政府ハ國有ヲ以テ一定ノ方針ヲシテ居タト云ヘバ、ソレデモ宜イ、又過日西園寺總理大臣ガ言ハレマシタヤウニ、是マデ鐵道ノ民設ヲ許シタノハ、鐵道ノ速成擴張ヲ圖ルタメ、一時ノ權宜ノ處置ニ過ギナイ、斯様ナコトヲ言ハレテ居リマス、ソレデモ宜シイ、民設ヲ許シタノガ、鐵道ノ改良擴張ヲ圖ル權宜ノ處置デアッタト云ヘバ、權宜ノ處置デモ宜シイ、併ナガラ權宜ノ處置デモ宜シイガ、今日ハ此權宜ノ處置ヲ止メルノ時期デハナイト、私ハ言ハウト思フ、權宜ノ處置ナリトシテモ宜イガ、此權宜ノ處置ヲ今日止メル時期デハナイ、如何トナレバ、鐵道ノ速成擴張ヲ圖ルト云フコトハ、今日ニ於テモ從來ヨリモ、少シモ減ジマセヌ、鐵道ノ改良速成ヲ圖ルノ必要ト云フコトハ、從來ニ比シテ、今日ハ益々急ナルコトヲ吾ハ信スルデアアル、益々急ナルコトヲ信ジマスガ故ニ、此鐵道ノ速成改良ヲ圖ルタメ、權宜ノ處置トシテ民設ヲ許スノ政策ヲ繼續スルノ必要ハ益々切ナルコトヲ感スルデアアル、成程權宜ノ處置ト謂ハヤ言ヘ、此民設ヲ許シタル政府ノ政策ハ、誠ニ其當ヲ得タルモノデアラ、其效果ト云フモノハ、今日著シク現ハレテ居ル、ソレハ政府ハ明治四年ニ鐵道ノ工事ニ著手ヲ致シマシタ、今日マデ二十四五年間ノ歲月ヲ費シテ、其成績ハドウデアアル、三十年——二十四五年間ノ歲月ヲ費シテ、政府ガ建築シ得タルコトノ鐵道ト云フモノハ、漸ク千三百哩——千二百哩ニ過ギマセヌ、然ルニ一方ノ民間ニ於テハ、ドウデアアル、民間ニ於テハ、鐵道ノ工事ニ著手ヲ致シマシタノハ、政府ノ鐵道ノ工事ニ著手ヲ致シマシタヨリモ、十年モ十五年モ後レテ著手ヲ致シテ居ル、十年モ十五年モ後レテ著手ヲ致シマシタ、僅カニ二十年間バカリニ、ドレダケノ鐵道ヲ落成セシメタカト云フト、三千何百哩ト云フ、政府ノ鐵道ノ殆ト二倍半ニ當ル鐵道ヲ落成セシメテ居ル、是ハ民間ノ事業デ落成シタノデアアル、民設ニ許シタル、所謂西園寺首相ノ權宜ノ處置ト云フモノハ、誠ニ其效果著シキモノデアラ、斯様ニ民間ノ事業ヲ發達シテ、民間ノ鐵道ハ——民設ノ鐵道ハ、政府ノ官線ヨリモ殆ト二倍半ノ延長ヲ見タト云フモノハ、誠ニ是ハ著シキ效果ト云ハザラ得マセヌ、ソレ故ニ今日益々此鐵道ノ改良發達ヲ圖ルノ急務感スル時代ニ、何ヲ苦シテ政府ハ此權宜ノ處置ヲ止メヤウトスルデアアル、更ニ其趣向ノアルトコロヲ知ルニ吾ハ苦シムデアリマス、是ニ付イテハ——此國有法案ヲ提出スルニ付イテハ、二ツノ理由トシテ政府ノ言フトコロハ、一ハ軍事上ノ理由、一ハ經濟上ノ理由、此二ツノ理由ニ付キマシテハ、過日來委員會ニ

於テ十分ニ質問致シマシタガ、如何セシ政府ノ答ヘルトコロハ、一トシテ吾々ハ其要領ヲ得
ナイ、第一此軍事上ノ理由トシテ、今日ノヤウニ各私立會社ガ全國各地ニ割據シテ居
テ、何等ノ不都合ヲ陸軍省ノ當事者ハ感ズルカト云ヘバ、ソレハ何等ノ不都合ヲ是マ
デ感ズルコトハナク、今日ノヤウニ、從來ドウ云フ不都合ガアツタカ、日清戰爭ノ年、
若クハ今度ノ日露戰爭ノ年ニ當リテ、鐵道ヲ民設ニ許可シテアルガタメニ、軍事上何
等ノ不便ヲ見タカト云ヘバ、陸軍大臣ハ之ニ答ヘテ、嘗テ何等ノ不便ヲ見タコトハナイ、
併ナガラ陸軍大臣ハ曰ク、從來ノ經驗ハ兵ヲ海外ニ送ルトキノ經驗デアラ、敵ヲ國內
ニ引受ケタトキノ經驗ハ未ダナイ、ソレモ若シ是ハ萬々アルベカラザルコトデアアルガ、萬々
一ニモ敵ヲ國內ニ引受ケタトキハ、隨分今日ノ鐵道制度ハ不都合ヲ感ズルコトガアラ
ウト思フニ依テ、當局者トシテハ萬一ノ變ヲモ尙慮テ、其事柄ヲナサナケレバナラス、
斯ウ云フ說デアアル、是ハマルデ言ハハ安想トモ評スベキコトデアリマシテ、我國内ニ敵
ヲ引受ケヤウナド、云フコトハ、萬々アリ得ベカラザルコトデアアル、併ナガラソレハ萬々アルベ
カラザルコトデアアルト云フコトヲ慮テ、其事柄ヲナサハ、軍事當局者トシテ然ルベキコト
デアモゴザイマセウガ、諸サウ云フ場合ヲ、今日ヨリ慮テ置イテ、此鐵道ニ對シテ、軍事當局
者ハドウ云フ註文ガアルカ、ドウ云フ註文ガアルカト云フコトヲ、餘程尋ネテ見マシタコ
ロガ、ソレニハ聊カ答ヘルトコロガゴザイマシテ、先ツ第一一列車ヲ以テ千人以上ノ人
ヲ乗スルニ足ル車輛ヲ備ヘルコトガ必要デアアル、又必要ナ場所ニハ千人以上ノ人ヲ上
ムルニ足ル停車場ヲ建築セシムルコトガ必要デアアル、併ナガラ是等ノコトト云フモノハ、短
距離ノ間ニ小資本ヲ以テ營業ヲ致シテ居ル私立會社ニ命令スルト云フコトハ、到底無
理タルヲ免カレヌ、ソレ故ニ是ハ官設ニシナケレバ致方ガアルマイト思フト云フ、陸軍大臣
ノ說モゴザイマセ、成程ソレハ小サナ會社ガカツク營業ヲ致シテ居ルモノニ對シテハ、寂
シイ線路ノ鐵道ニ對シテハ、一列車デ千人以上ノ積ムト云フヤウナ汽罐車ナリ、車輛ナ
リヲ備ヘ、又千人以上ノ人ヲ上下スルニ差支ヘノナイヤウナ停車場ヲ建築シテ置ク
ト云フコトハ、無理ニ相違ナイ、勿論無理デアアル、サウ云フ設備ニ金ヲ費シテ致シマスレ
バ、其會社ハ損失ヲ被ルト云フコトハ、無論ナ話デアアル、併ナガラ私設鐵道ニ對シテ、無
理ナル註文、之ヲ官設ニシテモ尙無理タルヲ免レヌ、官設ニスレバト申シテ、政府ハ鐵道
ニ投資スル無限ノ金ヲ持テ居ル譯デアナイ、政府ガ經營シテモ、民間デ經營シテモ、鐵道
ト云フモノハ、一ツノ是ハ營利事業デアリマスカラ、其線路ノ收益ガ得失相償ワレ、
立テ往クヤウデナケレバ、此鐵道ト云フモノハ立テ往クモノデハゴザイマセヌ、成程ソレハ政
府ノ經營ニ屬シテ、全國各鐵道ヲ一手ニ持ツテラバ、有無相通シテ、多少ハ損ヲスルヤ
ウナ線ガアツテモ、鐵道局ノ都合ハ左程苦カラヌト云フコトモゴザイマセウガ、併ナガラ、今
ノヤウノ註文ヲ全國各地ノ短距離ノ線路ニ對シテマデモ、陸軍ノ希望通ニ十分ニ之ヲ
完ウスルト云フコトハ、政府ノ鐵道トシテモ、是ハ無理タル註文ヲ免カレヌ、又無理ナル註
文デモ、是ハ軍事上ニ必要ト云フコトハ、是非シナケレバナラヌト云フコトデアレバ、詰リ金
サヘ出セバ私立會社ニシテ置イテモ、政府ガ持テ居テモ、出來ルコトハドツチニシテモ出
來ル、詰リ出來ルカ出來ヌカト云フコトハ、是ハ金トノ相談、算盤トノ相談デアアル、私立
會社ガ損ヲシテハ、誠ニ是ハ可哀サウデアアルカラ、政府カラ補助ヲシテ、ソレダケノ設備ヲ
平生サシテ置クト云フコトデアレバ、ソレデモ出來ル、又是ガ官設ニナツテモ、サウ云フ無理
ナ註文ヲ仕掛ケラレ、バ鐵道ノ方デハ、ソレニ補ヒト云フモノガ出テ來ナケレバ、ソレハ
出來マセヌ、詰リ出來ル出來ヌハ、官設ト民設トツレガ岐レルデナク、唯金トノ相談
デア出來ル出來ヌト云フコトハ岐レルデアアル、又必シモサウ云フ無理ナル註文ヲ是非トモ達
シナツテモ、サウ云フ線路ニ對シテハ、附近ノ官線ト連絡ヲ保ツヤウニ仕掛ケテ、十分ニ

完備シテサヘ置ケバ、一朝有事ノ日ハ、如何様ニモ之ヲ用ルルコトガ出來ルデアリマ
ス、ソレハ必シモ私ガ此處デ詳シイコトヲ説明シナクテモ、諸君ハ十分ニ御了解ノコト
デアラウト思フデアリマス、是ノ如ク軍事上ノ理由ト云フモノニ付イテモ、此國有ヲ必
要トスル理由ニハナリマセヌ、皆私立會社ニ遣ラシテ置イテモ、十分ニ出來得ルコトバカ
リデアアル、更ニ國有ノ必要タル理由ニハナリマセヌ、次ノ經濟上ノ理由ニ至テハ、尙更
ノコト、經濟上ノ理由トシテ、大藏大臣ナリ、若クハ遞信大臣ガ説明スルトコロハ唯統
一ト云フデアアル、全國鐵道ノ統一ト云フコトガ、經濟上必要デアアル、全國鐵道ノ統一
ト云フコトハ、吾々モ無論望ム、吾々モ無論望ムガ、此鐵道ノ統一ト云フコトハ、國有ニシ
テ、國有ニシナケレバ、統一ガ保テナイト云フ理由ハドコニアル、統一ト云フコトハ、國有ニシ
テ、民有ニシテモ出來ル、國有ニシテハバテ、必シモ國有ニシテバカリテ統一ノ出來ル譯
モナナイ、民有ニシテハ三十若クハ四十ノ會社ガ全國各地ニ割據シテ居テモ、之ヲ指揮
監督スルモノハ、政府ノ權能ニ屬スルモノデアリマスカラ、政府ガ之ヲ監督シテ十分ニ
其間ニ脈絡ヲ通セシムル手段ト云フモノハ幾重ニモアル、又現ニ私設鐵道法ナリ、其他
ノ法律命令ニ依テ、政府ガ此統一ノタメニ畫策スルノ手段ト云フモノハ、イクラモアル
デアアル、唯今日ハ政府ハ此手段ヲ怠テ居ル、統一ヲ保ツ手段ヲ探ナナイデアアル、ソ
レ故ニ統一ガ出來テ居ラヌ所以ノ根源ト云フモノハ、ドコニアルカト云ヘバ、政府ガ監
督ヲ怠テ居ル、詰リ今日ノ鐵道ノ不統一ト云フコトハ、監督者タル政府ノ無能ヲ表
示スルデアアル、私立會社ノ方ヨリシテ、却テ政府ノ鐵道ノ作業局ニ向テ連絡輸送ノ
交渉ヲ申出テ、作業局ハ之ヲ拒シタ事實ハイクラモアル、其他私立會社ヨリ、此交通
ノ便利ノタメニ、種々手段ヲ講究致シマシテ、作業局ニ交渉ヲ致シテ見ルト、獨リ作
業局ハ作業局自身ノ利益ヲ保護スルガタメニ私立會社ノ交渉ヲ拒絕シタ事實モイクラ
モアル、ソコデ申サバ鐵道ノ統一ヲ妨害シテ居ルモノハ誰カト云ヘバ、政府デアアル、(ヒヤ
ヒヤ)ト呼フ者アリ)私立會社ガ、鐵道ノ統一ヲ妨害シテ居ル事實モ、ソレハ少シハアリ
モ致シマセウ、アリモシヤウガ、サウ云フ事實ガアルナラバ、政府ハ之ヲ監督スルノ權能
ガアルデアゴザイマスカラ、此監督權ニ依テ、全國鐵道ノ統一ヲ保タシムルコトヲ計ラ
ナケレバナラヌ、併ナガラ其統一ヲ保ツコトヲ計ラナケレバナラヌ、政府ガ、其手段ヲ怠
テ居ルデアゴザイマスル、ソレ故ニ此經濟上ノ理由トシテ、所謂統一ノタメ頻リニ此統一
ト云フコトヲ呼ハルデアゴザイマスルガ、此統一ト云フモノハ、國有タルト民有タルト云フコト
ハ、最早明確デアラウト思フ、是ノ如ク鐵道國有ノ二ツノ理由トシテ、政府カラ頼ムコト
ノ軍事上立ニ經濟上ノ理由ト云フモノハ、右申ス通一トシテ國有ヲ必要トスル理由ニ
ハナリマセヌ、然ルニ何故ニ此鐵道國有ヲ主張スル人ガ、世間ニアルデアラウガ、又強テ
此全國ノ鐵道ヲ國有トシテ、之ヲ政府ノ獨占事業ニ致シマシタナラバ、最早是限リ我
國鐵道ノ改良發達ト云フモノハ茲ニ止マルデアアル、(ヒヤ)ト呼フ者アリ)元來唯
理窟カラ申シテモ、改良進步ト云フモノハ、競爭ノ結果デアアル、競爭ニ依テ始メテ改良
進步ト云フコトガ出來ルデアゴザイマスルガ、是ガ政府ノ獨占事業ニナレバ、此理窟カラ
申シテモ、改良進步ト云フモノハ、茲ニ止マルト云フコトハ論ヲ待タヌ、又是マデ官設鐵
道ヲ改良進步ヲ舉ゲタ事實ガアルカ否ヤ、皆鐵道ノ設備ニ進步ヲ見タノハ、私立會社
ヨリ其始メヲ爲シテ、私立會社ノシタ仕事ニ依テ、作業局ハ其儘ク付イテ居ルニ過
ギナイ、總テ客車ノ設備、又ハ貨物ノ取扱振リモ、皆私立會社ガ始メテ改良ノ手段
ヲ執テ、私立會社ガサウ云フ改良ノ手段ヲ執ルガタメニ、餘儀ナクセラレテ、政府ノ鐵

道其後ニ付イテ、眞似テ居ルコトハ、誰モ知ラズ事實アル、現ニ一例ヲ申セバ、明治五年以來、三十五年ノ間、此新橋橫濱間ハ、五十何分ノ速力ヲ、鐵道ハ走テ居ル、是ガ近來電車ガ出來テ新橋橫濱間ヲ二十七分間ニ達スルコトナリ、タカラ、サア鐵道局ハ驚イテ急行列車ヲ發スルコトニナリ、二十七分間ニ東京橫濱ヲ走ルト云フ計畫ヲシタアリマス、果シテ二十七分間ニ新橋橫濱間ヲ走ルベシ、力ガアルモノナレバ、明治五年カラ今日マデ三十五年ノ間、三十分ノ時間ハナセ損ラシテ居ル、時金也ト云フハ、即チ經濟上ノ金言、テゴザイマシテ、ソレヲ政府ノ作業局ハ怠ラ、今日三十五年ガ間、競争ガナク、五十何分ノ時間ヲ費シテ、東京ト横濱ト連絡ヲ附ケテ居ル、ソレガ電車ノ競争ニ出ツクハセテ、始メテ驚イテ、漸ク近來二十七分間東京橫濱ノ連絡ヲ取ルコトニナリ、競争ノ賜ハ是ノ如シ、然ルニ全國各地ノ鐵道ガ、政府ノ獨占事業トナリ、改良發達ハ茲ニ止マルト云フコトハ、明々白々一點ノ疑モゴザリマセヌ、又是ハ唯理窟ノコトデゴザリマス、實地ニ考ヘテ見ルニ、鐵道改良發達ト云フコトハ、金ガナケレバ出來ナイ、金ガナケレバ鐵道ノ改良發達ハドウシテ出來ルモノデナイ、然ルニ政府ハ如何ニシテ此全國各鐵道權ヲ一手ニ引受ケテ、改良發達ノ資金ヲドコヨリ持テ來ヤウト思フノアルカ、(ヒヤ)「ト呼フ者アリ」委員會デ、逕信省ノ政府委員ハ、説明シテ曰ク、果シテ此案ガ通過ヲ致シタ曉ニハ、鐵道ハ特別會計トナシテ、十分ニ改良發達ノ實ヲ擧グル積リデゴザル、所ガ特別會計ナルモノハ無イモノヲ有ルヤウニスル魔術デハゴザリマセヌ、特別會計ニシテモ、何ノ會計ニシテモ無イモノハドコマデモ無イ、特別會計ニシテモ無イ金ガ出ル氣遣ハ更ニナリノアリマス(「分リマシタ」ト呼フ者アリ)如何ニシテ此鐵道ノ改良發達ノ資金ヲ得ヤウトスルノデゴザイマス、此鐵道國有法案ト同時ニ、諸君ノ御手許ニ配付サレテ居ル四十年計畫ノ表ト云フモノガアル、アレハ吾々ハ何カ當局者ガ出鱈目ノ計算ヲ拵ヘテ、チヨット虚飾ヲシタノデアラウト存ジテ居リマシタガ、アノ表ハ政府ノ方デハ餘程重キヲ置イテ居ルモノト思ハレ、如何トナレバ阪谷大藏大臣ハ、過日委員會ニ於テ説明シテ曰ク、此表ニシテ果シテ確實アルナラバ、鐵道ヲ國有ニシテモ、財政經濟ノ前途ニ憂慮ヲ懷クニハ及バヌ、果シテ確實アルナラバ、前途憂ヲ懷ク氣遣ハ要ラヌ、斯ウ云フコトデゴザイマシタ、ソコデアノ表ハ確實不確實ト云フコトハ、此國有案ノ通過如何ニ、餘程ノ關係ヲ持テ居ル、假リニアノ表ヲ確實ナリト信ジテ見テモ、アノ表ニ依ッテサヘモ、鐵道國有ト云フモノハ、二四年間ハ買収公債ノ利息サヘモ拂フコトガ出來ズニ、年々損失ヲシナケレバナラヌ、アノ表ニ依ッテサヘモ三四年間ト云フモノハ損失ヲ免レマセヌ、既ニ損失ヲ免レヌ以上、此鐵道ノ今後ノ改良發達ニ、ドコヨリ金ヲ持來ルデアラウカ、改良發達ノ資金ヲ得ル所ハナリト云フコトハ明白デハゴザイマセヌカ、如何ニシテ特別會計ニ爲シタレバトテ、損失ヲスル鐵道ノ經濟ガ、俄ニ儲デ、改良發達ノ資金ニデモ、ソレカラ產出シテ來ルコト云フヤウナ魔術ハ、決シテ世間ニアルモノデハナイ、ドコマデモ無イモノハ無イ、損失ヲスルモノハ矢張損失ヲスル、又所謂四十年計畫ノ表ト云フモノハ吾々ノ眼デ見ルト、誠ニ杜撰ヲ極メタルモノデゴザイマシテ、少シモ當テニナリマセヌ、第一ガ誰ガ考ヘテ見テモ、政府ノ事業ト、民間ノ事業ト比較スレバ、政府ノ事業ノ方ガ不經濟デアラウト云フコトハ、誰モ是ハ疑フ容レヌコトデゴザイマシテ、現ニ此鐵道ニ於テモ、政府ノ官線ニ係ル營業費ト、私立會社ノ鐵道營業費ト比較シテ見ルト、非常ナ相違ガアル、(「私立ノ方ガ多イ」ト呼フ者アリ)私立ノ方ガ多イト云フ聲ガ聽エマスカ、ソレハ成程私立會社政府ノ官線ヨリモ多イ所モ、小サイ會社ニハアルカモ知レナイ、小サイ會社ニハアルカモ知レナイガ、全國デ申シテ見ルト、私立會社ノ方ガ餘程經費ハ少ナイノデアリマ

ス、現ニ線路ノ一哩ニ平均シテ見テモ、官線ノ方デハ一哩ノ平均ガ六千八百圓、殆ド七千圓ト云フ金ニナル、私立會社ノ所謂私線ト云フ方デゴザリマス、五千三百何十圓ト云フ金デゴザリマス、併ナガラ之ニ對シテハ、過日委員會ニ政府委員ハ辯ジテ曰ク、ソレハ成程線路ノ一哩ニ平均シテ見ルト、サウ云フ計數モ出テハ來ルガ、營業費ノ多少ト云フモノハ、詰リ線路ノ狀態ニ依ルノデアデ、一概ニ一哩ノ平均ヲ以テ多少ヲ論ズルコトハ出來ナイ、成程ソレハ其通、ソレハ尤ノ議論アル、唯一哩平均ノミヲ以テ、多少ヲ論ズルト云フコトハ無理デアリマス、併ナガラ、一哩平均ノミヲ以テ論ズルハ、無理デゴザイマセウカ、何レノ方面ヨリ統計ヲ取テ見テモ、私立會社ノ方ガ、誠ニ經濟デ、官線ノ方ハ誠ニ不經濟ヲ極メテ居ルト云フ數字ハ歴々トシテ出テ來ル、列車ノ走ル、所謂列車走行哩數ト云フモノニ平均シテ見テモ、私設ノ方ガ餘程少ナイ、何レノ方面カラ見テモ、私設會社ノ方ガ、餘程經濟ニ出來上ッテ居ルガ、政府ノ當局者ハ、ドウシテモ官線ノ營業費ガ、私線ノ營業費ヨリモ廉ク見ユルヤウナ統計ヲ出シタイト思ハレタノデアリマス、ドウデアリマス、ソコマデハ穿鑿ヲ致シマセヌガ、人噸哩ト云フコトヲ考出シタ、人噸哩ト云フモノハ、隨分妙ナ言葉デアルガ、詰リ旅客ノ人數ト、貨物ノ噸數ト、之ニ營業費ヲ割當テ、其百哩ニ付イテ、官線ガイクラニ當リ、私線ガイクラニ當ルト云フ統計ヲ考出シテ來タノデアリマス、之ヲ考出シテ來テ、且ツ是ハ最モ事實ニ近イ殊ニ官私ノ營業費ノ比較ヲスルニハ、最モ確實ナル標準デアル、斯ウ云フ前置ヲ致シテ、出シテ來マシタトコロ、所謂人噸哩ト云フノガドウデアルカト云フ、是デモ矢張官線ノ方ガ少々高イ百哩ニ付イテ八十錢——官線ノ方ハ八十錢ト、私線ノ方ハ七十錢減ニ是ハ少々違ヒデアル、先ツ是ナレバ殆ド官線モ私線モ營業費ハ同一ト見テモ宜シウゴザイマス、ガ、諸君ノ考ヘルト此同一ナルノガ、即チ官線ノ最モ不經濟ヲ極メテ居ルト云フ證據ニナル、人噸哩ト云ヘバ、所謂旅客ノ人數、貨物ノ噸數ニ、營業費ヲ割當テタノデアリマス、官線ノ——此東海道線ノ如キ、東京大阪ト云フヤウナ、日本最大ノ都會ヲ連絡スル線路デゴザイマス、旅客モ貨物モ何時デモ例車ニハ積切レヌ程ノモノガアル、決シテ空車ヲ引張ッテ往クト云フヤウナ憂ハ、年百年中當テゴザイマセヌ、然ルニ私線ニナリマス、連モ東海道線ノヤウニ、旅客貨物ノ多イ線路ハゴザイマセヌ、田舎ハ參リマス、皆御承知ノ通り一等車ナド、云フモノハ、殆ド空車バカリ引張ッテ居ル、又貨車ニ致シマシテモ、積載量ハ五噸カ六噸ゴザイマシテモ、依頼ノ貨物ガ、二噸カ三噸ニ過ギナイノデ、六噸ノ積載量ヲ持チナガラ、三噸ノ貨物ヲ載セテ引張ッテ居ルト云フモノハ、始終有勝ノ例デゴザイマス、併ナガラ一列車ヲ動カスニハ、矢張同ジ營業費ガ掛ルノデゴザイマス、此營業費ヲ少ナイ旅客ノ數ト、少ナイ貨物ノ數ニ割當テマシタモノガ、官線ノ東海道線ノヤウナ旅客貨物ノ非常ニ輻湊スル、此線路ニ對スル營業費ヲ多イ旅客ノ數ト、多イ貨物ノ數デ、割ッタモノト、少ナイ旅客ノ數ト、少ナイ貨物ノ數デ割ッテ營業費ノ額ヲ比較シテ、同一デアルト云フモノハ、官線ガ非常ニ不經濟ヲシテ居ルト云フコトハ、是デ明白ノ數デアラウト思フ、是ノ如ク官線ノ營業ト云フモノハ、不經濟ヲ極メテ居ルノデアル、ソレニ今度政府ノ計畫通、三十二ノ會社ヲ買収シテ、其鐵道ノ改良費ハ、ドウスルカ、三年間バカリト云フモノハ、改良費ト云フモノハ皆無デアル、損ヲスルノデアルカラ、改良費ナドノ出ヤウハナイ、又三年先ハ多少儲ルヤウナコトニ計算ヲ拵ヘテ、其儲タ後ハ改良費ハイクラ支出スルカト云フ、此四十年間ノ表ノ、前ノ二十年間バカリノ計算デハ、改良費ト云フモノハ、建設費ノ一部ニモ足ラヌ位デアル、然ルニ是マデ私設鐵道ノ成績ニ徵シテ見ルト、ドノ位ノ改良費ヲ費シテ居ルカト云フ、ソレハ全國ノ鐵道ノ種類ニ依ッテハ、イロ／＼ゴザイマス、概シテ平均

三分——建設費ニ對シテ三分乃至四分ノ改良費ヲ使テ居ルノデアル、然ルニ政府ハ之ヲ買収シテ、二年間ト云フモノハ、改良費ハ皆無其後ノ改良費ト云フモノ、僅ニ建設費ニ對シテハ、一分ニモ充タヌ位ナ、誠ニ九牛ノ一毛トモ云フベキ、改良費デ、ドウシテ此鐵道ノ改良ガ出來ヤウカ、如何ニシテ此鐵道ノ現狀サヘモ維持スルコトガ出來ヤウカ、斯様ナモノ總テ、此四十年間ノ表ト云フモノガ、全ク架空ノ妄想ヨリ成立テ居ル表ト我輩ハ評シテ憚ラヌ、總テ架空ノ妄想デ、此表ト云フモノガ出來テ居ル、況ヤ又利ヘ軍事當局者ガ希望セラレハ如何ク、寥々タル寒村ニモ、尙且千人以上ノ旅客ヲ上下セシムルニ足ルヤウナ、停車場ヲ建築スルカ、或ハ平生ハ旅客モ貨物モ餘リナイヤウナ、極ク寂シイ線路ニ對シテモ、千人以上ヲ載スルヤウナ列車ノ汽罐車ナリ、客車ナリヲ準備シテ置クト云フヤウナ註文ガ續々ト出テ來テ、少ナカラヌ金ヲ此鐵道ニ費サナケレハナラヌト云フコトニナリマス、三十二會社ヲ買潰シテ、全國ノ鐵道ヲ政府ノ一手ニ引受ケテ、其公債ノ元利サヘモ拂フコトガ出來ヌト云フヤウナ結果ニナルカモ知レマセヌ、總テ此計算ト云フモノガ、架空ノ妄想ニ出テ居ルノデゴザイマス、今後ノ結果ハ、如何ニ成行クカ、吾々ハ甚ダ憂慮ニ堪ヘナイ、ソコデ阪谷大藏大臣ハ此表ニシテ確實ナレバ、財政經濟上將來憂フルトコロハナイト言ハレマシタガ、此表ノ確實ナラザルコトハ、今申ス通デゴザイマス、財政ノ局ニ當テ、其責任ヲ持テ居ラル、阪谷大藏大臣ハ、宜シク再ビ閣議ヲ開クコトヲ請求シテ、此案ノタメニ再讀ヲ盡サレシコトヲ私ハ望ムノデア、(「ヒヤ」)「ト呼フ者アリ」然ラザレバ財政當局者ノ責任トシテ、上ハ陛下ニ對シテハ國民ニ對シテ、相濟ムマイト考ヘルノデアリマス、(「ヒヤ」)「又ハ」然リ「ト呼フ者アリ」殊ニ又此三千哩以上ノ線路ヲ政府ガ引受ケテ以上ハ、是ニ對シテ少ナカラヌ改良費ガ要ルノミナラズ、今後ハ益々之ヲ擴張シテ往カナケレハナラヌト云フコトハ勿論ノコトデゴザイマス、今申ス通ノ譯デハドウシテ之ガ出來ルノデアリマセウ、又公債デモ募集スルト云フヨリ外ニ手段ハナインデ、サスレバ既ニ買収ノタメニ四億七千萬圓ノ公債ヲ、募リ又今後此鐵道ノ改良費達ヲ圖ルタメニ、公債ヲ募集スル、詰リ四億七千萬圓ノ公債ガ、五億トナリ六億トナリト云フコトハ、瞬ク間デアラウト思フ、併ナガラ、既ニ政府ノ經營ニ屬シテシマツタ以上ハ、改良費達ノ一日モ忽セニスルコトハ出來ヌト云フ工事ニ對シテモ、政府ノ都合ニ依テ始終之ハ、繰延ベ或ハ工事ノ中止ト云フコトガ、他ノ政務ノ都合ノタメニ、此鐵道ガ其影響ヲ受ケナケレハナラヌト云フ境遇ニ陥ル、ソレハ是マデモ總テノ鐵道ガ動モスルコト政府ノ都合ニ依テ——政府ノ他ノ政務ノ都合ニ依テ工事ガ中止サレ、或ハ繰延ベラレト云フコトハ、始終アル例デアリマシテ、私が必シモ今喋々スルコトヲ要シマセヌ、所ガ全國ノ各鐵道ハ皆其有様ニ陥リ、果シテ鐵道ノ經濟ノタメニ何ノ利益ガアル、鐵道ト云フモノハ政治ノ影響ヲ受ケズニ、自然ノ發達ヲ遂グルコト、經濟上利益ノコトデゴザイマスガ、政府ハ百般ノ政務ニ當テ居ルノデゴザイマスカラ、政府ノ經營ニ屬シタ以上ハ、矢張政府ノ都合ニ依テ始終此鐵道ト云フモノガ左右サレ、支那ニ騷動ガ起テ兵ヲ出サナケレハナラヌ、之ニ費用ガ掛ル、サア鐵道ヲ繰延ベト云フヤウナコトガ始終アデハ、鐵道ノタメニハ誠ニタマツタ話デハナインデ、殊ニ又從來政府ノ情弊ト致シテ、有力ナル大臣ガ坐リマシタ省ノ事業ト云フモノハ、忽チ盛シニナル、其實體ニ於テハ左程急要ナラザル事業モ、有力ナル大臣ガ坐テ居ル省ノ所管デアレバ、ズンズンツレハ舉テ往ク、若又世間デ云フコトコロノ伴食大臣ノ居ル省ノ仕事デアルト、急要ナ仕事、必要ナ仕事デアデモ、動モスルト閣議ヲ打消サレ、斯ウ云フコトハ從來ノ情弊トシテ、政府ノ免レザルトコロデア、ソコデ此鐵道ヲ管理スル遞信省ト云フモノガ、伴食大臣デアルカ否ヤト云フコトハ、我輩知ルトコロデハゴザイマセヌ今日

ノ遞信大臣ハ免モ角モ名前ガ名前デゴザイマス、隅ニハ置ケナイカモ知レマセヌ、併ナガラ今日ノ遞信大臣ガ、永久ニ續カウト云フ保證モ出來ナイ、斯様ナ大臣ナル仕事ヲ引受ケテ、財政經濟上恐ルベキ影響ガアル仕事ヲ引受ケテハ、其責任ノ重大ナルニ堪ヘズシテ、遠カラズ罷ラレカモ知レマセヌ、(「罷メナイカモ知レヌ」ト呼フ者アリ)若シ又今ノ遞信大臣ガ罷メラレテ、所謂伴食大臣ガ此遞信省ニ坐ルト云フコトニナリマスレバ、其伴食大臣ノタメニ、鐵道ノ受ケル、影響ト云フモノハ、誠ニ少ナカラヌ、鐵道ノ延長ハ必要ナリト云ツテモ、伴食大臣ノ要求スルコトコロハ閣議ニ容ラレマセヌ、動モスルト斥ケラレテ、其工事ハ繰延、或ハ中止ト云フヤウナ不幸ニ陥ルコトハ、是マデ多ク其實例ガアル、斯様ナ有様ニ諸君ハ此全國ノ鐵道ヲ置カウト云フ積リデゴザイマス、(「其通り」ト呼フ者アリ)餘リ鐵道ノタメニ圖ルニ親切ナラザル仕方デア、且又我國ノ鐵道ト云フデアリマス、斯様ニ鐵道國有ノ理由ノナイコトハ明白デア、且又我國ノ鐵道ト云フモノハ、此國有案ガ通過スレバツレマデ、既ニ改良費達ノコト、云フモノハ止マルト云フコトハ明白デゴザイマス、況ヤ又此國有案實行スルニ付イテ、是ガ我國ノ財政經濟上ニ及ボス影響ト云フモノハ、誠ニ私ハ寒心ニ堪ヘマセヌ、恐ルベキ結果ハ是ヨリシテ生シハナイカト云フコトヲ、今ヨリ憂慮ニ堪ヘマセヌ、先ヅ此鐵道ヲ買収スルタメニ、公債ヲ發行スルノガ、改良其他ノ公債ハ除イテ、買収ガデ既ニ四億七千萬圓、若シ今後之ガ改良費達ヲ計ルタメニ、公債ヲ募集スルト云フコトニナルト、五億六億ノ公債ニ是ガナル、サスレバ是マデノ公債ト臨時事件ノタメニ起シタコロノ公債ト、之ヲ合計スレバ、是マデハ僅カニ五億足ラズノ公債デア、(「ナ」)「ト呼フ者アリ」然リ「ト呼フ者アリ」ト云フコトニナル、此三十億近クノ公債ヲ背負テ、是ガ信用ヲ保ツ、是ガ價格ヲ保ツテ往カウト云フ將來ノ成算ハ、今ノ財政當局者ハ果シテアルカ否ヤ、如何ナル成算ガアレバ、斯ル無鐵砲ナル國有法案ニ大藏大臣ハ同意シテ居ルノデアラウカ、大藏大臣ハ當テ委員會ニ於テ説明シテ曰ク、公債ガ下落スレバ、若シ下落ノ傾キガアレバ、政府ハ之ヲ買上ケル、何ノ金デ政府ハ之ヲ買上ケルノカ、ソレハ減債基金モアレバ、預金局モアル、政府ハソレノ機關ヲ備ヘテ居リマス、決シテ憂慮ニ及ビマセヌ、斯様ナコトヲ云ハレテ居ル、是ハ明カニ速記録ニ遺テ居リマス、減債基金ト云フモノハ、鐵道ノ買収、公債ノ減債基金デハゴザイマセヌ、申スマデモナク、臨時事件ノ公債ノ減債基金デア、臨時事件ノ公債ノ元利仕拂ノタメニ設ケタル減債基金デア、然ルニ鐵道買収ノタメ發行スル公債ガ、若シ非常ニ多ク賣出サレテ、下落スルヤウナ徵候ガ見エレバ、政府ハ一方ノ減債基金ヲ以テ來テ、之ヲ買上ケヤウト云フ、斯様ナコトヲシテ、日本政府ノ信用ト云フモノガ、保タルデアリマセウカ、少シク御考下サシマシタナラバ、斯ル亂暴ナル言葉ガドウシテ大藏大臣ノ口カラ出タデアラウト疑ハレ、又預金局モアル預金局ナナルデア、預金局ニイクラノ金ガアル、三千万圓カ四千萬圓ノ高デア、ソレハ大概公債ニ化ケテシマツタ居ル、政府ハ是マデモ預金局ヲ使テ、公債ノ相場ヲ維持スルタメニ遺債シテ居ル、預金局ノ力一杯ニ政府ノ遺債算段ヲヤリツ、アル、ヤツデ居ルノデア、此上ニ此鐵道ノ買収ヲスルニ於テモ、政府ハ五年間ト云フヤウナ猶豫ガアデ、其上ニ尙二年間ハ買収命令ノ日カラ、公債發行ノ日マデ猶豫ガアルカラ、都合七年間ハ宜イ、即チ此鐵道買収ト云フモノハ、其性質トシテ、四億何千万圓ノ公債ヲ漸次ニダラ「ト割」テ出スト云フヤウナコトハ出來マセヌ、日本鐵道ノ一會社ヲ買フニモ、矢張一億三千萬ト云フ公債ヲ出サナケレハナラヌ、是ハ一口ニ出サナケレハナラヌ、一億三千万圓ト云フヤウナ巨額ノ公債ヲ一口ニ市場ニ出シタナラバ、此經濟市場ニ及ボス影響ハ、誠ニ著シキモノガアルト云フコトハ、誰モ疑フ容レヌ話デア、其時ニ至テ、政府

ガ公債買上ラシテ、價格ヲ維持シヤウトシテ、掛テア見テモ、預金局ノ力誠ニ微々タルモノデ、知レタモノデアル、百万カニ二百万ノ一時ノ遺線ト云フモノハ、預金局ノ力デモ出來ヤウガ、ナカク、サウ多額ノ公債ヲ預金局デ引受ケルナドト云フコトハ、勿論出來マセヌ、然ラバドウシテ減債基金ヲ出シテ、鐵道公債ヲ買上ゲルカ、減債基金ヲ此方ニ流用スルト云フコトガアツタナラバ、臨時事件公債ト云フモノハ過半ガ外國ノ公債デアール、日本政府ノ外國市場ニ於ケル信用ハ如何デアラウ、サウ云フコトハ到底日本ノ政府トシテ出來ルモノデナイ、ソコデ此鐵道買收ノ影響ヲ忽チ此公債市場ニ及ンデ、公債下落ノ非ヲ現ハスト云フコトハ、誰モ疑フ容レナイコトデアリマス、而シテ此公債下落ノ反動ガ、ドノ位ニ起ルカ、今日ヨリ豫メ其程度ヲ想像スルコトハ出來マセヌガ、若シモ意外ニ此影響ガ廣クシテ、日本ノ内地ニ於テ外國人ガ買入レテ居ル公債ニデモ、外國人ハ最早日本ノ公債ト云フモノハ非常ニ下落ノ兆候ヲ呈シテ來タト云フノデ、慌テ、之ヲ賣飛バシテ、現金ヲ回收スルヤウナコトニナル、斯ルコトガゴザイマシタナラバ、經濟市場ハ如何ナル影響ヲ受クルデアリマセウカ、經濟市場ノ影響ドコロデナイ忽チ日本銀行ノ兌換制度ノ危機ニ瀕スルヤウナコトガアリハシナイカト云フコトヲ、今日ヨリ私ハ甚ダ憂慮ニ堪ヘナイデアリマス、是ノ如ク恐ルベキ影響ノ我國ノ財政經濟ニアルト云フコトモ願ミズ而モ一モ國有ヲ必要トスル理由モナイニ拘ハラズ、何故ニ政府ハ此鐵道國有案ヲ此議會ニ提出シタノデアリマセウカ、又此政府ノ案ニ諸君ハ何ノ心ヲ以テ贊成ヲセラルノデアリマセウカ、私ハ甚ダ政府ノ意思ヲ、贊成ノ諸君ノ意思ヲ知ルニ苦シムデアリマス、先ヅ政府ハ鐵道ノ統一ドコロデナイ、政府自身ノ統一ヨコ今日ノ急務デアアル、政府行政ハ如何ナル有様デアアル、果シテ行政ハ統一サレテ、官紀ハ整ヘテ居ルカ、最モ紀律ノ嚴肅デアルベキ陸海軍ニ於テモ、或ハ教育ヲ二於テモ、從來種々ノ惡事ガ行ハレテ居ル、私ハ世間ニ現ハレザル政府ノ内部ノ隱微ヲ、茲デ討イテ自カラ快シトスルモノデハゴザイマセズ、併ナガラ蔽ハントシテ蔽フベカラザルコトハ、既ニ世間ニ知レテ居ル事實ハイクラモアル、例ヘバ陸軍ノ方デ申セバ、昨年ノ議場デ隨分ヤカマシ議論ヲ惹起シタコロノ旭川事件ノ如キ、又ハ海軍ニ於テハ倫敦ニ於ケル二十万圓逃遁ノ如キ、(議長何ノ演說デス)ト呼フ者アリ鐵道國有ニ反對ノ演說ヲシテ居ルノデアル、(何ノ演說デス)又(獸レト呼フ者アリ)教育ヲ二於テ教科書事件ノ如キ、殆ド指ヲ屈スルニ違ナイ、又(折角ノ演說ノ價值ガナクナルゾ)ト呼フ者アリ財政ノ方カラ申スト、年々決算報告ニ現ハレテ居ル役人ノ惡事ト云フモノハ、二百件乃至三百件、是ハ諸君ノ眼前ニ決算報告ヲ以テ提出サレテ居ル、是ノ如ク政府ノ内部ハ既ニ紊亂シテ、官紀ハ頹廢シテ居ル、然ルニ西園寺内閣ハ戰爭ノ前後ニ依ッテ行政ノ整理ハ打切ル、戰爭ノ前後ニ依ッテ行政ノ整理不整理ノ異ナルトコロガゴザイマセウカ、戰爭後果シテ政府ノ諸機關ハ統一サレタノデゴザイマセウカ、果シテ政府ノ官紀ハ振肅サレタノデゴザイマセウカ、矢張依然トシテ行政ハ統一ヲ圖キ、官紀ハ頹廢シテ居ル、此行政ノ頹廢シ官紀ノ紊亂シテ居ルコロノ政府ニ、全國ノ鐵道ヲ統一スルガ如キ大事業ヲ、諸君ガ安シテ託スルニ足ルト思召スデゴザイマセウカ(軌道ヲ外レヌヤウニ願ヒマス)ト呼フ者アリ吾ハ斯様ナ政府ニ向ッテ、全國各鐵道ノ統一ト云フガ如キ大事業ヲ託スルニ足ラヌト信ズルノデアリマス、終リニ一言致シテ置キマスノハ、唯今マデノコトハ、鐵道ニ對スル利害得失ノ論デゴザイマシタガ、利害得失ノ論ヲ離レテ、此鐵道ノ國有ト云フモノハ、法律ノ年限ヲ定メテ、人民ニ許可シテアル權利ヲ取上ゲルノデゴザイマスカラ、憲法ノ保障ヲ破リ、法律ノ信用ヲ失ヒ、延イデ國家ノ信用ヲ内外ニ失フ所以ノ處置デアルト云フコトハ疑ヲ容レマセヌコトデゴザイマスカラ、ドウカ諸君ハ國家ノ前途ノタメニ十分ニ御熟慮ヲ下サルヤウニ、偏ニ希望致シマス

(拍手起ル)
○議長(杉田定一君) 佐々友房君
(佐々友房君登壇)
(拍手起ル)

○佐々友房君 諸君、(「大キナ聲デ願ヒマス」ト呼フ者アリ)私ハ此鐵道國有法案ニ贊成ノ一人デアリマス、諸君、此振古未曾有ノ大戦役ノ後ニ於キマシテ、戰後ノ大經綸ヲ爲サナクテハナラヌトキニ於キマシテ、此大法案ノ提出ヲ見ルト云フコトハ、吾ハ先以テ、我心ヲ得タリト云フ外ナイノデアアル(「ヒヤ」ト呼フ者アリ)此案ノ提出ニ付キマシテハ、有力ナル一大臣ハ、爲ニ辭表ヲ呈シタト云フ困難ニ遭遇シナガラ、其他種々ナル困難ニ遭遇シナガラ、終ニ此提出ヲ見ルニ至ッタ、現内閣ノ英斷ハ吾ハ稱讃ノ外ナイデアリマス、吾ハ茲ニ贊成ノ理由ヲ各方面ヨリ羅列シテ、諸君ノ御同意ヲ得ンコトヲ希望スルモノデアリマス、第一鐵道ノ性質上ヨリシテ、吾ハ贊成ヲスルモノデアアル、此法案ノ第一條ニ「一般運輸ノ用ニ供スル鐵道ハ國ノ所有トス云々」トアリマスガ、即チ此主義ニ於テ、吾ハ平生ノ所信ニ照シテ、最モ贊成ヲ表スルモノデアリマス、一體鐵道其物ノ性質ハ如何ナルモノデアリマセウカ、吾ハ平生學ブトコロ、信ズルトコロニ依リマスレバ、是ハ國家ノ公道デアアル、又社會共通ノ道路デアアル、此鐵道其物ノ性質ニ於キマシテ、既業ニ國家所有ノ一國家所屬ノ事業ニスベキモノデアルト信ジマス、即チ普通ノ道路、又ハ郵便電信ノ如キモノデアデハ必ズ國家所屬ノ事業デナケレバナラヌト云フコトヲ、平生信ジテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ此國家ノ所有ニ屬スルト同時ニ、又社會共通ノモノデアリマスカラシテ、一ニ富豪、又ハ私立會社ノ專有ニ屬スベキモノデ無イト信ジマス(「ヒヤ」ト呼フ者アリ)諸君御承知ノ通、輓近歐羅巴ニ於キマシテモ、此種ノ論ハ大ニ盛行ハレマシテ、現ニ獨逸ナリ、埃地利ナリ、匈牙利、白耳義、丁抹、瑞西等ノ歐羅巴大陸ニ於キマシテハ、續々此國有主義ガ現在ニ行ハレツ、アルノデアリマス、恐クハ英佛ノ兩國、又ハ米國ニ於キマシテモ、今新ニ國家事情ノ變化ヲ致シマシタトキニハ、必ズ此種ノ論ガ勝リ制スルカモ知レマセヌト思ヒマスケレドモ、彼ノ兩國ハ既業ニ歴史ガ是ノ如クナツテ居リマスカラ、今更ニ致シ方ハアリマスマイケレドモ、世界ノ大勢、吾ハ信ズルガ如ク、國家公共ノモノデアアル、社會共通ノモノデアルト云フコトハ、實ニ學說上理論上ニ於テ、益々其說ガ盛ニナリツ、アルノデアリマスカラ、吾ハ平生信ズルトコロノ所論ト正ニ一致シテ居リマスカラ、先以テ此主義ニ於テ絕對ニ贊成ヲスルモノデアリマス、又第二、是ハ國防上ヨリ贊成ヲ表スルノデアリマス、此鐵道國有ニスルト云フハ、即チ其必要ハ最モ統一ニアル、其他鐵道ノ普及モアリマスケレドモ、先以テ統一デアリマス、其統一ハ先刻來進步黨ノ諸君ガ段々民有統一ノ論モアリマシタケレドモ、是ハ成程一論デアアルニ相違ナイ、併ナガラ何レニ統一スルカト云ヘバ、是ハ主義上ヨリ見テモ、便利上ヨリ見テモ、ドウシテモ是ハ國家ガ統一シナケレバナラヌト思ヒマス、其統一ノ結果ハドウカト云ヘバ、即チ首尾貫通シ、脈絡系統ガ一筋ヨリ割出シテ、所謂脈ヲ指ヲ使フガ如ク、行ハレテ參リマスカラシテ、最モ軍事上敏活、迅速、整頓ト云フ點カラ申シマスルト、誠ニ便宜ノモノニ相違ナイ、尙日清戰爭ノ當時、日露戰爭ノ當時ニ於キマシテ、私立會社ガ甚シキ不都合ガアツタカ、失策ガアツタト申シマスレバ、ソレハ相當ナル勵キヲ爲シテ、全ク日清戰爭、日露戰爭ニ對シテ、私立會社ガ十分ナル勵キヲ爲シタト云フコトハ、吾輩モ認メル、併ナガラ之ヲ國家ノ手ニ統一シテ、而シテ敏活、迅速ニ能ク規則正シクヤルトコロノ便宜ニ比スレバ、是マデノ私立會社ノヤリ方ハ、尙且國家ノ手ニ收メル

ノ便宜ナルニ如キナラハ、信シマス、此軍事上ノコトハ、吾輩長ク申シマセ、是ノ如キ理由ニ依リマシテ、第二即チ軍事上ノ必要ヨリシテ、贊成ヲ表スルノデアリマス、第三鐵道ノ經營上ヨリ贊成ヲ表スルノデアリマス、此鐵道國有ニスルハ、即チ鐵道ノ統一ト鐵道ノ普及ト目的トスルモノデアリマス、現在全國官私ノ鐵道ハ五千哩、而シテ四十何會社ニ分レテ居リマス、其間犬牙錯綜、所在割據シマシテ其弊害ト云フモノハ、貨物ノ停滯ヲ來シ、又ハ時間ノ遲著、或ハ商業ノ機會ヲ失シ、其不便不利ナルコトハ、舉ゲテ算フベカラザル程ノモノデアリマス、若シ今日本案ノ如クニテ統一シテヤリマシタ日ニハ、此作業上ノ合併ト云ヒ、其他種々ノ便宜ガアルノデアリマシテ、例ヘバ此製作所ノ合併ノ如キハ、現在ソコノ新橋ニ大キナ製作所ガアリマス、ソコヘバ、宮ニ於テ、又是ノ如キ大キナモノガアル、又神戸ニアルカト思ヘバ、兵庫ニアル、是ノ如キ、重複複雜ナルモノガ、何ガタメニアアルカト云ヘバ、全ク鐵道ノ統一ヲシナイ、五千哩ノ哩數ニ、四十幾會社ト云フヤウナ、複雑ナル組織ヲ爲シテ居リマスガ故ニ、之ヲ統一一致シマシタ日ニハ、即チ其吏員ノ減少、又ハ費用ノ節減、又ハ貨銀ノ低減、運送運送等ノ便宜ヲ得マシテ、實ニ妙カラザル便宜ヲ得マスカラ、公衆ノ便利、物貨ノ流通ノ圓滿ヲ計ル等ノコトハ、實ニ此統一ニ優レコトハナカラウト信シマス、現在本案ニ反對ヲ表シテ居ラレトコロノ進歩黨ノ諸君モ、此統一論ノ如キハ夙ニ唱道セラレテ居ル、先日世上ニ發表セラレマシタ統一論モ、正ニ此意味デアラウト思フ、唯吾等ト諸君ト意見ヲ異ニスルノハ、諸君ハ民有統一ヲ主張セラル、モノ、如ク思ハレル、吾等ハ之ヲ民間ニ統一スルノ困難ナルヨリハ、之ヲ國家ノ手ニ統一スルコトヲ云フコトガ、誠ニ相當ノ道理デアリ、且便利デアルト云フコトヲ、深ク信ズルノデアリマスカラ、即チ鐵道經營ノ上ヨリシテ、本案ニ贊成ヲ表スルノデアリマス、又第四、國庫ノ歲入ノ増加ト云フ點ヨリシテ贊成ヲ表スルノデアリマス、本來鐵道ナルモノス、國家無ニ財源デアリマス、此法案ニ據リマシタモ、當局者ノ信ズルコトコトハ、四十年間ニ三元利ヲ償却シテ、而シテ五千五百萬圓ノ年々歲入ヲ得ルコト云フコトニテ居リマス、唯今武富君ハ杜撰粗漏ノ豫算デアルト云フコトヲ申サレマシタケレドモ、私ハ當局者ノ豫算ヲ信ズルノデアリマス、尤モ吾等ハ歲入増加ヲ專ラトシテ、立案シテ見マスカラ、先日本案ニ對シテ修正ヲ試ミテ見タイト云フコトモ考ヘマシタガ、是ハ小鐵道ヲ省キテ、年度ノ變更ヲ致シタ日ニハ、此歲入増加ノ點ニ於テハ、著シク效果ヲ見マスカラ、一時修正ノ意見モ考ヘテ見マシタケレドモ、亦吾等ノ鐵道國有ニ贊成スル所以ノモノハ、當ニ歲入増加ノミナラズ、間接ニ一般國家經濟ノ發達ヲ期スルガためニ、贊成ヲ致シマシタカラシテ、即チ本案ノ通、三十二會社、又ハ三十八年度上半年期ヲ入ル、ト云フコトニ、本案ニ同意ヲ致シタノデアリマスガ、單ニ財政ノ増加ヲ計ルト云フ、歲入ノ増加一點ヨリ致シマスカラ、吾等ノ修正シタイト一時考ヘタノガ當リマスカレドモ、併ナガラ國家百年ノコトカラ申シマスカラ、直接ニ國庫歲入ノ増加ト、又ハ間接ニ一般經濟ノ發達トニ依リマスカラシテ、其間折衷シテ尙且國庫歲入ノ増加モ得ラル、ノデアリマス、殊更外國ノ例ヲ引クニモ及ビマセヌケレドモ、是ノ如キコトハ、又外國ハ餘程經驗モ有リマスカラ、今假ニ獨逸ノ實例ヲ以テ見マスカラ、獨逸ノ元ト私設鐵道會社ノ三萬里アツタモノヲ、資本五十五億馬克、公債四十五億馬克、即チ百億馬克、日本ノ金ニ換シマシテ五十億圓、是ダケノ金ヲ掛ケテ、三萬哩餘ヲ買收シタ、其結果ハ御承知ノ通、獨逸ノ財政ハ歲入ガ二十三億二千萬馬克デアリ、其内鐵道ノ收入ガ十二億八千萬馬克デアリマスカラ、歲入ノ半額以上ハ、鐵道收入デ支辨シテ居ル、而シテ其内歲入總額ノ四分ノ一ハ、全ク鐵道ノ純益ヲ以テ支辨シテ居リマスカラ、尤モ我國ノ現狀デアリマスカラ、獨逸ノ如ク、忽ニシテ歲入四分ノ一ノ純益ヲ得ルコト云フコトハ、ツカシカラウト考ヘマスカレドモ、凡ソ鐵道程有利有益ナル事業

ハナイノデアリマスカラ、是ヲ國家ガ買收シテ、サウシテ國庫歲入ノ財源ニ充テルト云フコトハ、策ノ得タルモノデアラツテ、殆ド吾等ハ國家ノ財政政策トシテ、是程ノ名案ハナイトマデ、確信スルノデアリマス、又反對論者ノ諸君ニ向テ申シマスガ、是ノ如ク吾輩ガ論ズレバ、徒ラニ政府ノ財政ノミガ膨脹シテ、却テ人民ガ困窮スルガ如キ感ヲ懷カレカモ知レバ、メヌガ、ツレハ決シテサウデナイ、右御話シテ通リノ結果ニ依リマスカラ、是モ現在歐羅巴ノ諸國ノ統計表ニ依リマシテ、一般政費ガ、例ヘバ獨逸ハ一般政費ニ於キマシテ、一人前ガ七十三馬克、英吉利ハ八十七馬克、佛蘭西ハ九十五馬克、埃地利ハ七十馬克、伊太利ハ六十四馬克、是ハ一般政費ヲ人民ニ各自ニ割付ケテ數デアリマス、而シテ其各自ノ負擔ハドウナ居ルカト云フト、大抵英、佛、獨、伊ノ諸國ハ、一般政費ノ支出分、一個人民ノ負擔分、大抵平均シテ居リマス、單リ獨逸ハカリガ七十馬克ニ對シマシテ、二十九馬克ト云フ數ガ出デ居リマス、是ノ如ク人民負擔ノ輕減サレタコトハ、何ノタメデアアルカト云フト、即チ鐵道收入ガ多イカラシテ、ツレガタメニ民力ヲ養フテ、人民ノ負擔ガ輕減サレルノデアリマスカラ、此鐵道國有デモツテ、國庫歲入ノ増加ヲ來シタルガためニ、民力ハ却テ疲弊スルガ如キ誤解ヲ來サナイヤウニ、最モ是ハ民力ヲ休養ノタメニモ、鐵道ヲ國有ニシナケレバナラヌト云フ、結論ガ生ジテ來ルノデアリマス、(拍手起ル)我帝國ノ從來ノ官設鐵道モ、私設鐵道モ、既往ニ數シマシテ、最良成績ヲ得テ居ル、即チ開業線路ノ資本ニ對スル純益合計ノ率ガ、一割零三分、ツレニ補修費ヲ引去ツテ、尙ハ八厘三厘ニテ居リマス、即チ獨逸ノ純益九厘内外ト、殆ド大差ナキマデニ進シテ居リマスカラ、我帝國ノ鐵道經濟モ、是ヨリ進シテ參リマス、私ノ唯今申シタ獨逸ノ如キ好成绩ニ至ルコトハ決シテ遠カラヌコト、信シマス、是ノ如キ理由デアリマスカラ、是亦鐵道國有ニ大贊成ヲ表スルノデアリマス、又第五、一般ノ經濟ノ發達上ヨリ、贊成ヲ表スルノデアリマス、此鐵道ノ統一、及普及スルコトニ於キマシテハ、申スマデモナク、運輸ノ疏通、運搬ノ増加、而シテ最モ迅速ニ、而モ價ガ低廉ニイケル、加之一會社一私人ノ仕事トハ違ヒマシテ、國家ガナスコトデアリマスカラ、山村僻地マデモ、普及スル方針ヲ執リマス日ニ於キマシテハ、是マデハ發掘セザル物產モ開發セラレテ、其生産力ノ發達、製造貿易ノ發達ヲ促スコトハ申スマデモナイコトデアリマスカラ、爲ニ國力充實スルコトヲ得テ、前途我帝國ノ發展ハ、是ヨリ良策ハナイト信シマス、加之鐵道國有ニシマシテ、即チ鐵道買收ノ結果ハ、又目下ノ經濟救済策ニモナルデアリマス、我帝國ニ於ケル第一等ノ富豪大株主、其他多數ノ株主等ハ、此買收ノ結果、巨額ノ資本ヲ如何ニスルカト云フデモ、公債ニ安ンシテ便タシテ居ル譯ニハ參リマセヌケレドモ、必ズ他ノ方ニ向テ各種ノ事業ヲ起スニ相違ナイ、其結果トシテ事業ガ勃興致シマシテ、遂ニ戰後ノ大經營大發展ヲナスコトハ、眼前ニ見エテ居リマスカラ、是ヨリ貿易ノ伸張ヲ見ルコトハ洵ニ略易キ道理デアリマスカラ、此鐵道買收ノ結果ト云フモノハ、間接ニ又目下經濟ノ發展救済ヲナスニ於テ、最モ便利ナルコト、考ヘマス、是ノ如キ理由デアリマスカラシテ、是又吾等ノ國有ニ贊成スル所以デアリマス、ツレカス第ハ、鐵道買收ノ時期ニ於テ、最モ好時機ナリト信シマス、諸君、凡ソ天下ノ大事業ヲ爲スニ於キマシテハ、時期ヲ選バナケレバナラス、此日露戰爭ノ後ニ於キマシテ、所謂國勢一變シマシタ心維新ナルトキデアリマスカラ、斯様ナトキニ於テ、是ノ如キ大法案ヲ出シテ、國家大發展ノ端緒トスルコトハ、最モ其時ヲ得タルモノデアリマス、實ハ我輩ハ日清戰爭ノトキニ於テ、國有論ノ實行ヲ致シタイト思フ、其當時ノ諸君ト、即チ政友會ノ諸君ト、當時專ラ其事ニ付イテ御相談ヲ致シタコトモアツタケレドモ、到頭實行ヲ見ルニ至ラズシテ止ミマシタノハ、今ニ深ク遺憾トシテ居リマスガ、幸ニ此日露戰爭デ以テ、是ノ如キ人心ノ新ニシテ、國勢一變ノ期ニ際シマシタカラ、此好時機ハ再び來ラザルモノデアアルカラ、此時ヲ利用シテ是ノ如キ大法案ヲ決行スルハ、最モ機ノ得タルモノト信シマス、以

上第二ヨリ第五ニ至ルトコロノ理由、即チ主義ノ點カラシテ、國防上、及鐵道ノ經營、國庫歲入上、又ハ一般經濟ノ發展、此五ツノ理由ニ依リマシテ、鐵道國有法案ハ誠ニ吾々ノ衷心贊成スルトコロデアリマシテ、殊ニ此時時機ニ於テ、最モ適當ナル時機ト信ジマス、斯様ナ譯デアリマシテ、理由ニ於テ贊成シ、其時機ニ於テ最モ宜シキニ適フモノト考ヘマシテ、是ノ如キ滿腹ノ同情ヲ以テ贊成スルデアリマスガ、諸君、先日當院ニ於キマシテ、所謂二大問題ト稱シタ基金、並ニ戰時増税ノ繼續、此二問題ハ進步黨ノ諸君ヲ除キマシテ、滿場大多數ヲ以テ決定致シマシタ、我輩モ其贊成ノ一人デアリマシタガ、是ハ吾々ノ見ル所ヲ以テスレバ、此鐵道國有法案ガ根本デアル、是ノ如クニ國家ノ根本的ノ大法案ガ通過シテ、而シテ初メ戰時増税繼續ノコトニ及ビ、而シテ基金ノ必要ヲ生ズル、此二ツノモノト相關聯シテ居ルモデアル、寧ロ我輩ヲシテ言ハシムレバ、鐵道法案ガ本デアデ、而シテ戰時増税、而シテ基金、ト斯ウ云フ立論ヲスルノデアリマスカラ、今日鐵道國有法案ニ對シテ是ノ如キ滿腹ノ同情ヲ表スルハ、即チ先日來ノ二大問題ト關聯シテ、吾々ハ是ノ如ク贊成スルデアアル、又別案ニハナッテ居リマスレドモ、京釜鐵道ノコト、是ハ矢張同一ノ趣意デアリマスカラ、此事ニ付キマシテハ、最早多辯ヲ要シマセヌ、即チ韓國經營ノ急務デアリマスカラ、是ハ滿場一致ノ模様デアリマスカラ、此處ニ論ズル必要ハアリマセヌ、要スルニ唯今此好時機ニ際シテ、此鐵道法案ヲ通過シテ置カケレバ、他日必ズ騰ヲ噬ムノ悔ガアル、モウ現在ノ亞米利加アリノ容子ハ、諸君モ御承知ノ通、最早アリマシテハ、如何ナル國家ノ勢力モ動カス能ハザル程、牢トシテ拔クベカラザル程ニナッテ居ルデアアル、現在我國ニ於キマシテモ、今日ハ私設會社ハ益々隆々トシテ進歩シテ居リマスカラ、先年一時行ハレマシタルコロノ官設鐵道拂下運動ト云フコトガアリマシタガ、必ズ早晚サウ云フコトモ起ルニ相違ナイ、之ヲ要スルニ鐵道ナルモノハ國家ニ取ッテ、非常ナル有利有益ナル問題デアリマスカラ、ソレドモ、ソレハ成程世界ノ經濟主義ニ於テ、二大主義アリ、決シテ之ヲ悉ク非難スルノデアリマセヌケレドモ、又今日ノ世界ノ趨勢ハ、此自由競争ノ弊トシテ、一二、富豪又ハ私設會社ガ是ノ如キ有利有益ナルモノヲ壟斷致シマシタ弊ハ、是亦弊害ヲ被ルモノハ、總テノ國民デアリマス、故ニ國家ガ之ヲ監視シテ居ルト彼ノ富豪又ハ私設會社ガ營利一方ノ眼ヲ以テ經營シテ居ルモノト、兩々相對シテ見マスレバ、國家ハ誠ニ公平ナルモノデアアル、國家ハ決シテ比較的不公平ナルモノデアハナイ、社會ハ又是公平ナルモノデアリマスカラ、近頃社會問題ガ我國ニモ勃興シテ居ル今日デアリマスガ、諸君御承知ノ通、今日社會主義ヲ唱フル人ハ、此鐵道案ニ付イテ滿腹ノ同情ヲ寄セタルデアリマセヌガ、此國家ト社會トハ、公平ナルモノデアアル、其中間ニ在ルトコロノ富豪、又ハ私設會社ト云フモノハ、專ラ營利ノミヲ主トシテ居リマスカラシテ、甚ダ比較的不公平ナルモノデアアル、是ハ國家ト社會ト今日ハ夾聲ヲシテ、此鐵道案ノ如キハ、今日ヲ措イテ外ニ好時機ノナイト云フ程ノキデアリマスカラ、之ヲ通過スルハ、最モ緊要ナルモノト信ジマス、諸君、此私設鐵道會社ハ、吾々國家論者ノ最モ採ラザルトコロ、又社會論者ノ敵視スルトコロデアアル、現在此法案ニ付キマシテモ、熱心ニ反對シタモノハ、唯デアルカト云ッダラバ、日本一流ノ富豪、之ニ亞グトコロノ會社員、株主、其一種ノ株主ヲ除クノ外、普通ノ株主ハ寧ロ贊成ヲシテ居ル、之ヲ要スルニ此國家ト社會ノ利益ヲ圖クノ於テ、鐵道ヲ國有ニスルト云フコトハ、當ニ關ケベカラザルノ政策デアデ、今日此時ヲ以テ斷行スルハ最モ策ノ得タルモノト信ジマスガ故ニ、速ニ此事ノ決行サレンコトヲ希望スルデアリマス、又反對論者ノ御議論モ種々アリマスケレドモ、サマデ聽クニ足ルノ論モ私ハナイト信ジマスガ、一二申シテ見マスレバ、此私權蹂躪ト云フコトガ頗ル論據ニ

ナッテ居ルヤデアリマス、是ハ成程私設鐵道條例三十五條ニ、二十五箇年云々ト云フ規定ガアリマスカラ、之ヲ諸君ガ殆ド憲法蹂躪、法律無視トマデ絶叫サル、方ガアリマスケレドモ、吾々ノ信ズルトコロニ依レバ、何等憲法法律ニ差支ハナイ、苟モ國家ガ國家ノタメニ決議ヲ爲シテ、之ヲ斷行スルニ、決シテ差支ハナイ、又土地收用法ノ如キ、煙草專賣法ノ如キ、現在行ハレテ居ル先例モ澤山アリマスカラシテ、何ッ諸君ノ御心配ノヤウニ、憲法蹂躪トカ法律無視トカ云フヤウナコトハ、最モ御心配ニ及バヌコト、思ヒマス、現在歐羅巴ニ於キマシテモ、瑞西ノ如キハ、共和國デアアル、其共和國ガ千八百九十八年ニ、強制的ニ全國ノ鐵道二千三百哩ヲ買收シタト云フコトガアリマス、最モ歐羅巴デハ私權ヲ重シタル國デアリマシテ、而モ共和國デアス、是ノ如キコトガ行ハレテ居リマス、吾々ハ此私權蹂躪論ニ付イテハ、一向耳ヲ傾クルノ價值ナキモノト信ジマス、又此公債増發ノコトニ付イテ、餘程憂慮ヲ懷カシテ居ル諸君ガアリマスガ、是ハ一應御尤ナコト、思ヒマス、併ナガラ此鐵道公債ナルモノハ、所謂消費的ノ公債ニアラズシテ、全ク起業的ノ公債デアアル、殊ニ最モ實力アル公債デアアル、ソレガタメニ別ニ國民ノ負擔ヲ増スコトモアリマセヌ、又此公債ガ増セバ、全體ノ公債ノ信用ヲ傷ルト云フ説ガアリマスケレドモ、實際株券デアレ、公債デアレ、既ニ有價證券トシテ外國人ノ手ニモ澤山入ッテ居リマスカラ、實際同ジモノデアアル、又正貨ノ流出スルト云フ嫌モアルト云フ説デアリマスケレドモ、矢張株券モ同ジモノデアデ、決シテ異ルコトハナイデアアル、況ン此四十年後ニ於テ、國庫ハソレガタメニ五千萬圓ノ確實ナル收入ヲ得ルト云フ見込ガアリマス、以上ハ國家ガ是ノ如キ有利有益ナル財源ヲ所持シタト云フ曉ニ於キマシテハ、外人ハ寧ロ信用ヲ固クスルデアデ、日本政府ハ是マデノ確實ナル財源ヲ持ッテ居ルト云フコトニ、信用ヲ置クデアデ、之ガタメニ日本ノ公債ノ信用ヲ減スルト云フコトハ、吾々ハ斷ツテナイコト、信ジマス、(然リト呼フ者アリ)以上ノ理由ニ依リマシテ、吾々ハ徹頭徹尾、此案ノ滿場大多數ヲ以テ、通過スルコトヲ希望スルデアリマスガ、終リニ臨ンデ、我反對論者ノ大立者大石正己君ニ問ハント欲ス(笑聲起ル)大石正己君ハ、明治二十四年十二月ノ出版ニ係ル、富強策ト云フモノヲ著述サレテ居ル、是ハ以前カラ大石君トハ惡意ノ間柄デアリマスカラ、大石君ガ贈ラレタカラ、吾々ハ始終愛讀シテ居ルデアリマス、吾々無學デアアルカラ、大石君カラ是ノ如キ名説ヲ教ハタト申シテモ宜カラウト思フ、其富強策ノ中ニ此國家鐵道是ハ大石君ガ翻譯サレタ國有ト云フ字ハ其事デアアル、國家鐵道、鐵道ハ國家鐵道ニ如クモノハナイ、其利益ヲ五箇條舉ゲデアアル、第一ノ利益ハ、國防ニアリ云々、第二ノ利益ハ、國家經濟ヲシテ非常ニ其發達ヲ迅速ナラシムルニアリ云々、第三ノ利益ハ、乘客貨物ノ運賃ヲ低落スルニアリ云々、第四ノ利益ハ、迅速ニ鐵道ヲ延長スルコトヲ得ルニアリ、第五ノ利益ハ、即チ收入多キ線路ト、收入少キ線路トヲ平均シテ、以テ其發車ヲ増減スルコトニナリ云々、而シテ國家ノ公道タル鐵道ヲ、一ニ私立會社ノ手ニ委ネテ、社會公衆ノ利益ヲ無視スルハ云々ト云ッテ殊ニ痛罵ヲ加ヘテアル、又大石君ノ同ジク明治二十五年五月出版ニ係ル著述ノ、日本ノ二大政策、其第三節ニ、三大鐵道ノ連絡、是ハ日本ノ大命、東北鐵道ハ既ニ横濱ニ通シ、東西鐵道ハ既ニ備後ノ尾ノ道ニ到リ、西南鐵道ハ門司港ヨリ佐賀ニ達セリ云々、盛ニ統一貫通ノ論ヲ鼓吹シテ、誠ニ痛快ニ論ゼラレテ居ル、大石君(笑聲起ル)君ハ是ノ如キ名論ヲ吐カレテ、吾々ハ大ニツレガタメニ益スルトコロアタト思フデアリマスガ、大石君ハ在野ノ大政治家デアル、能ク世ヲ推移スルデアアル、願クハ更ニ大石君著述ノ趣意ニ復舊サレテ、速ニ君子ノ豹變サレンコトヲ希望スルデアアル

(拍手起ル)

○議長(杉田定一君) 淺野陽吉君

(淺野陽吉君登壇)

〔簡單々々ト呼フ者アリ〕

○淺野陽吉君 先般此當議會ノ初メニ當リマシテ、西園寺首相ノ施政方針ノ演說ノ中ニ、私等が最も記憶シテ感謝スベキ一言ガアツタヤウニ思ヒマス、其言葉ハ私等議員一同ニ望マル、ニ、努力シテ國論ノ一定ヲ圖ラハ、ヤウニト云フコトガゴザイマス、ソレハ要スルニ總テ議案ハ審議ヲ盡シテ、是非曲直ヲ明カニシテサウシテ國論ノ一定ヲ圖レト云フコトデアラウト思ヒマス、私ハ本案ニ對シテ信ズルコトノ大要ヲ此ニ披瀝致サウト存ジマス、唯今私等ノ少壯者トシテハ最も尊敬ノ意ヲ拂フベキ佐々君ノ御演說モゴザイマシタケレドモ、ソレハ頓著ナク、私ハ直チニ此内閣諸君ノ論據トナサル、トコロノ理由ニ向テ、私が信得ベカラザル理由ヲ述ベテ、駁論ヲ加ヘタイト思ヒマス、内閣諸公ノ本案ヲ出サレマシタ理由ノ一箇條ニ、第一ニ揭ゲマシタハ、軍事上ノ必要ト云フコトデアラウマシタ、此軍事上ノコト、云フハ、門外漢ノ頗ル解釋ニ苦ムコトデアツテ、サウシテ多クノ場合ニ於テ、此當局者ガ秘密ト云フコトノ一語ヲ以テ、詳シイ説明ヲ與ヘデ與レナイトコロノ言葉デゴザイマス、ソレガタメニ此軍事上ノ必要ト云フコトハ、常ニ多クノ場合ニ於テ事實以上ノ直打ト必要ガアリハシナイコト云フ疑ヲ吾々ニ懷カシメテ居ラヌノ言葉デアル、私ハ最も此軍事上ノ必要ニ云フコトニ付イテハ、心配ヲ致シテ居ラヌノ言葉デアル、或理由ト大ナル必要ガ此中ニ籠テ居ラナラバ、平生信ジテ居ルトコロノ、此國有主義ニ反對デアル、國家ノ鐵道ヲ悉ク引上ゲテ國有ニスルコトハ反對デアルト云フ考ヲ翻シテ、内閣ノ提案ニ贊成シテモ、差支ナカラウ、此軍事上ノ必要ト云フコトニ付イテ、大ナル理由ガアルナラバト斯様ニ信ジテ頗ル内閣諸公ノ説明ニ耳ヲ傾ケ、且意ヲ傾ケテ聞カントシテ心配ヲシテ居タコトデアリマス、所ガ幸ニモ寺内陸軍大臣ハ詳細ナル説明ヲ私等ニ下サレタノデアリ、例ヲ引キ理ヲ説イテ、内閣諸大臣中、本案ニ對シテ說明ノ中デハ、最も具體的デ最も其意ヲ盡サレタコト、信ジマス、ソレニ依テ判斷ラ下シマス、幸ニモ私等ノ門外漢トシテ、尙ハ利害得失ノ判斷ノ出來得ル程度ノコトデアラウ、甚シク心配ヲシタコトモ宜イコトデアツタ、此等ハ帝國ノ未來ニ幸福ヲシテ意ニ宜イコト、存ジマス、幸ニシテ提供サレタ要求ハ、軍事上國有ガ必要ト云フ要求ハ、門外漢ノ御互ニ於テ、判定ノ付クコトデアラウマシタ故ニ、私ハ此寺内大臣ノ論據ヨリシテ、此軍事上ニ於テモ、我國ノ鐵道ヲ悉ク引上ゲテ、三十二ノ鐵道ヲ引上ゲテ、皆國有ニシナケレバナラヌ必要ハナイト信ジマス、故ニ、茲ニ其要ヲ述ベタイト思ヒマス、陸軍大臣ハ此軍事上ノ要求ヲ説明ナサル、中ニ於テ、進出ノ場合ト受身ノ場合ト、一ツヲ舉ゲテ、サウシテ本員ノ委員會ニ於テノ質問ニ對シテハ、紀州半島ノ例ヲ舉ゲテ、詳シク御説明ニナツタ、其御厚意ハ、誠ニ感謝致シマス、其要點ヲ摘ミマスレバ、詰リ全國ノ鐵道ヲ國有ニシナケレバ、他日一タヒ事ガアルトキニ、一絲不紊、手ノ指ヲ使フガ如キコトガ出來ナイト云フコトデアラウマシタ、此事ハ詰リ遞信大臣ノ技術如何ト云フコトカラ推論スルノ外ニハ、私ハ途ハナカラウト思ヒマス、其今マデ管理シタ鐵道ヲ管理シタ政府ノ技術ヲ考ヘテ見マス、私ハ一ノ例ヲ舉ゲテ、將來旨グイカヌデアラウト云フコトノ理由ハ、茲ニ説キ盡スコトガ出來ララウト思ヒマス、本年ノ初メデゴザイマシタガ、經濟社會ニ於テハ最も大事ナ事柄デアツタ、初荷ノ輸送ガ名古屋ニ下セキモノハ、京都ニ往キ、京都ニ下セキモノハ、神戸ニマデ往キ、甚シク實業社會ノ攻擊ヲ受ケタコトガ、官線鐵道ニハアツタノデアラウマシマス、斯様ナ實例ヲ舉ゲレバ、頻々トシテ數限リモノナイコトデアラウト思ヒマス、無論私設鐵道ニモ是ノ如キ不始末ハアルノデアラウマシマス、宜有鐵道ニ於テモ、亦私設ヨリモ決シテ少ナイト云フコトハ、信ジ得ラレヌノデアラウマシマス、是ノ如キ過去ニ於ケル技術ノ拙ナルコトカラ考ヘテ是レバ、將來今日漸ク全國鐵道ノ四分ノ一ヲ政府ハ管理シテ、尙是ノ如キ不始末ハ、時ニ起リ、且ツ日々絶エナイト云フコトニナツテ居ル、況ヤ全國鐵道ノ全部ヲ舉ゲテ、政府ニ委ネマス

レバ、四分ノ一ノ範圍内ヲ管理スル今日ニ於テ、此不始末ノモノガ、全部ノ四分ノ四ヲ得タトキニ、是ヨリモヨリ以上ノ働キヲナスコトハ推定ハ付カスト思ヒマス、又此軍事上ノコトハ一絲不紊、手ノ指ヲ使フガ如クナサネナラヌト云フ必要ハ、當局者ノ技能ガアリマスレバ、必シモ國有ニシナクモ今日ノ民有デモ爲シ得ル事柄デアリマス、ソレハ此鐵道軍事供用令ト云フモノガアツテ、十八箇條備テ、モウ細目ニ互テ、總テ鐵道ハ、當局者一旦事緩急アリマスルトキハ總テ當局者ノ手中ニ歸セシムルト云フコトガ出來ルコトニナツテ居ル、當局者ニシテ働キガアリマスレバ、此事ハイツ何時ニ於テモ、軍事供用令ト云フ法律ヲ以テ、全國ノ鐵道ヲ意ノ儘ニ御使ヒナサルコトガ出來ル、決シテ國有ニシナケレバ、此目的ヲ達シ得ラレナイト云フ道理ハ、一モ今日ハナイノデアラウマシマス、ソレカラ其次ニ、陸軍大臣ノ説明サレタハ、運輸材料ノ不揃デアルト云フコトデアラウマシマス、是ハ私が思ヒマス、今ノ鐵道ニ於テ、最も關ケテ居ル事柄デアラウト思フ、獨リ民有ノモノナラズ、國有ニモ、此關點ハ今最も世ノ中ノタメニ措ムベキコトデアルト思ヒマス、併ナガラ之ヲ足スノハ、詰リ將來鐵道ノ經營ノ上カラ生ズルトコロノ財政如何ト云フ問題デアラウト思フ、是ハ民有デアラカラ十分デナイ、國有デアラカラ十分デナイト云フヤウナコトデハナカラウト、私ハ思ヒマス、其次ニ陸軍大臣ノ舉ゲラレタ此一ノ弊害ハ、運費ガ區々デモツテ、計算ガ甚ダ苦シイコトデアツテ、民有デアレバ三十二ノ會社ニ跨ルノデアラカラ、運費ヲ計算スルノ頗ル困難デアル、ソレ故ニ軍事輸送ノ際ニ當テ、非常ナ不便ガアルト云フコトデアラウマシタガ、此直通運費ヲ定メテ、サウシテ能ク此途ヲ開キマスレバ、此運費ガ區々デアツテ、サウシテ計算ニ苦シムト云フ弊害ハ、濟ヒ得ラル、コトデアルト私ハ思ヒマス、其途ハ既ニ此私設鐵道法ノ法令ノ中ニ詳シク規定サレタツテ、何時ニテモ政府ニ其技能ガアレバ、之ヲ救ヒ得ラル、コトニナツテ居リマス、政府ガ此法令ノ精神ヲ能ク意ヲ盡シテ、行政ノ方法宜キヲ得マシタナラバ、是ノ如キ弊害ハ國有ヲ待テ後始メテ得ラル、事柄デハナイノ、民有デアツテモ其宜シキ方法ヲ立テバ、今ガ今デモ是ハ開キ得ラル、トコロノ便利デゴザイマス、其次ニハ此私設鐵道ハ甚ダ數ガ多ク、事アルトキニ話ヲツケルノ頗ル面倒デアルト云フコトガゴザイマシタケレドモ、我國ノ商人ハ御承知ノ通、極メテ從順ニシテ、決シテ官命ニ逆ラフモノデハナイノデアリマス、況ヤ一朝事アルトキニ、此軍事上ノ問題ヨリ官命ヲ下サレタナラバ、豫テ忠勇義烈ト云フ精神ハ、總テ人ノ持テ居ル此國ノ人民デゴザイマス、故ニ、決シテ是モ不便ト云フコトハ、是ヨリ生ズルコトハナカラウ、何時ニテモ其用ハ足サル、デゴザイマセウト思ヒマス、其次ニ此停車場ノ設備ガ、頗ル不完全デアラカラ、之ヲ足スタメニ國有ニシナケレバナラヌ、是ハ私ハ一理アルト思ヒマス、民設鐵道ノ停車場ハ、比較的ニ頗ル不十分デゴザイマス、此十分ヲ期スルタメニハ、或ハ官設ト云フコトニ移スノモ一理アルコト、思ヒマス、併ナガラ是トモ將來之ヲ完備ニスルノハ、鐵道經濟ニ餘裕ヲ生ズヤ否ヤト云フコトノ問題デアラウト思フ、私ハ思ヒマス、此將來國有鐵道ニ移シタ後ニ於テモ、鐵道經濟ノ十分ヲ期スルト云フコトハ、餘程ムツカシイコト思ウテ居リマス、故ニ、此陸軍大臣ノ要求サレタコトノ停車場ノ設備モ、民設ニ於テ充テ得ル程度ヨリ以上ノコトハ、後日國有ニシテモ期スルト云フコトハムツカシイノデアラカラ、ソレデナクモ線路建設ノ如キ大ナル費用ヲ要セナイノデアラカラ、陸軍當局者ト遞信大臣ト能ク御諮リニナツテ、民有會社ト間ニ協議ヲ遂ゲラレタナラバ、是トモ決シテ民設ニ於テ達シ得ベカラザルコトデハナイト斯ク思ヒマス、是タケ考ヘテ見マス、此軍事上ノ要求ト云フコトヨリハ、私等決シテ不安ノ念ガナカッタノデ、是ハ國有ニシナクモ民設鐵道ニ於テ、救ヒ得ル事柄デアツタガ故ニ、私ハ國家ノタメニ之ヲ喜ンダノデアラウマシマス、要スルニ總テノコトニ於テ、事一度軍事ニ係レバ、全國ノ鐵道ニ對シテ政府ハ萬能ノ權ヲ持テ居ルノデアラカラ、其施政宜キヲ得タナラバ、決シテ陸軍大臣モ此事ガ民設デアラガ故ニ、心配デア

ルト云フ憂ハナト私ハ思ヒマス、ソレ故ニ此軍事上ノ關係カラ總テノコトヲ考ヘテ見マ
スレバ、日露戰爭ノトキニ於テモ、日清戰爭ノトキニ於テモ、政府ガ最モ不便ヲ感ゼラレ
タノハ、陸運ヨリハ寧ロ海運ヲアタラウト思フ、紀州半島ニ假設的ノ適例ヲ作テ、説
明サレタ陸軍大臣ノ御説明モ、深ク考ヘテ見マスレバ、左程心配シナクモ宜イコトデ
アラデ、民設デモ其便利ヲ後日ニ於テ達セラル、コトデアラウト私ハ思フ、此點ニ於テハ
左程心配シナクモ宜イコトデ、其經濟上ノ利益ト云フコトヲ政府ガ述ベタノハ、經濟上ノ利益ト
云フコトヲゴザイマシタガ、其經濟上ノ利益ト云フコトヲ政府ガ述ベタノハ、經濟上ノ利益ト
事柄ハ詰リ統一ト云フ事柄デゴザイマス、其統一ヲスレバ、何ガタメニ經濟上ニ利益ヲ生
ズルカト云フコトヲ考ヘテ見ルト、長距離直通ト云フコト、長距離直通ヨリ來ルトコロ
ノ運賃ノ低減デアッタ、政府ガ論ズルトコロノ運賃ノ低減ト云フコトハ、長距離直通ヨリ來
ルトコロノ利益デゴザイマス、是ナラバ私ガ思フニ、決シテ此國有ノミニ限リタ特色デ
ナイト思フ、民設ニ於キマシテモ、此私設鐵道法ヲ能ク讀ミマスレバ、既ニ此法ヲ開ク途
ハ十分ニ備テ居ル、政府ガ能ク此途ヲ盡シマスレバ、民設デモ直通列車ト云フモノハ
開ケテ、直通列車ヨリ生ズルトコロノ長距離割引ハ、今デモ達シ得ラレルト云フアル、其
事ハ既ニ民設會社ガ今日希望シテ行ハントシテ居ルコトデゴザイマス、山陽鐵道ハ現ニ
此新橋ト下ノ間ト間ニ直通列車ヲ將ニ開カントシテ居ル、日鐵ハ既ニ直江津ト上野
ノ間ニ直通列車ヲ開キ居テ居ル、其直通運賃率ノ割引ヲ行テ居ルモノデアル、此後トモ
漸次民設モ亦此事ヲ自カラ希望シテ居ル、決シテ國有ノ後ニ始メテ是ハ行ハレベキ絶
對的國有ノ特有デハゴザイマス、民設ニ於テモ、尙此事ハ能ク政府ガ宜シキ方法ヲ以
テ、全國ノ私設鐵道ヲ率ヒテ往カレタラバ、此途ハ今ニ於テモ能ク開カル、ノデゴザイ
マス、ソレ故ニ私ハ此途ヲ開クノニハ、國有主義デナクテハナラヌ、民有主義ハ決シテ此
途ヲ開クコトコロノ便宜ガナイノデアルト云フヤウナコトハ、此中ニ道理ハ立タナイコト、私ハ
思フ、民有主義デモ宜シ、國有デモ宜シ、民有國有現在ノヤウニ百ク配在シテ往
モ、此道ハ能ク得クコト、思ヒマス、ノミナラズ民設夫レ自身ガ既ニ今ハ統一ヲ希望シテ
居ル、サウシテ統一ヲ實行シテ、ゴザイマス、御承知ノ通ニ九州ノ鐵道ヲ見マスレバ、博
多灣ト云フ一ツノ小サナ鐵道ガ一隅ニ割據シテ居ルデアル、後トハ總テ九州鐵道
ヲ統一シテ居リマス、僅々鹿児島ヨリ走テ來ルトコロノ官有鐵道ガ、今僅カナ部分出
來テ居ル、ソコデ九州ノ鐵道ハ殆ド十中八九ハ九州鐵道ニ依テ統一ヲサレテ居デ、
今後ノコトハ鹿児島ヨリ來ルトコロノ官線ノ鹿児島線トノ間ニサヘ、直通列車ガ能ク協
議ガ付イテ開カルレバ、九州ニ於ケル此鐵道ノ統一ト云フコトハ、事實ノ上ニ於テ今既
ニ行ハレントシテ居ル、又北海道ノ鐵道ヲ見マシテモ、北海道鐵道ト北海道炭礦ト、ソ
レト官線ト此三ツノ種類ガアルノミデアッテ、此三ツノ間ニサヘ協議ガ能ク繼レバ、政府
ノ望ムトコロノ即チ事實上ノ統一ハ今既ニ行ハル、ノデアル、何ゾ必シモ是ガ國有ヲ待
テ後ニ、始メテ此統一ガ行ハル、ト云フコトハ生ズルノデハゴザイマス、其他大阪附近ニ
於キマシテモ、關西鐵道ハ既ニ奈良鐵道ト難波鐵道ト紀和鐵道ト合セテ、サウシテ統
一シテ居ルノデゴザイマス、山陽ノ第三ニナリマス、今日ニサヘ合併シマスレバ、山陽一體
ノ地ハ山陽鐵道ニ依テ、スガキ統一ヲサレルトデゴザイマス、今ハ三十二ノ會社ガアル
ト云フノデ、政府ハ頗ル驚カレルノデゴザイマス、其實ニハ五年、十年、ヲ待タズ
シテ頗ル少ナク數ニ減ズルノデアル、政府ハ其間ノ連絡サヘ能ク施政宜シキヲ得テ行ハ
レタナレバ、決シテ國有主義ヲ待テ、始メテ此統一ノ利益ヲ生ズルノデアル、民有又決
シテ妨ケナイト私ハ思ヒマス、且此直通列車ト云フコト、並ニ直通運賃率ト云フコト、即
チ連絡列車、直通運賃ト云フコトニ付イテハ、常ニ民設ノ方ガ官設ニ關係ノアル所ハ、
常ニ進シテ相談ラシコトアル、之ヲ拒ンダコトハ民設ニ少ナクシテ、却テ官有線ニ多

ウカッタノデアル、即チ之ヲ言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、私立鐵道ヨリハ常ニ之ヲ希望シテ
之ヲ拒ンダモノハ、多クノ場合ニ於テハ、鐵道作業局デアッタト私ハ思ヒマス、ソレ故ニ此
直通列車並ニ遠距離割引ト云フ事柄、運輸ノ便ト、ソレカラ賃金割引ト云フコトヲ稱
シテ、社會ノ産業ヲ助ケルト云フコトハ、獨リ國有主義ノミニ限リタモノデハナイ、民有ニ於
テモ是ハ決シテ促進サレヌコトハナイ、又行ハレナイコトハナイノデアル、今現在存シテ居ル
コロノ三十二ノ會社ノ數ニ驚カル、ノハ、餘リ膽玉ガ小サ過ギルト私ハ思ヒマス、其途ハ
自カラ法令ニ依テ、私設鐵道法ヲ御覽下サレバ、スガキ御分リナルノデゴザイマス、將
來ニ政府ガ之ヲ舉ゲルトコロノ途ハ、既ニ法律ガ之ヲ許シテ、萬能ノ權ヲ政府ニ與ヘテア
ル、其次ニ政府ガ唱ヘマシタコロノ理由ハ、財政上ノ即チ利益デゴザイマス、此間
ニ私ハ一ツ加ヘテ申上ゲタモノハ、一體經濟上ノ利益如何ト云フコトハ、農商務ノ局ニ
當テ居ラル、トコロノ大臣ガ、確乎タリ理由ガアル、是ハ御説明ガナクテハナラヌト思
テ居リマス、ソレ故ニ之ヲ委員會ニ於テ質問ヲ致シマス、殆ド農商務大臣ノ論據
ト云フノハ、此二ツニ過ギナカッタ、將來ノコトハ、逡巡大臣ガ能ク遺ルデアラウ、過去ノコ
ト並ニ現在ノコトハ、現在ノ官私線ノ運賃ト、過去ノ官私線ノ運賃トノ產業上ノ關係
ハ、自分ハ深イ關係ハナイカラ知ラヌノデアル、將來逡巡大臣ガ能ク遺ルデアラウト云フ
ヨリ外ニハ、何等ノ論據ハナカッタノデアリマス、併ナガラ此事ハ能ク考ヘナケレバナラヌコ
トデ、將來ノコト如何ト云フコトハ、殆ド此逡巡大臣ノ信用如何ト云フコトニ係ハッテ
來ララウト思フ、若シ内閣ガ將來此鐵道經營ヲ能クヤルデアラウカ、ドウデアラウカト
云フコトハ、此内閣ヲ信ズルヤ否ヤト云フコトコロノ問題デアラウト思ヒマス、過日減債
基金案ノ際ニ方デ、政府贊成論者ハ斯ウ云フコトヲ言ハレタノデアル、現内閣ガ出來
上デカラ僅カニ二十日カ三十五日ノ際ニ方デ、將來ノ計畫デモ將來ノ方針デモ、之ニ
向テ開クコトハ無理デアル、詰リ望月君ノ口吻ヲ藉レバ、乳ヲ哺シテ育ツカ、或ハ早ク
死ヌカト云フ内閣ニ向テ、將來ノ方針ハドウ定メテ居ルカト云フコトヲ聞クデモ愚デアル
ト云フ御話ガアリマス、然ルニ此減債基金問題ガ片付キマシテカラ、今日マデハ僅カニ
二十日カ三十五日ノ數ヲ經タバカリデ、現内閣ガ成テヨリ以來、未ダ百日出デナイ、即
チマダ乳ヲ哺ミツ、アルガ、將來能ク之ガ育ツカドウカト云フ疑問ハ、今以テアラウト思
フ、何一ツ事實ノ上ニ於テ、吾ニ是ノ如ク手腕ガアルト云フコトヲ示サレタコトハナイ、
多少ノ法律ヲ作ラレタケケノコトデアル、其内閣ニ向テ將來ハ能クヤルデアラウト云フヤ
ウニ、農商務大臣ハ樂天的ニ依頼サレルト云フコトハ、私ハ甚ダ其意ヲ得ヌト思フ、若
シ逡巡大臣ニ於テ、運輸及其賃率ニ於テ、是ノ如キ不便ノコトヲ來スコトガアルナラバ、
私ハ逡巡大臣ニ向テ國有ト爲ス以上ハ、是ノ如キ要求ガアル、希望ガアルト云フコト
ノ計畫ガナクテハナラヌト思フ、此事ニ至ッテハ、私ハ誠ニ遺憾ニ存シマス、其次ニ此
政府ガ頻リニ唱ヘマスモノハ、日本ノ財政ノ今日ハ決シテ二十億ヤ三十億ノ公債ヲ茲
ニ出シテモ、我財政ニ於テ憂フベキコトコロノ變態ハ來サナイノデアルト云フガ、大藏大臣
ノ論據デゴザイマシタ、其理由ハ詰リ様ト云フノカ變テ、公債ニ今度ナルノミデアル、此
鐵道買收ノタメニ發行スルトコロノ公債ノ五億ト云フノハ、株ノ形ヲ變テ公債トスルハ
カリデアルガ故ニ、決シテ憂フベキコトデハナイ、斯様ノ議論デゴザイマシタ、併ナガラ此
株ガ變テ公債トナル、即チ有價證券ノ變態ニ過ギナイト云フノデアラケレドモ、是ガ一
旦株主ノ手ニ渡ッタ以上ハ、其固定の公債ヲ持タシヨリモ、寧ロ將來強力ノアル株ヲ
求メンガタメニ、或ハ抵當トシテ銀行ニ入レルデアラウ、或ハ賣物トシテ市場ニ出ス
ノモアラウ、或ハ保證トシテ銀行ノ庫ニ入レルデアラウ、保證若クハ抵當、若クハ市場ニ
賣出サレルトコロノ其金額ノ總計ハ、即チ此通貨ノ需用トナルノデゴザイマス、カ故ニソ
レデケハ經濟市場カラ、公債ヲ募集シタト私ハ大差ナイトコロノ結果ヲ生ズルダロウト思
フ、其金額ノ需用額デケハ、詰リ公債ノ價格ト云フコトニ向テ、何等カノ變動ヲ與ヘナ

ケレバナラヌト、私ハ思ヒマス、既ニ今日ガ二十四億ト云フ公債ヲ持ッテ居ル、政府ノ今度ノ計畫ニ依リマスレバ、明治四十四年度ニハ、約二十八億三十億ニ近イトコロノ公債額面トナル、デゴザリマス、ツレハ如何ニシテモ、今日ノ一般ノ財政ガ、既ニ歳入ニ闕陥ヲ生ジテ、一般財政ノ補填トシテ、年々五六千万圓、若クハ七八千万圓ノ公債ヲ募ラナクハナラヌト云フ、今日ノ場合ニ於ケル二十億ニ近イ公債ヲ作ルト云フコトハ、多少將來ニ於テ、財政上ノ危險ヲ免レナイコト、私ハ思フ、又將來ニ於テ危險ノ分子ヲ含ムトコロノ財政策ハ、今日ニ於テ、大藏大臣トシテ最モ慎重ニ裁カネバナラヌコトト私ハ思ヒマスレバ、之ヲ大藏大臣ハ説明シテ曰ク、多少ノ危險ハアルニ違ヒナイ、多少少公債ノ下落ハアルデアラウ、其公債ノ下落ハ、即チ先刻武富君ノ演説中ニアリマシタ通、減債基金部、ツレカラ預金部、日本銀行、興業銀行ナドヲスカリ利用シテ、サウシテ大藏省ハ之ヲ買入レテ、此公債ノ價格ヲ保ツト云フノガ、論據デアッタ、此事ハ殆ド此日本ノ財政ヲ將來棟屋一流ノ政策ヲ以テ行ハル、ノデアルト私ハ思ヒマス、最モ公債ノ多イ場合ニ於テ、是ノ如キ政策ハ時トシテ必要デゴザリマセウ、併シナガラ是ノ如キ賣買ヲ激スルコトコロ、財政策ヲ常ニ執ルコトハ、頗ル不安心デアアル、併ナガラ財政上ノ將來ハ公債ノ額面ト、將來一般歳入ノ闕陥トヲ考ヘテ見レバ我國ノ後日ノ政策ハ必ヤ公債ヲ賣買スルコト云フコトヲ以テ、大藏大臣ノ唯一ノ政策トシナケレバナラヌト云フ悲境ニ陥ララウト思ヒマス、即チ棟屋一流ノ政策ヲ以テ、我國ノ財政ヲ維持シナケレバナラヌト云フコトガ、一般ノ財政ノ常道ニナリハシナイカト、斯様ニ憂フルノデアリマス、此事ハ殆ド日本ノ財政ヲ露西亞流ニナスノデアッタ、サウシテ「ウヰン」デ、政策ヲ以テ漸ク維持セントスルトコロノモノデアラウト思フ、堂々タル此戰捷國ノ財政ノ露西亞流ニナシ、且棟屋一流ニ終ルト云フコトハ、私ハ甚ダ恐レベキコトデアラウト思ヒマス、從來大藏大臣ハ極ク穩健ナル財政家トシテ世ニ聞エテ居ッデ、私モ是ハ至極穩健ナル財政ヲ執ラレハ人デアルトシテ、之ニ信頼シテ居ルコトコロ、露西亞流ノ財政ヲ採ラナケレバ、立場ガナイヤウニナリハシナイカト云フコトヲ憂フルガタメニ、私ハ財政問題トシテモ、此國有鐵道ト云フモノヲ、今之ヲ行フト云フコトハ、甚ダ不贊成デゴザリマス、其次ニ此將來ノ未成線ノ擴張ト云フコト、ツレカラ將來ノ財源ノ涵養ト云フコトニ付イテ、内閣ハ頻リト此統一ノ利益ヲ説カレタノデゴザリマス、選任大臣ノ説明ニ依リマス、將來ノ未成線ハ、近キ將來ニ於テ、其計畫ヲ立テ、議會ニ向テ其案ヲ問フデアラウト云フ御話デアリマシタガ、此事ガ能ク出來ルデアラウカ、如何デアラウカト云フコトハ、一ノ疑問デアルト私ハ思ヒマス、我國ノ鐵道ノ經營ノ方法ヲ見マスレバ、此官線ノ營業ノ費用ト、私線ノ營業費用ノ比較ニ於キマシテハ、昨日委員會ニ於テ、私ハ武富君ト共ニ、政府委員ヨリ一ノ御叱リヲ受ケテ、多少ノ違算ガアッタト云フノデ、非常ニ駭論ハ加ヘラレタノデゴザリマス、如何ニ表ラゾ、此事ヲ見テ見マシテモ、矢張官設ハ不經濟ハ不經濟ニ終テ居ルノデアル、此陰陽線ノ如キハ、官線ノ陰陽線ノ如キハ、最モ高イノ収入百圓ニ對シテ百六十三圓ノ營業費ガ要ッテ居ル、北海道線ノ如キハ、十五圓要ッテ居リマス、サウシテ官線ノ一番低イノ東海道線デ、四十圓ノ營業費ヲ使ッテ居ル、私線ノ一番高イノ西成鐵道ガ七十八圓デアッデ、一番低イノ參宮ノ二十四圓、其他日鐵、九州、山陽ノ如キハ、多クハ四十八圓カラ四十二圓デゴザリマス、此金ハ私ガ昨日委員會ニ於テ述べタ通り、十年間最近ノ平均デゴザリマス、此事ヲ見テ見ルト、如何ニシテモ此私設鐵道ヨリハ、官線ノ營業ガ旨ク往ッテ居ルトハ思ハレナイ、是ヲ將來四分ノ一ノ鐵道ヲ管理シテ居ル現選任大臣ノ管下ノ鐵道營業ノ成績ノ是ノ如クデアルガ、四分ノ二ヲ合セテ全部ノ經營ヲシテ、是ヨリモ一層節約ヲ加ヘテ好クナスデアラウト云フコトハ、如何ニシテモ信ジ得ラヌノデゴザリマス、ツレ故ニ此推論ヨリ鐵

道經營ヨリ生ズルトコロノ利益ノ中カラ、未成線並ニ豫定線ノ擴張費ヲ產ムト云フコトハ、餘程ムツカシイノデアッデ、此鐵道ノ營業ヨリ生ズルトコロノ利益ノ内カラ、公債ノ利子ト改良費ト、公債元金ノ幾分ヲ拂ッテ（「簡單」ト呼フ者アリ）サウシテ尙且未成線ノ擴張費ヲ取ルト云フコトハ、餘程ムツカシイト思フ、是亦他日公債ニ依ラナケレバナラヌト思フ（「マダ」演説者ガ澤山ゴザリマス）ト呼フ者アリ、是ノ如ク惜シイコトニ民設ヲ許スト云フコトニシテ居レバ、鐵道ノ延長ヲ漸次圖ルコトガ出來マシテ、國利民福ヲ助ケルト云フコトガ出來ルケレドモ、（「簡單」ト呼フ者アリ）是ヲ國有ニ致シタメニ、遂ニ此未成線ノ擴張ト云フコトモ、將來ニ於テ餘程ムツカシクハナイカト私ハ斯ク憂フルヨリ、此點ニ於テモ反對ヲ致シマス（「簡單」ト呼フ者アリ）無論サウ長クハ言ハナイノデス、委員會ニ於テ私ハ十分述ベテ置キマシタカラ、ホソノ大要ヲ摘シマス（「簡單」ト呼フ者アリ）是ガ考ヘテ見マスレバ、此鐵道國有トスルトコロノ十分ナル理由ハ一ツモナクシテ、サウシテ一ノ民權即チ既得權ノ蹂躪ニナリハシナイカト云フ一ツノ憂トツレヨリ生ズルトコロノ社會ノ不安心ヲ招イデマデモ是ヲサナサネバナラヌト云フコトノ必要ハナイ（「簡單」ト呼フ者アリ）將來ノ財政上ノ危險ト、經濟上ノ擾亂ト云フコトト、私權ノ蹂躪ト云フコトノ憂マデモ、茲ニ曝ケ出シテ之ヲ顧ミズシテ、以テ此國有鐵道ヲ是非共行ハナケレバナラヌ必要ハ私ハ見出サナイ、故ニ此案ニ反對ヲ致スノデゴザリマス（「モウ宜カラウ」濟シタ）ト呼フ者アリ

○議長（杉田定一君） 竹越與三郎君

（竹越與三郎君登壇）

○竹越與三郎君 諸君唯今淺野君ノ續々數方言ヲ伺ヒマシタガ、私ハ同君ノ議論ニ對シテ敢テ反駁スル必要ヲ認メマセ、健康氣ニ能ク論陣ヲ御布キニナッテ申上ゲルヨリ外ハナイ、而シテ私ハ武富時敏君ノ議論ニ向ッテ一言シタイト思フ、是ハ必シモ淺野君ヲ輕シテ武富君ヲ重シタルト云フ譯デアナイノデス、淺野君ハ僅ニ一人ノ意見ヲ代表セラル、ノデ、武富君ハ進歩黨ヲ代表セラル、カラデアアルノデアリマス、是ハ淺野君ニ對シテ敢テ敬意ヲ缺ク譯デアアリマセ、私ハ謹ク武富君ノ御意見ヲ伺ヒマシタ、誠ニ此聲ハ議場ニ於テナカルベカラザル聲ト思ウタノデアリマス、誠ニ能ク批評的ノ眼デ、又國有法案ノ前途ヲ御心配ニナッテ良イ御注意デアッタ、併ナガラ其言ハル、コトハ、概シテ歎息、憂憤、危懼ニ過ギズシテ、此國家勃興ノ盛運ニ對シテ、此國家ヲ擔當スル氣魄精神ト云フモノヲ缺イテ居ラレト云フコトハ、甚ダ遺憾ニ堪ヘヌノデゴザリマス（「ヒヤ」ト呼フ者アリ）又「拍手」スル者アリ）又同君ハ此法案ノ施行ニ付イテ御心配ハアッタガ、鐵道國有ト云フ原則ニ向ッテハ、何等ノ御意見ヲ表明セラレナカッタノハ、本員ノ竊カニ遺憾トスルトコロデアリマス、過日大石君ガ委員會ニ於テ述べラレタコロヲ見レバ、國有法案ノ如キハ名デアッデ、名ハ敢テ爭フニ足ラヌト云フヤウナ御意見ガアツ、武富君ハ或ハ同意見デアナイカト思フ、若シ果シテ然ラバ是ハ大ナル間違デアアル、國有法案ハ決シテ名ノ爭デアナイ、叩ケバ響ク突ケバ血ノ出ル、活キタ活實現實ノ大問題デアルデス、既ニ獨逸ニ於テ成功シテ、白耳義ニ於テ成功シ、瑞西ニ於テ成功シ、澳地利ニ於テ成功シ、伊太利ニ於テ成功シテ、歐羅巴諸國ニ於テ燎原ノ勢ヲ以テ解決セラレツ、アルトコロノ大問題デアッデ、是ガ我國ニ來タラハ、恰モ國民皆兵主義若クハ議院制度ト同シ勢ヲ以テ、我國ノ解決ヲ促シテ居ル、活キタ大問題デアリマス、此問題ニ向ッテ進歩黨ノ諸君ハ、唯名ノ問題デアッデ、ドウデモ宜シイト云フヤウナ曖昧ナ御意見ヲ表セラル、ニ止マルハ、本員ノ甚ダ遺憾ニ存ズルトコロデアリマス、反對ノ諸君ハ此法案ヲ名ケテ「ピスマルク」ノ真似ヲシタトカ、獨逸ノ真似ヲシタトカ言ハル、ガ、決シテ然ラズ、是ハ諸君ガ金科玉條ト信ゼラル、トコロノ「グラッドストン」ガ最初解決シタ問題デアリマス、千八百四十四年「グラッドストン」ガ農商務大臣トシテ此國有法案ヲ決シテ、

ルノ資格ガアルヤ否ヤト云フコトハ、先ツ研究セネバナラス、先程未來亡國論ヲ唱ヘラレタ武富君ハ、如何ナル豫言者ノ資格ガアル、此三十一年ノ地租増徴論ノ出タトキ、武富時敏君ハ此演壇ニ登リテ、地租ヲ増徴スルナラバ、農民ノ力ハ枯渴シテシマツテ、國家ハ爲ニ亡滅ノ域ニ至ラントストマデ斷言セラレタ、此斷言ハ少ナカラヌ影響ヲ與ヘラレタルノミナラス、外國マデ電報デ傳ヘラレテ、少ナカラヌ妨害ヲ公債ニ及ボシタノデアリマス、諸君其後國家ハ果シテ亡ビタルヤ、農民ガ果シテ枯渴シタルヤ、否ナ、其時ニ決シタトコロノ増稅法ニ依リテ我海軍ハ擴張セラレテ、昨年ノ立派ノ海戰ガ出來タノデアリマス、然ラバ武富君ハ豫言者ノ資格ガナイト云フ確ナ證據デアラウト思フ、偕デ此似而非豫言者ノ豫言スルトコロハ、又同時ニ當テニナラヌト云フコトモ又明白デアル、諸君、公債ヲ増發スレバ株券ガ下ガルト云ハレル、是ハ座上ノ空論デアル、公債、株券、紙幣、是ノ如クノ經濟社會ハ、尙此自然法ニ支配セラレタルコトデアッテ、一ノ穴ガ明ケバ空氣ハ直グ這入ルノデアル、四億万ノ公債ヲ發行スルト云フコトハ、唯出スノデハナイ、四億万圓ノ株券ヲ引取ツタ、其穴ヲ埋メルノデアル、即チ空氣ハ自然ニ穴ニ這入ルノデアル、然ラバ新タニ非常ニ公債ガ殖エルノデナクシテ、株券ガ形ヲ變ヘルニ過ギヌノデアル、諸君、株券ト云フモノハ公債ト同ジク紙幣デアナイト云フコトハ明白ノコトデアラウト思フ、先程我同論者ハ公債ハ賣ラレルカモ知レヌ、併ナガラ同時ニ事業費トナツテ起業セラレルト云フコトヲ言ハレル、是レ實ニ我意ヲ得タモノデアル、經濟社會ニ於テハ米ガ總テノ物價ノ標準ニナルガ如ク、此一段上ノ經濟社會ニ於テハ株券ガ總テノ價ヲ支配スル標準トナツテ居ルノデアル、株券ガ上ガレバ公債ガ上ガル、株券ガ下ガレバ公債ガ下ガルノデアル、今公債ヲ賣ツタモノガ事業ヲ起ス、事業ガ即チ株券ノ價ヲ生ズルノデアル、株券ノ價ガ出レバ公債ノ價ガ出ルト云フコトハ、自明ノ理デアリマス、加之今ヤ我經濟社會ハ世界共通トナツテ、東京灣ノ水ハ「ゴールデンゲート」ノ水ト相通ツテ居ルノデアル、苟モ公債ノ利率ニシテ宜カッタナラバ、我日本ノミナラズ歐羅巴ノ經濟社會ハ、ドシドシ是ヲ吸集シテシマフノデアリマス、我新公債ノ空ノ公債ニアラズシテ、仕拂力ノアル鐵道ヲ持テ居ル政府ガ出シタモノデアルト云フナラバ、其公債ハ羽ノ生ヘルガ如ク、瞬ク間ニ歐羅巴ニ吸收セラレテシマフデアラウト思フノデアル、諸君、我國ノ事情ハ外國ニ能ク分ツテ居ルヤウデアッテ、往々ニシテ分ラヌコトガアル、此新内閣ノ出來ルヤ「タイムス」新聞ニハ新内閣ノ最大問題トシテ、甚ダ困ル問題ハ多分東北ノ饑饉救濟法デアラウト、斯ウ云フヤウニ評論ヲシテ居ルノデ、諸君、是ノ如ク我事情ヲ誤解スル外國ハ、我國力ヲ見ズシテ我政府ヲ見ルノデアル、我政府ガ財源トシテ非常ニ大キナル鐵道ヲ國有トシタト云フコトデアルナラバ、此鐵道ヲ抵當トシテ公債ノ價ガ出ルノミナラス、從來ノ舊公債モ亦非常ニ値ガ出ルト云フコトハ、是亦自然ノ勢デアアルデス、諸君、諸君ハ如何ニ叫バル、トモ數理ハ嚴肅ナル判決ヲモスレバ、如何ニ大キナ聲ヲナサレテモ、一二ガ四ヨリ動カナイノデアル、如何ニ悲マレテモ、三七・二二・一トシカナラヌノデアリマス、諸君ハ中ニハ鐵道ノ値ガ下ツタナラバ、減債基金ヲ買フト云フコトヲ非難シテ、以テノ外デアルト言ハレル、併ナガラ此減債基金法案ナルモノハ、此鐵道國有法案ヲ期待セラレテ、拵ヘタモノデアッテ、其金ヲ買フノデ、從來ノ公債デアラウト、新公債デアロウト、一向差支ナイノデス、舊來ノ公債ニ判ヲ打テ居ルノデモ何デモナイノデス（ヒヤク）「又」ノウク、「」聲起ル（諸君、先ツ反對論ノ心ニ浮シタトコロヲ私ガ非難スレバ、是ノ如キモノデアリマス、是ヨリ進ンデ私ハ此法案ヲ贊成スルノ理由ヲ述ベタイト思ヒマス、諸君、日露戰爭終ツテ平和ノ戰爭ニ入ツタト云フコトハ、諸君モ私モ同意見デアリマス、此戰爭ハ如何ナル方法デ往クカト云ヘバ、尙滿洲ノ戰爭ノ如ク、總テ國際ノ商業戰爭ハ集團的、組織的ニ出來テ居ルト云フコトハ、是ハ諸君モ同感デアラウト思フ、私ハ其集團的戰爭ヲスルニ當ツテ、獨逸ノ「カルテル」システム「亞米利加」ノ「シンヂケート」是ノ如キ方法ニ對シテ、我國ガ關フニ當ツテ

果シテ今日ノ鐵道ヲ關フ二十分デアルカト云フニ、諸君モ亦サウデハナイト言ハレルデア
ラウ、ツレハ諸君モ統一セナケレバナラヌト云フコトハ、屢言ハレルニ依ッテ是ヲトスルノ
デアル、我國ハ此間カラ委員會ヲ議論ヲ聽ケバ、獨逸デナイカラ統一ハ要ラヌト云フ論
モアル、獨逸ハ聯邦デアルカラ統一ハ必要トスル、我國ハ聯邦デナイカラ統一ハ必要ガナ
イト云フ議論ガアルガ、實ハ我國ハ經濟上ノ聯邦デアル、九州ハ九州鐵道ヲ獨立シテ
居ル、山陽ハ山陽鐵道ニ依ッテ占領セラレテ居ル、是ノ如ク今日ハ三十二ノ會社ガア
テ經濟上ノ聯邦ヲシテ居ルデアリマス、此結果ハ即チ鐵道運輸ノ不統一デアル、諸君、
先程此演壇ニ立ツ人ハ、頻リニ鐵道作業局ノ方ガ惡ルイト云フコトヲ言ハレ
ル、是ハ惡ルイカモ知レマセヌ、本員モ其惡ルイニ一ノ例ハ知テ居ル、併ナガラ鐵道作
業局ガ惡ルイニモセヨ、會社ガ惡ルイニモセヨ、鐵道ガ不統一ト云フコトハ事實デアリマ
ス、例ヘバ一例ヲ舉ゲテ見マセバ、越後カラ貨物ヲ一車借切テ東京ヘ持ッテ來ヤウト
思フ、其時官線ハ頻リニヤリタガレドモ、日本鐵道ガ承知セザルガタメニ、貸切ト云フ
コトハ出來ヌデアリマス、又或線ト或線ト連絡シテ居ルトキハ、他ノ線路ヲ妨害スルタメ
ニ、僅カニ一分遲著スレバ、直グ汽笛ヲ鳴ラシテ出發スルト云フコトガアル、之ガタメニ二
時間モ四時間モ待タナケレバナラヌト云フコトハ、此東京ノ附近ヲ旅行セラル、諸君ノ
實見セラル、トコロデアラウト思ヒマス、又或會社ハ他ノ會社カラ持ッテ來タ貨車ハ、自
分ノ構内ヘ拋棄シテ、少シモ取合ハヌ、數催促ヲ經タ後デナケレバ、是ヲ處分セヌト云
フヤウナコトハ數アルデアリマス、故ニ今日ニ於テハ是ノ如キ不統一ノ結果トシテ、遠
キ處ヨリ物ヲ取寄セルニ、其物ガ何日以内ニ到著スルヤ、豫期スルコトガ出來ヌト云フ
位デアル、若シ形容シテ言ヘバ、長崎カラ玉子ヲ東京ヘ送ッタナラバ、東京ヘ到著スル
キハモウ玉子ハ鶏トナツテ、時ノ聲ヲ揚ゲルト云フ位デアラウト思ヒマス、諸君、又貿易ノ
發達ハ運賃ノ廉價デアルト云フコトハ、第一ニ看易キ道理デアリマス、此不統一ノ結果
ハ、運賃ガ果シテ高イト云フコトニナルデス、我國ノ官線ハ一哩八厘ヨリ一錢六厘五
デアル、山陽ハ九厘ヨリ一錢五厘、日本鐵道ハ一錢ヨリ一錢六厘八厘七、佛蘭西ハ
二錢二厘ニ、英吉利ハ五錢、埃地利ハ一錢二厘ヨリ一錢五厘デアアル、歐羅巴ノ方ガ
少シ餘計デアリマスガ、併シ物價ノ高低生活ノ程度ヲ比較シタナラバ、我國ノ高イト云
フコトハ明白デアアル、又更ニ貨物ニ付イテ云ヘバ、實ニ恐ルベキコトガアル、一噸ノ米ヲ
西貢ヨリ日本ヘ持ッテ來ル、神戸マデハ銀四圓八十錢デアアル、又香港ヨリ神戸ヘ持ッ
來ルト、一圓二十錢デアアル、而シテ鐵道ナレバドウナルカ、長崎ヨリ橫濱マデ七百三十
九厘間、一噸ノ米ハ八圓三錢掛ルデアリマス、諸君、海ト鐵道ト無論價ハ違フノ
デアリマスガ、吾ガ長崎ヨリノ米ヲ取ルヨリモ、西貢ヨリノ米ヲ取寄セル方ガ遙ニ廉イト
云フヤウナコトニナレバ、我農作物ハ悉ク外國ノ農產物ノタメニ、侵略スルトコトナルノ
デアリマス、又上海ヨリ門司ニ鶏卵ヲ取寄セバ、一噸四圓五十錢デアアル、所ガ長崎ヨ
リ橫濱マデハ十二圓三十錢掛ルデアリマス、是ノ如キコトハ決シテ我經濟社會ヲ賑カ
ナラシムル所以デナイデアリマス、是ヲ統一スレバドウナルカ、當局者ハ答ヘテ居ル、現
今ノ割合ニ依レバ、山陽線ヲ經テ下ノ關、青森ノ間ハ運賃ハ現今十二圓四十五錢
デアアル、統一シテ割引スレバ十圓四十六錢トナル、又新潟ヨリ上野ヘ出ツタ貨錢ハ一
噸五圓十二錢デアリマス、之ヲ統一ノ結果ハ三圓八十二錢トナルト云フ答デアリマス、
諸君、是ハ一割五分減ルデアリマスガ、今日日本ノ鐵道ノ運賃幾許ノ收入ガアルカト
言ヘバ、年々五千萬圓デアアル、十年ノ後ハ從來ノ割合ニ依レバ、一億二四千萬圓トナ
ルデアリマス、一億二四千萬圓ヨリ一割五分ノ經濟ニナルト云フコトデアレバ、是ハ實
ニ國本培養ノ大法案ト云ハナケレバナラヌデアリマス、(拍手起ル)豈啻ツレノミナラン
ヤ、所謂匈牙利ノ「グーテンツグット」ヲ出シテ、日本ヲ數區ニ割ツデシク大取引ヲシ

タナラバ、物價ノ運賃ハ非常ノ物デ、我國ハ獨リ船貨ヲ競争スルノミナラズ、坐ナガラニシ
テ晚香港、加奈陀線馬耳塞、伯林線ト競争スルコトガ出來ルデアリマス、然ルトコロ反
對ノ人ハサウ云フ統一ハ國有ニ依ラヌモ宜シト云フ御意見ガアル、是レ寔ニ穩カナル
議論ノヤウニ思ハレルデアアル、併シ此穩ナル議論ハ、極メテ危險ナル議論デアアル、諸君ハ
先程カラ競争サセバ改良ガ出來ルナド、言ハレタガ、今日ノ鐵道ニ競争ナドガアル
モノデナイノデス、九州ハ既ニ九州鐵道ノ專制力ノ下ニアルノデス、又山陽ハ山陽鐵道ノ
專制力ノ下ニアル、山陽ハ四國鐵道モ買入レテ居ルノデス、今御話ニ依レバ中國鐵道モ買
入レントシテ居ルト云フ御話デアアル、日本鐵道ハ中仙道ヲ悉ク占領シテ、是等ノ會社ニ競
争モナシモナイ、其傍ニアル小サナ鐵道會社ハ、大鐵道會社ノタメニ悉ク頸ヲ捻デラレ掛ケ
居ル、是ヲ合同セシメルトドウナル、即チ日本鐵道、山陽鐵道、九州鐵道ノ三ツガ話合ヲ
付ケレバ日本全體ヲ占領スル一人專制君主ガ出來ルデアリマス、諸君、此鐵道ガ話合
ヲ付ケレバ「トラス」ヲ組ンダナラバ、其資本ハ四億方、其使フ人ハ四萬五千人、是ニ依
テ政治的衣食ヲスル者ガ二千幾人デアアル、是ガ合同シテ政治上ニ働キ、又貨物ヲ專制
ノ下ニ置イタナラバ、却テ國民ハ總テ此大會社ノ抑壓ノ下ニ憐ミヲ請ハナケレバナラヌト
云フヤウニナルデアリマス、(ヒヤ)「ト呼フ者アリ」諸君鐵道ガ「トラス」ヲ組織トナ
テ國家ニ弊害ヲ及ボスト云フコトハ、先程御話シタ英國デ、既ニ國有法案ヲ確定シナガ
ラ、實行スルコトガ出來ナイト云フ一例デ、御分リニナラウト思フ、現ニ英國ガ頻リニ鐵
道「トラス」ニ苦シテ居ルコトハ、諸君モ御承知デアラウト思フ、否ナ、是ハ獨リ
英國ノミデハナイ、今や青年ニシテ功名心ニ富ム、我内閣ノ一大臣ハ此問題ノタメニ
席ヲ蹴ッテ立ツデハアリマセヌカ、鐵道ノ潛勢力ノ大ナルコトハ、是ノ如キモノデアリマス
(ヒヤ)「ト呼フ者アリ」若シ國家ガ鐵道ヲ國有トナケレバ、鐵道會社ガ國家ヲ社
有トシテ終ルデアリマス、(ヒヤ)「ト呼フ者アリ」斯ウ云ヘバ、人或ハ國有鐵道ハ
富豪退治デアルト云フカ知ラヌガ、決シテサウデハナイ、富豪保護デアアル、今日ノ如クシ
テ鐵道ヲ非常ナ勢デ「トラス」ニセシメタナラバ、其結果トシテ生ズルコロモノハ階
級戰爭ニ外ナラヌデアアル、數方ノ貧民ガ富豪ヲ取圍ハ、内亂ノ狀態ニ終ルデアアル、
國家ハ富豪ヲシテ、是ノ如キ狀態ニ陷ラシメヌヤウニ、階級戰爭カラ彼等ヲ救出スノガ、
鐵道國有問題デアリマス、(論ジ得テ妙)「ト呼フ者アリ」其他時機ガ惡ルイトカ、
或ハ兵事ニ上テ不都合ナト云フ議論ガアリマスグレドモ、私ハ敢テ之ヲ再論セヌデア
ル、併ナガラ唯日露ノ戰爭ニ、何ノ不都合ガナカッタカト云フヤウナ議論ニ對シテハ、反駁
ハナイガ、一言注意ヲ與ヘテ置キタイト思フ、兵士ヲ動スニハ、陸軍大臣トシテ不十分
デアッタトハ言ヘナイデアラウト思フ、併ナガラ十分デハナカッタト云フコトハ、又事實吾
ガ認メルデアアル、是ガ更ニ國有鐵道ヲ手足ヲ動ス如ク、使フコトガ出來タナラバ、用兵
ノ方モ亦自カラ一變スルコトガアツタデアラウト思ヒマス、加之兵士運送ノタメニ、我國
ノ運輸ガ一時止ツタト云フコトハ、諸君ガ御實験ノコトデアラウト思フ、是等ノコトハ敢
テ反駁スル程デモナイガ、御注意ノタメニ言ッテ置クデアリマス、是ノ如クシテ鐵道國有
ハ何レノ方面ヨリ見テモ、斷行セネバナラヌ時機ニ迫ッテ居ルデアリマス、尙其利害デア
ルトカ、方法ガドウデモ、前途ガドウトカ云フデ居ラレルノハ、是ハ舟中大學ヲ講スル人
ハノ言草デアラウト思フデアリマス、終ニ臨シテ一言シテ置キマスガ、此法案ハ前内
閣ノ法案ガ、今ノ内閣ガ踏襲シタ、踏襲ハイケヌト云フヤウナ御議論ガアルノヲ、屢見受
ケマス、凡ツ天ガ下ニ自分ガ考ヘテ自分ガ行フト云フヤウナコトハ何處ニアリマス、屢見受
ケマス、於テハ、屢見他人ガ説キ、言ヒ、論ジ、討論シ、而シテ明カニナツタモノヲ行フト云フコト
ノ外、政治上ニハナイデアリマス、唯政治家ニ貴ブトコロハ、其適當ナル時機ヲ見デ、
之ヲ斷行スルノ勇氣ト、之ヲ行フノ信用如何ニアルノデス、此内閣ハ其適當ナル時機ヲ
見デ、之ヲ斷行スルトコロノ勇氣ヲ持ッテ居リ、而シテ又之ヲ通過スルノ信用ヲ有シテ居

ルコトハ、本員ノ竊ニ賀スルトコロデアリマス

(拍手起ル)

○議長(杉田定一君) 島田三郎君

(島田三郎君登壇)

(拍手起ル)

○島田三郎君 諸君、本員ハ不幸ニシテ、現内閣ノ提出セラル、重大ナル議案ニ皆反對セザルヲ得ザルノ位置ニ立チマシタノハ、本員願ミテ自カラ嘆息スルコトデアリマス、本員ハ現内閣組織ノ始メニ當リテ、少ナカラヌ希望ヲ有シテ之ヲ歡迎シタルモノ、一ハデアリマス、ソレハ首相ノ人格、竝ニ首相ノ財利ニ淡泊ナルコトヲ、私ハ知ラデ居リマス、又首相ガ夙ニ歐洲ノ教育ヲ受ケテ、自由ノ空氣ヲ呼吸セラレテ、其爽カナル空氣ヲ日本ニ傳ヘラレタルコトヲ本員ハ記憶シテ居リマス、ソレ故ニ少ナクモ前内閣ニ比シテ、十中ノ半ハ吾々ノ贊成スベキ議案ガ本議會ニ於テ見ルデアラウト思フデ居リマス、不幸ニシテ此希望ハ空想トナツテ、現内閣ノ命脈ノ係ルコトヲ認メラレタルコトヲ重大ナル議案ハ、本員ガ皆反對セザルヲ得ヌ境遇ニアツテ、今日ノ議案モ亦同ジ運命ニ際會シタノハ、誠意ヲ以テ國ニ臨ムト言ハレタデアリマスガ、本員ノ見ル所ニ依ルト、總テノ議案ヲ説明セラル、ニ當リテ、誠意ヲ何レノトコロニ見出スベキカヲ疑フデアリマス、本員ハ虚心坦懷少ナカラザルトコロノ敬意ヲ拂フテ、内閣竝ニ政府委員ノ辯明答辯ヲ拜聴致シマシタ、又少ナカラザルトコロノ注意ヲ拂フテ、速記録ヲ通覽致シマシタケレドモ、其答辯ト云ヒ、説明ト云ヒ、一モ本員ヲシテ成程是ノ如キ考ヲ以テ、斯ク説明セラル、デアラウト信ズベキトコロノ分子ヲ其中ニ見出スコト極メテ稀ニシテ、誠意ハ何レノトコロニ求ムベキカ、本員ノ疑フトコロノ言デアリマス、既ニ武富君モ説明セラレタ如キコトデ、又或贊成論者ハ國有ト云フコトハ天然法ノ定メタル原則デモアルカノ如ク、我國ノ鐵道ハ國有デナケレバナラヌト、其趣意ヲ細カニ説明シテ、直チニ斷定ヲ下サレタル佐々友房君ノ如キ御方モアリマス、竹越君ニ至テハ、稍其理由ヲ説明セラレマシタカラ、其理由ニ付イテ尙本員ハ細カニ批評ヲ下サウト思フデ居リマスガ、西國寺首相ハ斯様ニ申サレタ、國有義ハ我國ノ元來ノ確定シタル主義デアツテ、一時私有ヲ許シタノハ權宜デアルト言ハレマシタケレドモ、其例トシテ引カレタ我國第一ノ鐵道設立ノトキニハ、實ハ我國ノ程度ハ、國有ナリ私ナリト云フ辨別ハ、我國人ノ思想ノ上ニ浮バナカッタノデ、國民ノ之ヲ企テルモノガナカッタカラ、政府自カラ之ヲ企テタト云フニ過ギヌデアリマスカラ、是等ハ殆ド、若シ西國寺首相ガ此事實ヲ知ツテ、是ノ如ク言ハレタナラバ虛偽デアル、知ラズシテ申サレタナラバ、餘リ政治上ノ經歷ニ富シテ居レル御方ニ取ツテ、不似合ナル事實ノ證明デアルト本員ハ思フ、此事ニ付イテハ特ニ武富君ガ審カニ述ベラレマシタカラ、本員ハ詳シク述べマセヌガ、尙二三述べナケレバナラヌコトガアル、元來我國ノ鐵道ガ模範ヲ英國ニ採ツタノハ履歷ノアルコトデ、我國ノ鐵道ニ功ノアルトコロノ井上勝君ガ、其事實ヲ英國ニ學シテ、其人ノ力ニ依ツテ、鐵道ノ起原ヲ開イタデアリマスカラ、勢ヒ英國ニ模範ヲ採ルコトハ自然ノ結果デアルト思ヒマス、ソレ故ニ我國ニハ明治四年鐵道ヲ造リマストキニ、重キトコロノ技師モ、輕キトコロノ技手モ、英國人ヲ雇ウテ、其物品モ、盡ク英國カラ入レマシタカラ、其規則モ英國流デアツタ、其英國流ハ私立鐵道創立者デアアルカラ、其後イロ／＼變遷ハ經マシタケレドモ、先ヅ私設鐵道ノ國ト見テ宜カラウト思ヒマス、此事ハ其時代ニ確定シタ事實デアツテ、決シテ國有主義ト云フモノハ、我國ノ既往ニハ成立シ居リマセヌ、ソレカラ後ドウデアツタカト申シマス、明治十年以前ニ、元ノ岩倉右府ガ華族ノ後來ヲ案ジテ、世襲財産トシテ確定タルモノヲ持タセタイ、ソレ故ニ世襲財産トシテ官有鐵道ヲ拂下ケタ宜カラウト云フ、議ヲ立テラレタ、此事ハ當時ノ事

實ヲ記憶シテ居ルトコロノモノガ、今日モアルノデゴザイマス、然ルニ此事ノ未ダ行ハレザル先キニ、西南ノ變ガ生シマシテ、國事一變致シマシタガ、此經歷ガ依然トシテ引續イテ居ラテ、今日國有論者ガ頻リニ打撃ヲ加ヘラレタルコトヲ、我國ノ私設鐵道ノ第一デ、期限ガ長ク、其哩數モ多クナツテ居ルトコロノ日本鐵道會社ガ、抑誰ノ誘導ニ依リ、誰ノ説諭ニ依ツテ、成立ツタモノデアリマスガ、岩倉右府ガ主トシテ華族、竝ニ財産家ヲ説諭誘導シテ、其募リニ應ジサセシメタメニ保護規則ヲ立テ、サウシテ之ヲ成立セシメタノデ、實ニ私設鐵道會社ト云フモノハ、英國ノ如ク民間有志者ガ、之ヲ發起シテ、設立シタニアラスシテ、政府ノ權力ヲ持ツテ居ル人ガ、之ヲ誘ウテ建テラレタモノデアアル、是ニ與ツタルトコロノ古老モ、歷々トシテ存シテ居リマスカラ、此事ニ一點ノ虛偽ハナイデアリマス、ソレ故ニ我國ノ國有鐵道ノ主義ガ、確定シタト云フコトヲ若シ知ツテ言ハル、アラバ、首相ノ説明ハ虛偽ノ説明デアル、知ラズシテ言ハル、ナラバ、是ハ事實ニ粗雜ナリト云フ誇リハ免レヌ、ト本員ハ思フ、是ガ第一本員ガ記錄ニ留メテ内閣ハ虛偽ノ説明ヲセラレタト云フコトヲ、世ノ中ニ申シテ差支ナイトコロノ、事實ノ説明デアリマス、ソレカラ漠然トシテ今日ハ鐵道ノ經綸ヲ定メテ、其基礎ヲ立テナケレバナラヌト云フノデ、此大變革ヲ國ノ經濟ニ起ストコロノ議案ヲ提出シテ、之ヲ贊成セラレタ佐々君ノ如キハ、大戰争ノ後ニ大經綸ヲ建テタ大議案ヲ出シタ、如何ニモ壯大ナル言論ヲ重ネラレマシタガ、是ハ本員カラ見マスルト、殆ド空中樓閣ニ過ギヌト、本員ハ思フデ居リマス、(一ノウ／＼ト呼フ者アリ)空中樓閣ニ過ギヌト云フコトヲ、是カラ説明シテ、ノウ／＼ト言ハル、御方ニ答ヘヤウト思ヒマスガ、且又斯ウ云フコトガアル、時期ノ問題ニ付イテ、首相ハ斯様ニ説明セラレタ、來年度ニナルト、種々ノ經綸ノ事業ガ多クナツテ來ルカラ、最早鐵道ノ事業ヲ考ヘテ協議スル暇ガナイカラ、先以テ之ヲ提出致シタト云フノデ、今日ハ最モ適當ナル時期ナリト説明セラレタ、ソレカラ軍事ニ係ツテハ、最モ簡單ニ軍事ノ必要ト云フ首相ノ一言ニ止マリマスガ、其詳細ナル説明ハ、陸軍大臣ノ説明ニ依ツテ本員ハ、其意ノアルトコロヲ知リマシタカラ、是ハ此次ニ批評ヲ下ス積デアリマスガ、斯ウ云フヤウナ譯デ、全體國有トカ私有トカ云フコトハ、我國デハ近時ノ問題デ、翻譯輸入ノ言葉デアラウト思ヒマス、又國有デナケレバナラヌト云フ原則ハ、決シテ宇宙ノ間ニ存スルデハナイノデ、政治ト物理學トハ、全ク原則ガ違フデ居リマスカラ、政治カラ云ヘバ、其國ノ事情、形勢、時期等ノ利害得失ノ問題ヲ以テ、私有デナケレバナラヌ、國有デナケレバナラヌト云フコトヲ、ドコニ誰ガ極メテ物理學上ノ原則ガ、世ノ中ニ現ハレマシタカ、本員ハ之ヲ佐々君ニ伺ヒタイデアル、ソレ故ニ本員ハ歷史ニ徴シテ、其利害得失ヲ論ジナケレバナラヌト思フデ居リマスガ、本員ノ理想ヲ申シマスレバ、國ノ幹線大動脈ハ、國有デアアルコトヲ宜イト致シマス、此事ハ本員確カニ明言致シマス、併ナガラ、ソレニモ適當ナル時期ガアツテ、尙且今日私設ノ會社ヲ買収シマス、之ヲ國有トナスニ至ツテハ、是ハ暴人ノ暴舉デアルト、本員ハ斷定ヲ致スコトゴザイマス、是非トモ競争ヲ思フデ居リマス、(競争ハアリマス)ト呼フ者アリ、其競争ニ付イテ、本員ハ論ズルノデゴザイマス、尙御聽キヲ願ヒマス、頻リニ獨逸ノ例ヲ引イテ、獨逸ガ鐵道ヲ買上ゲテ、サウシテ大ニ成功シタト申サレマシタケレドモ、獨逸モ諸君ノ申サル、ガ如キ成績ヲ奏セズ、又諸君ノ空想セララガ如キ經歷ニ依ツテ、之ヲ買上ゲタノデハナイト本員ハ信ジテ居リマス、ソレ故ニ始メテ之ヲ買上ゲマストキニ、宇瀨西國ノ鐵道ヲ統一シテ、殆ド宇瀨西ガ獨逸聯邦ノ首位ヲ占メテ、此力ヲ以テ他ノ聯邦ヲ統一スル機關ニ備ヘタデアリマシテ、獨逸聯邦ノモノヲ、一時ニ買上ゲタルト云フヤウナ暴舉ハ致シマセヌ、又其財源ハ我國ノ如ク、公債ヲ殖シテヤッタノデハナクシテ、佛蘭西ヨリ戰捷ノ結果得タル償金ヲ利用シテヤッタデアリマスカラ、經濟ノ上ニ於テモ全ク事情ガ違フデ居リマス、我國デ封建ヲ碎イ

來て二十七分邊スルコトが出来ルヤウニナツタ、其他連絡ノ點ハ如何、聯絡ハ海陸ノ
連絡ヲ便利ニスルノガ、鐵道ノ效用デアリマシテ、港ハ國ノ來口捌口デアリマスカラ、旅
客並ニ貨物ヲ速ニ鐵道ニ直接ニ上ケルト云フコトナケレバ、鐵道ノ效用ハ半バ空シト
言ハナケレバナラヌ、我國ノ第一ノ鐵道ナル京濱間ハ、港ノ連絡ガナシ、此間ノ馬車デ
ヤデ居ルコト、實ニ三十五年ト云フハ、何ト緩慢ナモノデアリマセヌカ、漸ク今年豫算
が出テ、連絡線ガ是カラ著手セラル、ト云フコトハ、官設鐵道ハ利益ガアデモ利益ガナ
クデモ、定タル給料ニ割賦ガ無イモノデアリカラ、人情トシテ政府ノ利益ヲ高メテ、會社
モ利益シ公衆モ利益シ、共ニ其福利ヲ享ケヤウト云フ、其動機ガ成立ッテ居ラヌカラ、是
ノ如ク連絡ノ上ニモ大ナル缺點アリト云フコトヲ、事實ガ確證スルデアリマス、是デモ尙
官設ハ私設ニ優リ進歩アリト言ヒ得ルカ、反對ノ人ハ其事實ヲ擧ゲルコトヲ望ム、運送
ニ付イテ申セバ、富山、直江津間ハ、是ガ繋ガリマスレバ、東海、北陸ノ間ノ連絡線ト
ナリ、貨物ノ上、旅客ノ上ニ便利ヲ得、利益ヲ與フルデアリマスガ、長イ間豫定線ニ
ナデ居リマスガ、此線路ハ中斷セラレテ居デ、此循環鐵道ノ效用ヲ遂ゲルコトが出来
ナイ、是ハ私設カ官設カト云フト、別ニ文書ヲ繰廣ゲズトモ官設ト云フコトガ分ル、此意
ハ如何、本員ハ記憶シテ居リマスガ、中央鐵道ヲモット早ク延長シテ、長野其他ノ縣カ
ラ、中央ノ山間ニ在ルトコロノ物貨ヲ、廉ク諸所ヘ運ビタイト云フコトハ、此連絡ノ一日モ
速ナランコトヲ望ムデ居ルガ、此線路ガ運タタルガタメニ、鹽尻近傍ノ村ハ數村聯合シテ、
郡ニ及ボシテイクラカ獻金ヲシテ、早ク延長シテ貰ヒタイト云フ請願ヲスルタメニ、調印
ヲ取ツテ居タツト云フコトヲ記憶シテ居ル、是ハ官線カ私線カ、官線ノ怠慢ニシテ、如シ
クレカヲ贊成論者ハ斯様ニ申サレル、若シ官線ニスレバ寒村僻落マデ線路ヲ延バスカラ、
國民ガ利益ヲ被ムルト云フハレマスケレドモ、山陰ノ方面ノ官線ハ如何、山陽ハ數キ易イ
ト云フ便利ガアリマスケレドモ、山陽鐵道會社ハ軍事ニモ間ニ合シテ遺憾ナカラシムル程
ノ働ハシマタガ、山ヲ一ツ越ヘマシテ、山陰ノ鐵道ハ官線ノ領域デアリマスケレドモ、其土
地ノ人民ガ非常ナ不便ヲ受ケテ、屢々請願ヲ議會ニ提出スルノヲ、諸君ハ御記憶ハア
リマセヌカ、是ハ官線ノ領域デアリカ、私線ノ領域デアリカ、無論官線ノ領域デアラウガ、
既往ノ事ニシテ、官線ガ一時ニ數ヶバ、寒村僻落マデ線路ガ延ビヤウト云フコトハ、
贊成論者ハ事實ヲ根據トセズシテ、夢ヲ見テ居ラヌカト本員ハ冷評ヲ致シマスノデ、
ウク「ト呼フ者アリ」ノウト云フナラバ其理由ヲ承リタイ、前ニ申シマス通、本員ハ官
線ナケレバナラヌ、私線ナケレバナラヌト云フコトニ固著スルモノデアナイ、國ノ宜シキニ
適シテ、早ク人民ノタメニ便利ヲ開キ、運賃ヲ薄クシテ、國力ヲ發達シ望ムデアリマス
ガ、現在ノ事情ニシテ、明カデアアルノニ、官線ニ左袒シテ唯獨逸ノ翻譯ノ文章ヲ讀
ムノガ、議會ノ能事デアナイト思フデアリマス、競争ガナシト云フハレマスガ、本員ハ競争
ガアルト思ヒマス、競争ハ必ズ並行線バカリガ競争ト思フノハ、如何ニモ淺薄ナル意見デ
アル、荷物ノ扱方カラ運賃ノ上ゲ下ゲガ皆是ガ競争デアアル、然ルニ私設線ガ却テ廉シ
テ官線ガ高イト云フニ至デハ、マダ官線ガ今日タケ止メテ居ルノハ、此運賃ノ競争カ
ラ吾々ガ甚シイ害ヲ被ラナイデアラウト本員ハ思ウテ居ル、總テノ競争ハ皆進歩ノ友デ
ゴザイマスカラ、本員ハ競争ヲ一切絶テ、空名ノ下ニ國有ニ統一セシムルト云フコトニ付
イテハ、大ニ諸君ノ反省ヲ煩サナケレバナラヌト思ヒマス、抑山陽線ノ他ノ線路ニ比
シテ進歩致シマシタノハ、別段ノ理由デアナイ瀬戸内ニ往復致シマストコロノ船舶ニ依
テ旅客ガ便利ヲ得、荷物ガ廉ク往カラ、山陽線ハ此競争ニ促サレテ、旅客ヲ大事ニ
致シマス、旅客ニ對シテ左様ニ親切ニ取扱フ線ガアルカラ、政府ノ官線ガサウドウモ旅
客ヲ惡シク扱フコトが出来ナイ、サウ運賃ノ高ク上ゲルコトが出来ヌデアルト云フコトハ、
今現在ニ止マデ居ルデアラウト思フ、尙共通ノ列車ヲ許シテ貰ヒタイト云フコトコロ
願出テ、鐵道局ニ出シタト云フコトヲ承デ居リマスガ、官線ノ方ヨリ官線ノ方ニ餘リ

ルト云テ、私設線路ニ列車ヲ貸サウト云フコトハ當テ無クシテ、却テ不行居デアルト云
ハレル山陽會社ガ、政府ノ線路ニ自分ノ列車ヲ入レテ、往來ノ區域ヲ據メタイト云フト
コロノ請求ヲ致シタコロヲ見ルト云フト、山陽ノ方ハ働掛ケデアツテ、政府ノ方ハ受身デ
アルノデ、是ヲ較ベテ見マシタナラバ、強弱ノ點ハ判然ト分ララウト思ヒマス、是ハ決
シテ私ガ政府ノ當局者ヲ罪スル譯デアナイ、制度ノ然ラシムルトコロデ、總テ利益ガアリマ
スレバ、其利益ガ下ニ及ブト云フ商業的ノ組立ハ、總テ規則デアアル、規則ニ違ハナケレ
バ反則ニアラズト云フ官營ノ組立ハ、根柢ノ基礎ガ違テ居リマスカラ、是ノ如キ弊害ヲ
生ズルノデ、例ヘバ長ク鐵道局ニ奉職シテ居ラレタ仙石君ガ、九州鐵道ニ入ッテ敏活ニ
働カレテ、彼ヲ改良シタト云フデアルガ、是ハ人ノ違ヒニアラズシテ制度ノ違ヒカラ自
分ノ力ヲ、伸ブルコトが出来ルと思フノデ、今日ノ私設會社ヲ殘ラズ統一シテ、總テ政
府ノ手ニ歸シタナラバ、此固有ノ弊害タル無競争ノ害ハ、ドウシテモ受ケルデアラウト思
ウテ居リマス、唯今申シマス通り、斯ウナデ居リマス、ソレカラ細カイトコロノ里數割
ノ人數ノ使方モ政府ノ方ガ一哩ニ付イテ多クナッテ居リマス、營業ノ上ノ利益ト云フ
コトモ政府ノ方ガ多クナッテ、私設會社ハ少ナクナッテ居リマス、是ヲ明言シテ置キマスガ、
一々讀ムノ煩雜ニ互リマスカラ止メマス、抑政府ガ鐵道國有ヲ主張スル主タル目的
ハドコニ在ルカト云フコトヲ聽イテ見タイ、主タル目的ハ軍事ヲ主トスルデアルカ、國
力ヲ發達ヲ主トスルデアルカ、首相ノ演說ヲ承ルト民力開發ヲ主トスルデアルカ、運賃引下ト云フ
ヤウナ意味ガ這入ッテ居リマスガ、此民力開發ト云フコト、運賃引下ト云フコトモ、本
員ノ考ヘルトコロデハ果シテ其希望ヲ達セラル、ヤ否ヤ、恐クハ否ト答ヘザル得ヌト思
マス、然ルニ贊成論者ノ中ニハ此壇ニ登ッテ、發言ハセラレマスケレドモ、斯ウ云フコト
ヲ言ッテ居ラレル、確ニ人ニ語ッテ申サレル中ニ、今後五千萬圓ノ收入ヲ得ル、確實ノ
官營業業ハ鐵道ヲ除ク外ニナイデアアルカラ、是非ハ國有ニシテ、サウシテ政府ノ財
源ヲ助クルニ好財源デアアル、此理由ヲ以テ鐵道國有ニ贊成スル言ハレタ方ガアル、ソ
レニナリマスト云フト、全ク三ツノ目的ニ分レル、一ハ利源開發デアルト云フデアアルカ
ラ、成ルタケ費用ヲ少ナクシテ多クノ荷物ヲ容易ニ出サセヤウト云フノデ、營業ノ費用ガ
少ナケレバソレタケ割合下ケテ、多クノ人ヲ乗セ、多クノ荷物ヲ出サセルト云フ方ニシナ
ケレバナラヌ、若シ營業ノ目的デアラナラバ、高クシテ此差ヲ多クシテ、政府ノ國庫ヲ富マ
スト云フ方デ往カケレバナラヌ、若シ又軍事ヲ目的トスレバ、軍艦ヲ造リ砲臺ヲ造ルト
同シヲ以テ造ラナケレバナラヌデアアルガ、此目的ハ如何ニ調和セラル、カ、種々ノ内
閣ノ權力ハ、首相ノ一身ニ集マルデアリマスカラ、首相ハ陸軍大臣ニ左袒シテ、軍事ノ
目的ニ專ラ考ヘラレルカ、抑亦大藏大臣ニ左袒シテ收益ヲ目的トセラル、ノデアリマス
カ、此區別ノ調和如何ト云フコトヲ本員ハ承リタイト思フデアリマス、此所ハ委員會
ニアラズ、本員ハ不幸ニ委員ニ漏レマシタカラ、聽クコトが出来ナカッタ、其故ニ今日
此事ヲ社會公衆ト共ニ承リタイト云フ質問ヲ、此壇ニ發シテ置キマス、本員ノ考ヘルト
コロニ依リマスレバ、恐クハ收入ニ陷リハセヌカト思ヒマス、軍事ノ目的モナカ、要求
ガ強イ、收入ノ目的モナカ、強クシテ、サウシテ遂ニ必要ニ迫ラレテ、收入ニ陷ラネバ
宜イカト本員ハ憂ヘテ居リマス、政府ノ國庫ハ決シテ裕デナイ、裕ト云フハ寧ロ窮
迫シテ居ル、常收入ヲ以テ常支出ヲ償フ能ハザル形勢デ、減債基金ノ如キ誠ニ入組
シテ機關ヲ以テ、此難事ニ處シテ居ラレタコトヲ知ッテ居リマスカラ、是ニナリマスト若シ政
府ノ一手ニ是ヲ集メテ、此鐵道カラ收益ガ多クナッテ、或論者ガ希望スルガ如ク、大層利
益ガアルニ拘ハラズ、此利益ヲ收入ノ目的ニ使ハレルデアリマスカラ、運賃ノ下ガル目
的ガ無ク、從テ國力開發ト云フ目的ハ塞ガレデアラウト思ヒマス、是ニ於テ丁度大臣ガ
旨ク答ヘラレタコトヲ本員ハ速記録ヲ發見シタ、或議員ガ政府ノ直接ノ管理ニ歸シテ

國有ニシテレバ、統一が出來ナイカト云フコトヲ問ヒミシタラ作業局長ノ平井君ハ完全ナル統一ハ政府ニ握ラナケレバ出來ヌト言ハレタ、誠ニ是ハ巧ミナル答デアデ、本員ノ論ズル如ク私設鐵道法何故統一が出來ナイカト云フ問ハ、至當ナル鋭敏ナル議員ノ問デゴザイマスカラ、其故ニ統一が出來ナイト云フコトハ、物ヲ知ラデ居ル作業局長ニハ言ハレナイ、流石ニ此人ハ苦勞人デアラカラ、内務次官カラ移ラレタ方ハ素人デアラカラ、漠然ト統一が出來ヌト、通信大臣ハ答ヘル餘地ガアリマスケレドモ、作業局長ハ苦勞人デアラカラ、完全ナル統一が出來ナイト逃ケラレタノハ、極メテ辯護士ノ口調デアラト、本員ハ冷評ヲ以テ是ヲ迎ヘタ、其次ハ公債償還年限計算表ニツブモノが出來テ、此年限表ハ幾年ノ後ニナルト、元金モ返レバ諸カルト云フ表ニナツテ居リマス、是ニ向テ問フ發スレバ、果シテ此表ノ如クシテ、誠ニ政府ハ德ガアルト阪谷大藏大臣ハ答ヘラレタガ、是モ亦大藏大臣ノ腦髓デハ此計算ヲ信用セラザラコロノ言葉デアデ、大藏省ハドウシテモ此責任ヲ執ル、ダケ、暗昧ナイト本員ハ大藏大臣ノ腦髓ヲ信シテ居ルカラ、是ハ極メテ巧ミナル答辯デ、果シテ此表ノ如クシテ、ト云フコトハ、大藏大臣ハ此責任ヲ免レタハ、誠ニアツナイコロノ機關デアデ、此機關ノ上ニ大鐵道ヲ政府ノ手ニ歸サウト云フハ、如何ニモ氣樂ナルコロノ諸君デアラト、本員ハ笑フデ之ヲ評サナケレバナラヌ(拍手起ル、此時發言者多シ)尙諸君ガ御退キニナリマシテモ一向差支ナイ、定足數ノ關ケルマデハ本員ハヤリマス(ヒヤ／＼ヤルベシト呼ブ者アリ)且又空想ヲ逞シウシテ政府ノ手ニ歸スレバ儉約ガ屆ク、ソレ故ニ此割合ヲ低メルコトが出來ルト言ハレマシタガ、本員ノ記憶スルトコロニ依リマス、ト云フコトハ、政府ノ手ニ歸シタル鐵道ハ決シテ此割合ヲ低メルコトハ出來ナイ、寧ろ唯今中シマシタ四邊ノ事情ニ迫ラレテ高メルデアラウ、競争ヲ斷チマシタナラバ、一方ニハ進歩ガ止メ、一方ニハ競争ヲ離レタルガタメニ、割合ヲ上ゲテモ乘ラザラ得ヌト云フ窮地ニ國民ハ陷ルト思フテ居リマス、何故ニ政府ヲ斯クマデ本員ガ信セヌカト云フコトハ、最初ヨリ政府ハ此一般ノ通信機關、一般ノ運輸機關ニ依テ益ヲ得ルト云フ方針デアデ、決シテ其實際ノ費用ヲ拂ヒ切ツシマッタハ、後トハ直段ヲ下ゲルト云フ方針ヲ執ツコトガナイ、寧ろ上ゲタコトヲ、本員ハ記憶シテ居ル、ソレハドウ云フコトデアラカト云フコトハ、前年地租増徴ノ案ガ政府カラ出マシタキニ、衆議院ハ此割合ヲ減サテアル、マルデ否決ハ致シマセタガ、政府ガ望ムケノ割合ヲ與ヘヌタケノ修正ヲ加ヘタカラ、ソコニ政府ガ望ムケノ額トノ差額ガ出タ、此差額如何ニスルカト云ヘバ、政府ハ斯様ニヤッタ、其ハ一確力山縣内閣ノトキト思フデ居リマスガ、一ハ郵便賃ヲ上ゲルコト、市内ニ今マデアリマシタ一錢ノ端書ガ、一錢五厘ニナツタノハ此時デ、國中平均二錢ノ郵便ガ、三錢ニ上ツタノハ此時デアラ、是ト同時ニ是ハ法律デナク、行政ノ一ノ命令デ、是ノ如ク出來ルデアリマスガ、鐵道ノ運賃此差ニ對スル豫算ノ上ニハ、之ヲ以テ補フコトヲ云フコトデ、今日鐵道ノ運賃ノ上ツタコトハ、此譯カラデアラ、此事蹟ノアルニ、尙諸君ハ政府ノ手ニ歸スレバ運賃ガ下ガルト思ハル、カ、氣樂モ亦甚シイ哉ト本員ハ思フ、尙政府ガ之ヲ上ゲタガタメニ、私設鐵道モ上ゲタノデアリマスガ、是ハ國民ノ損デアデ、政府ノ會計ヲ殖ヤスト同時ニ、私設鐵道ノ利益ヲ政府ガ媒介シテ殖ヤシテヤッタト云フ結果ニナルカラ、既往ノ例ニ如キモノデアレバ、後來之ヲ一手ニ歸シテ、如何ニシテ運賃ヲ下ゲル望ミヲ屬スルコトが出來マス、是ヨリシテ本員ハ緩急論ニ至ツテ、殆ド評スルトコトヲ知ラヌ位驚イタ、何故ナレバ首相ハ唯今申シマス通り、國ノ富ヲ開發スル、運輸ノ便ニスルコト言ハレタガ、其一部ノ責任ヲ帶ビタル陸軍大臣ノ説明ニ依リマス、是トハ全ク事實ヲ盾シテ居ル、ト本員ハ思フコトデアリマス、竹越君ハ誠ニ戰慄後ノ日本ハ大規模ヲ以テ大ニ發展ノ勢ヲ示サナケレバナラヌノニ、武富君ハ極メテ悲觀デアラト言ハレタガ、本員ハ武富君ガ悲觀デアレバ、寺内陸軍大臣ハ、極度ノ悲觀論者デアラト評サナケレバナラヌト思フ、ソレハドウ云フコトデアラカト云フコトハ、軍事ノ間ノ連絡ガナケレバナラヌ、統一ガナケレバナラヌト云フ議論ガアデ、果シ

テ日露ノ大戰ノ間ニ、ドウ云フ有様デアッタカト委員ノ一人ガ問ハレタラ、陸軍大臣ハ斯様ニ申サレタ、今回ノ大戰爭ハ働キカケノ戰爭デアデ、外ハ兵ヲ出シタノデアラカラ、相當ニ往ツタ、斯ウ明言シテアル、ソレハ確ニ速記録ニ載ツテ居リマス、陸軍大臣ハ多クノ遺憾ヲ私設官設雜雜シテ居ル此線路ニ於テ、感セラレナカッタコトハ確デアラ、百萬人ノ兵ト之ニ伴フ軍需品ノ輸送ガ、相當ニ往ツタノデ、殊ニ最モ繁盛ナル衝路ニ當ツタノハ、山陽線ト九州線デアラウト思ヒマス、是ニシテ遺憾ナク、私設鐵道ハ相當ノ役目ヲ勤メタト思フデ居リマスガ、然ルニ陸相ハ、斯様ニ申サレタ、今回ノ働キカケノ戰デアデ、外ハ兵ヲ出シタノデアラカラ、其外敵ヲ引受ケテ敵軍ガ我海濱ニ攻上ツタ場合ヲ指シテ、受身ノ戰ト申サレタノデアラウ、其外敵ヲ引受ケテ敵軍ガ我海濱ニ攻上ツタ場合ヲ論ガナイケレドモ、想像ノ上デハ恐ラク是デハ遺憾ガアルダラウカラ、國有鐵道ニシテ、總テヲ丁度腹ノ手ヲ使ヒ、手ノ指ヲ使フ如クニシナケレバナラヌト思フ、是ノ如キ大體ノ議論カラ進メ、其實例ヲ示サレタノハ、紀州半島ニ敵軍ガ上陸シタ場合ニ、大阪附近ニ兵ヲ送ツテ、自由自在ニ動スニハ、唯今ノ鐵道デハイカヌト云ハレタ、本員ハ實ニ大規模ノ戰捷後ノ日本帝國ガ海軍全滅シテ敵ノ陸兵ガ近畿ニ上ツタト云フコトヲ假定シテ、鐵道政策ヲ立ツルニ至ツテハ悲觀ノ極デアラト思フ(拍手起ル)是ハ海軍全滅シタ場合ヲ想ハナケレバナラヌ、海軍全滅シテ、後ノ陸軍ノ計畫ヲ今カラ——今日ハ日英同盟モ成リマシテ、甚ダ氣強イトコロノ時勢ニ進シタト云ツテ、外交者ニ向テ贊辭ヲ呈スルトコロノ政府黨ガ、何故ニ此條約モ無視シ、尙且僅ニ浦鹽斯德ニ數隻ノ船ヲ止メタケ、歐羅巴カラ輸送シタコロノ相當ノ軍艦ハ、悉ク日本海ニ沈没シテ、之ヲ恢復スルニ二十年ノ時日ヲ要スルデアラウト假定セラレタ、トコロノ露西亞ヲ相手トシテ、日本國ガ何レノ敵ヲ引受ケテ、海軍全滅ヲ假定スルコトが出來マスカ、是ニ至ツテハ本員ハ理財ノ上ニハ現在關閣ガアルカラ之ヲ憂フルノハ杞憂ニアラズシテ、相當ノ憂デアラガ、戰捷國ノ日本帝國ガ海軍全滅ヲ豫想シテ、紀州半島ニ敵軍ガ上ツタト云フコトヲ豫想シテ、全國ノ鐵道政策ヲ定メントスルニ至ツテハ、實ニ悲觀ノ極デアラト本員ハ思フデアラ、尙本員ハ是ニ於テ記憶ヲ惹起スコトガアル、是ハ委員會ノ中デアラカラ、本院ノ御方ハ御承知アリマス、本員ハ明治二十六年ト覺エテ居リマスガ、鐵道敷設法ノ委員會ニ臨ンデ、大切ナル事實ヲ本員ハ聽得タノデアラ、此時ニ方デ鐵道敷設ノ計畫ヲ致シマシテ、線路ヲ豫定スルコトニ、委員トシテ出ラレタノハ、今ハ致クナラレタ、故ノ松本莊一郎君ガ、鐵道局長トシテ出ラレ、唯今ノ臺灣總督ノ兒玉源太郎君ガ、陸軍次官トシテ出ラレテ、陸軍ト通信トノ間ノ聯合ノ政府委員ガ、吾ニ向テ説明セラレタ、其餘談ヲ悉ク今日ハ諸君ニ御報告シテ、軍事ノ基礎ニ於テ、平常ノ鐵道ヲ計畫スルト云フコトハ謬レルモノデアラト云フコトヲ説明シタイト思ヒマス(「謹聽」ト呼ブ者アリ)斯ウ云フコトデアラ、其時ニハ總テノ鐵道ヲ早く敷イテ日本ノ國富ヲ開發シタイト云フコトハ、鐵道局ノ意見、陸軍省ハ若シ陸軍ヲシテ專門ニ喙ヲ容レシムレバ、海濱ニ鐵道ヲ敷クコト云フコトハ、甚ダ危險デアラ、海岸ヲ砲撃セラレ、トキニハ、直チニ鐵道ヲ斷タレノデアラカラ、ドウシテモ中央ハ敷カナケレバナラヌト云フガ、陸軍省ノ説明、其時ニ陸軍省デハ費用多キニ拘ハラズ是非共早く開カナケレバナラヌト云フコトハ、甲州ヲ經テ信州ニ到ル八王子線ノ先キノ方デ、是ニハ幾多ノ鐵道ガアルカラ、非常ニ鐵道局ノ方デハ難工事トシテ、費用ノ多キニ苦シムガ其委員ノ説明ニ依ルト、東海道ニイクラ線路ヲ敷イテモ、アレハ一タビ海岸カラ砲撃セラレ、ハ斷ヘテシマフ若シ東京灣ガ砲撃サレタナラバ尊キ御方何レノ地ニ置カカ、ドウシテモ申州ヲ以テ尊キ御方ノ行在地ト定メナケレバナラヌカラ、早クアノ鐵道ヲ穿タナケレバナラヌト云フコトガ、中央ノ鐵道ヲ急ギマシテ、多クノ費

用ヲ厭ハズ、之ヲ急イダト云フコトノ理由デアッテ、此時ニ餘談トシテ故松本莊一郎君ノ話サレタコトガアリマス、是ハ初メカラアル議論デアッテ、東海道ノ鐵道ヲ敷クトキニ、既ニ此事ガ陸軍部内カラ開イタコトガアル、此時ニ日本ハ國力ヲ養ヒテ、大體ノ基礎ヲ定メズシテ、此國路ヲ使ヒ潰ス方ニ先ヅ手ヲ著ケルト云フコトハ、日本ノ建國ノ大方針ナイト如何ナル論ガアッテモ、東海道線路ヲ選定スル、是ダケノモノヲ開イタノハ井上勝君ノ功ナリト、松本君ハ明カニ本員ニ語ラレタ、此人既ニ死シマシタカラ、直チニ其證言ヲ證人トシテ呼ブコトハ出來マセヌガ、名譽ニ掛ケテ此人ガ井上勝君ノ功ナリト云ハレタコトハ、本員ハ記憶シテ居リマス、凡ソ軍事ヲ根柢ノ基礎トシテ、鐵道ヲ敷設スルカ、經濟ヲ根柢ノ基礎トシテ鐵道ヲ敷設スルカ、鐵道ヲ敷設シマスルニハ、先ヅ是ダケノ違ヒガアル、今日先ヅ諸君ガ中央ノ線路ヲ穿タナケレバナラス、或ハ東海道ノ線路ヲ敷設スルト云フ論ガアッテモ、東海道ノ線路ガ今日マデ敷設セラレナカッタラバ、日本ハ如何ナル損害ヲ受ケテ居リマスルカ、發達スルトコロノモノガ如何ニ阻害セラレ、カ誠ニ想像ニ餘リアルト思フ、ソレ故ニ陸軍大臣ガ總テノ塞付僻地マデモ、國有鐵道ヲ望ムト云フノハ、實ニ悲觀極メタモノデアッテ、國力涵養ノ主張ノ第一ニ明言セラレタ、民力ヲ發展シ國力ヲ開發セラレントスル方針トハ如何ニ調和スベキヤハ、甚ダ問題デアルト思フデアル、且又本員ハ今回ノ買収方法ニ付イテ、矢張陸軍當局者ノ主張ハ予盾スルコトヲ言ハナケレバナラス、承ハリマスレバ初メ内閣ニ出デマシタ原案ハ、十七會社ノ線路ヲ買ト云フ案デアッタノガ、度々ノ閣議ニ於テ甲論乙論シテ、遂ニ三十二會社ヲ併セテ買収スルトコロノ、唯今議會ニ現ハレテ居ル議案ニナデ居ルト伺ヒマシタガ、果シテ是ノ如キモノデアッタカ否ヤハ本員ハ知リマセヌ、併ナガラサウデアッタラウト推測スル、是ニ於テ本員ハ此立ビデアリマス三十二會社ノ線路ヲ見ルト、唯驚クノ外ハナイ、其中ドウ云フ線路ガアルカト云フト、近江鐵道、高野鐵道、豐川鐵道、成田鐵道、水戸鐵道、豆相鐵道、河南鐵道、中國鐵道、上武鐵道、東武鐵道、ナド、云フヤウナモノデアッテ、非常ニ弱テ居ル會社ノ線路ガ皆含マレテ居リマスガ、此中ニ若シ陸軍大臣ノ申サル、如キ、本員ガ又理想的ニ望ムシテ居ルガ如キ、宗谷ノ海峽カラ薩摩ノ端ニ至ルマデノ幹線ハ、他日國有ニナルベキ性質ノモノデアル故ニ、甲武鐵道ヲ國有トスルハ、政府ノ誤リデアルト論ズル本員ハ、若シ他ニ障礙ナクシテ經濟的ニナシ得ラル、ナラバ、是ノ如キモノハ國有ニスルコトハ、多分諸君ニ御同意ヲ表スデアラウト思ヒマス、併ナガラ他ニ形勢ノ不可ナルモノガアルカラ、本員ハ反對スルデアラガ、何レニシテモ最早近江鐵道、高野鐵道、豐川鐵道、成田鐵道、水戸鐵道、豆相鐵道、河南鐵道ナドガ、何デ軍事ニ關係ガアリマスカ、是ハ一モ關係ハナイ、高野鐵道ハ高野山ニ參詣ノタメニ出來タ、豐川鐵道ハ吃拵尼天參詣ノタメニ出來タ、成田鐵道ハ成田ニ參詣ノタメニ出來タ、是等ノ鐵道ハ何デ國有ニ關係シマス(拍手起ル)知ルベシ、情實ノ結果デアッテ、多數ヲ得ルニハ方モノヲ併セナケレバ成立シコトガ出來ナイ、情實ノ確證ト思フ、是ハ國民ノ損害デアアル、近江鐵道ノ下落シテ居ルモノモ、必ズ經濟ニ詳シイ御方ハ御承知デアリマセウ、豐川鐵道モ既ニ破産ニ瀕シテ居ルト云フコトモ諸君御承知デアリマセウ、水戸鐵道ガ或銀行ノ抵當ニナデ居ルト云フコトモ諸君御承知デアリマセウ、是等ノ中ニ關係ノ御方ガアッタナラバ、尙詳細ニ御承知デアラウト思フ、七尾鐵道ノ如キモ、亦是ノ如クデ、本員ハ七尾鐵道ノコトナドハ能ク知リマセヌガ、拂込ガ三十圓デ、唯今七圓ニ下落シテ居ッタガ、此鐵道ノ上ニタツト承テ居ル、然ラバ外見國有ヲ以テ軍備ヲ立派ニスルナド、云フコトハ、虛偽ノ甚シキモノデアッテ、西園寺首相ガ誠意ヲ以テ民ニ臨ムト宣言セラレタノハ、ドコニ誠意ヲ見出スコトガ出來ル、併ナガラ斯様ニシナケレバ多數ヲ取ルコトガ出來ナイ、七尾ノ方ノ利害ヲ持テ居ル御方モアリマセウ、近江ニ關係ノ御方モアリマセウ、豐川ニ關係ノ御方モアリマセウ、高野ニ關係ノ御方モアリ

マセウ、ソレ故ニ多數ヲ得ルタメニ出シタト云フナラバ、本員ハ其理由ニ於テ、サモアルベシト承ルデアリマスガ、其中ニ若シ是ガ軍事ニ關係ガアルト云フナラバ、是ハ足利ヨリ以上ニ謝ッテ、國ニ難ノアルトキハ高野山ニ御祈禱スル位ノタメデアラウ(笑聲起ル)尙謝ッテ成田ノ不動ニ勝ヲ祈ッテ、源平盛衰記時代ノ話デアアラウ、明治ノ世ノ中ニ成田鐵道、高野鐵道、豐川鐵道ガ軍事ニ關係アルト云フニ至ッテハ、唯本員ハ笑フヨリ外ニ評シ方ハナイト思フ(誠意ヲ以テ論ズベシ)ト呼フ者アリ、決シテ其通テ事實ハ一モ誤リハナイノデアアル、少シモ誤リハナイノデアアル、事實ニ一誤リガナイカラ、諸君ハ本員ノ言フコトヲ御聽キニナデ宜イ(一一)小會社ノ主義ヲ曲ゲルコトガ出來ルカト呼フ者アリ、諸君ガ御駭キニナレバ靜マルマデ本員ハ此壇ヲ去リマセヌ、議長ノ命ニアラザレバ本員ハ妨ケルノ權利ハ議員ニハナイ筈デアアル、ソコデ官業鐵道國有ノ弊ト云フモノハ、本員ハ茲ニ例ヲ舉ゲテ論ズルコトハ、武富君ノ詳シイ說明ニ讓リマスガ、森林事業ハ如何デアリマス、森林事業ハ政府ガ多クノ財產ヲ有シテ居ル、多クノ土地ヲ領スル、封建ガ總テ破レテ、政府ノ手ニ諸藩ノ止メ山ガ還入ッテ居リマスカ、政府ノ持ッテ居ル森林ガ立派ナモノデ、民ガ伐ッテ賣ルモノトハ競フコトガ出來ナイ、止メ山ガ皆政府ノ所有ニナッテ居ルケレドモ、其財產ヲ較レバ其所得ガ極メテ少ナイノハ、是ハ官有事業固有ノ弊デアアル、森林ニシテ尙是ノ如キモノデアレバ、鐵道獨リ政府ノ手ニ歸シテ有利ナリト論ズルコトハ、理ニ於テ許スベカラザルコト、本員ハ思フ、ソレ故ニ是ヲ分析スルナレバ、一モ全國鐵道ヲ一手ニ歸スルト云フコトハ、正確ノ理由ハナイノデアッテ、事實事情カラ起ッテモデアルト本員ハ推定スル、サレバ是マデ展、現ハレマシタ文書、或ハ新聞雜誌ニ出テ居ル贊成論者ノ口實ニハ、奇怪不思議ノモノガアル、外人ガ鐵道ノ株ヲ所有スルト云フコトニナルト、遂ニ重役ヲ舉ゲルコトニナル、サウスレバ軍事ノ改良ヲ加ヘルト云フコトモ甚ダ覺束ナイカラ、今ノトキガ即チ買収ノトキデアルト云フ議論ガ、貴族院議員等ノ中ニナカ、行ハレテ居ルコトハ、世ノ中ニモ漏レテ知ラレテ居リマスルガ、是等モ亦夢ニ過ギナイ、本員ガ調ベタトコロニ依リマス、總テノ大イナル鐵道會社五、十株以上外人ノ手ニ還入ッテモハ一モアリマセヌ、外人ハ好シデ鐵道株ヲ買フモノニアラズ、若シ買フナラバ日本公債ヲ買ヒマス、公債ヲ買フ方ガ誠ニ容易イ、若シ又賣ルトキハ倫敦市場ガ賣リマスカラ、公債ノ方ニ手ヲ出シマスガ、外人ガ好シデ所有權ヲ確定セヌ政府ノ干渉ノ甚シイ此遠イ所ノ國ニ對シテ、鐵道株ヲ買上ゲテサウシテレニ依ッテ重役ヲ出タスナド、諸君ノ中ニハ左様ナル夢ヲ見ル方ガアルカモ知ラヌ、有リトハ言ハヌ、併ナガラ外人ノ中ニハ絶ヘテナイト本員ハ明言シヤウト思フ、ソレ故ニ此等ハ空想デ必覺通辭ハ其窮スルトコロヲ知ルト云フ古諺ニ背カヌト思ヒマス、ソレカラ經濟上ノ一問題トシテ、軍事ノタメニ最モ否定スベキ事實ヲ述ベナケレバナラス、十八億ノ公債ハ最早其數ニ達セシテ居ル、其前ノヲ合セマスルト總計二十四億トナルト云フノハ誰モ知カデ居ル、然レニ此上ニ又四億ガ五億ノ株券ガ公債ニ換ヘルト云フコトニ付イテ杞憂ヲ懷カデ思フ、是ハ本院ニ說モアリ、尙責任アル人ガ當テ舉ゲタ、此公債モアリマスカラ、ソレマデ說明ノ材料トシテ論ジナケレバナラス、株券ガ公債ニ變ル、此公債ハ確實ナルコロノ財產ノ引當ノアルモノデアアルカラ、源ノナキトコロノ公債デハナイ、ソレ故ニ是ハ相場ニ影響ヲシナイト信ゼラル、トコロノ政府ノ當局者モ、竹越君モ、又此論法ヲ以テ言ハレマシタケレドモ、是ハ經濟ノ初步ヲ理解シテ居ルモノハ同意シナイ、本ノ有ル無イヲ言フナラバ、日本ノ公債何レカ本ノ無イモノガアリマセウ、國ノ信用ヲ基トシテ出シテ居ルモノデアアルカラ、本ノ有ル無イト云フノハ、一ツノ物ヲ言フニアラズシテ、日本ノ富ガ即チ本デアアル、然ラバ政府ノ公債ハ本ノ無イトコロノ公債ガアリマセウカ、併ナガラ此公債ニ高低ノアルノ何デアアルカ、物多ケレバ價ヲ失ッテ需用者ガ少ナケレバ價ヲ失ッテ、供給者ガ多ケレバ價ガ下

ガルト云フコト、同ジコトデアアル、ソレト同ジコトデアアデ、株券ノ所有者ト公債ノ所有者ト、物ノ種類ガ違フノアリマスカラ、株券ガ公債ニ變リマスレバ、日本帝國ノ信用トシテ成立ツニモ、鐵道ノ實物ガ、抵當トシテ成立ツニモ、多クレバ價ヲ失フノハ自然ノ歟デアデ、是ヲ自分ガ所有スルノ好マズシテ、鐵道株ヲ好ムノデアリ、鑛山ヲ好ムノデアリ、他ノモノヲ好ムノナラバ皆利ノ薄キ公債ヲ賣ルニ相違ナイ、賣レバ下ガル、簡單ニ見易イ道理ヲ以テ竹越君ニ私ハ答ヘヤウト思ヒマスノハ、若シ竹越君ノ説明ノ如クンバ、斯クナリマセウ、株券ノ穴ニ公債ガ欲デ來ルカラ、公債ガ殖エデモ直段下ガラヌト云フナラバ、試ミニモウ一步進メテ此五億ダケノ紙幣ヲ發シマシメタナラバ如何デアアル、五億ノ公債ヲ引込マシメシマデ、是デ紙幣ヲ發シタラ紙幣ガ下ラザルヤ否ヤ、此假定ヲシテ見タラバ株券ガ公債ニ變テ下ガルト云フコトハ、恰モ公債ガ紙幣ニ變テ下ガルト同ジ道理デアルカラ、是ガ分ナリノハ腦ノ鈍イノデアルト考ヘ、腦ガ鋭敏デアレバ分ルノデアアル、此原理ガ本統デアルナラバ、之ニ代テ市場ニ多クノ公債ガ出マシレバ、必ズ公債ノ下アルト云フコトガ道理アル推定デアル、尙又大藏大臣ハ斯様ニ答ヘラレタ、前後通ジテ七年間ニ市場ノ有様ヲ見テ出スノデアルカラ、決シテ下ガル憂ハナイト言ハレマシタガ、此市場ノ有様ニ付イテ本員ガ一步進メテ問ハフト思フノハ、七年ノ間ニ若シ公債ガ減ルト云フ餘地ガアデ、其代リニ出テ來ルナラバ、七年ノ間ニ公債ガ市場ニ溢レルト云フコトハナイケレドモ、併ナガラ公債ハ殖エルトコトガアデモ減ルトハナイト云フ有様デ、此數年間過ギルノデアリマスカラ、此間ニ出テ來タモノハ下ガル、下ガデモ割合ガ宜シケレバ外人ノ手ニ歸スルカラ、先以テ下ガルトハ防ケルト思ヒマスケレドモ、併ナガラ鐵道株券ガ外人ニ歸スルコトヲ恐レル杞憂論者ハ、同時ニ公債ガ多ク外人ニ歸スルコトヲ恐レナケレバナラヌノハ、論理上自然ノ結論デゴザイマセヌカ、茲ニ至ルト云フト拂フ者ハ皆金ヲ以テ拂フノデアルカラ、同ジ憂ハ伴ウテ出テ來ルノデ、移ラズシテ此經濟ヲ攪亂スルトコロノ現狀ヲ暫ク維持シテ、其時ヲ待テモ可ナリデアラウト思フ、此議論ハ本員ガ始メテ唱ヘララズ、茲ニ明確ナル文書ガアル、ソレハ外ノコトデアリマセヌガ、明治三十二年ニ鐵道ノ調査會ト云フモノガアリマシテ、鐵道國有論ガ其調査會ノ中ニ起ツタ、所ガ鐵道調査會ノ人ハ專ラ理財ノ方ニ明ルイ人ハカリデナイ、鐵道ノコトニ熱心ナル人ガ集ツタデアルカラ、理財ノコトハ理財ノ當局者ニ聞クベシト云フトコロノ普通ノ理ニ從テ大藏省ニ問合セタ、大藏省ノ理財局長ノ松尾臣善君ハ唯今本員ノ論ジタ如ク、同ジ道理ヲ以テ今日ハマダ、イロ／＼ナ公債ヲ發布シナケレバナラヌ時期デアル、臺灣事業公債其他イロ／＼ノ事業公債ヲ發シナケレバナラヌ時節デアルカラ、今鐵道公債ヲ出サルルト云フコトハ、頗ル不安デアルト云フトコロノ答ヲ與ヘタノハ、是ハ今ノ日本銀行總裁ノ松尾臣善君デアデ、是ノ如ク專ラ理財ノコトニ身ヲ委ネテ居ルトコロノ松尾臣善君ガ、一人デ調ベタノデナク、大藏省ノ理財局ノ調、若クハ省ノ調トシテ鐵道調査會ニ與ヘタ文書ハ、今獻トシテ茲ニ本文ガアリマス、御望ミナラバドナニモ御示スル、尙本員ハ是ヲ速記録ニ留メテ本員ノ説明ニアラスシテ、理財專門ノ人ガ是ノ如ク言デ居ルト云フコトヲ申サウト思フ、大藏省ノ三十二年ノ意見ハ、是ノ如キモノデアリマシタガ、當時ノ公債ハ總テ合セシメテモ、多分五億以下ノモノデアラウト思ヒマスガ、今日ハ三十二年カラ較ベマシテ、日本ノ經濟ハドレ程發達致シマシタカ、國力ハドレ程發達致シマシタカ、五億ノ公債ノトキニ尙且理財局長ノ松尾君ハ危險ナリト答ヘラレタガ、今ノ日本銀行ノ總裁ハ恐ラク同ジ意見ヲ持テ居ラデアラウト思フ、サウシマシタナラバ十八億、總計合セシメテ二十四億ノ公債ノトキニ、更ニ五億ニ近イモノヲ出スノハ、一層危險ヲ感ゼラレト思ヒマスガ、松尾氏ノ意見ヲ聞クコトハ出來セヌガ、日本銀行ノ副總裁ノ高橋君ハ、矢張倫敦ヨリ歸リテ直チニ日本ニ發表シタ意見ハ、今日ハ鐵道ヲ公債ヲ以テ買上ゲルノハ危險ナリト言デ居リマスガ、是ガ日本銀行ノ副總裁ノ意見見テゴザイマスカラ、理財事務ノ人ハ恐ラク是ノ如キ考ヲ持テ居ラデアラウト思フ、決シテ本員ノ架空ノ說ニアラズシテ、總テ是ノ如キ根據アルトコロノ危險ヲ懷イテ居ルカラ、竹越君ガ言ハレタ如ク、杞憂論者ニモアラズ、悲觀論者ニモアラズ、若シ悲觀論者デアルトスレバ、日本ノ財務ニ大關係アル人ニモ同ジ悲觀ヲ懷イテ居ルト云フトコトノ答ガ出來ルノデアリマス、是カラ博覽ノ佐々友房君ガ外國ノ例ヲ引イテ種々論ジラレマシタカラ、是ニモ一言答ヘル必要ガアルト思ヒマスガ、佐々君ハ獨逸ノ例ヲ引キ、ソレカラ伊太利ノ例ヲ引キ、尙瑞西ノ例ヲ引キ、處々ノ例ヲ引イテ、國有ニアラズンバ鐵道ノ本體ニ副ハナイ、鐵道ハ元來天ヨリ命ジテ國有タラシムルモノナリト、恰モ物理學ノ原則ノ如ク論ジマシタガ、本員ハ餘程是ヲ聽イテ疑ヲ生ジテ、頗ル失禮デアリマスガ、笑ヲ禁ズルコトヲ得ナカッタノデアアル、全體獨逸ノ國有鐵道ハ是ノ如キ簡單ナル理由ニ依テ成立タト本員ハ信ジテ居リマセヌ、獨逸ハ御承知ノ如ク、封建ノ遺政ヲ殘デ戻テ、普魯亞ハ其一部デアデ、聯邦ノ盟主ト漸ク近年ナッタデアリマスカラ、宇瀨西ニ威ヲ振フコトハ獨逸全體ニ向テ餘リ愉快ノ感ヲ與ヘヌ部分ガ多イデアアル、殊ニ宇瀨西ハ左様ナ考ヘテゴザイマシテ、先ヅ以テ經濟統一ノタメニ其以前ノ官線ヲ撤去シテ、總テヲ協定スルト云フノデ、帝國統一ノ謀ヲ立テ、次ニ交通ヲ統一シテサウシテ帝國統一ヲ計ラウト云フ歴史ノ必要ガアッタノデアリマスガ、流石ニ「ピスマー」ハ公然ト左様ニ言ハナカッタ、帝國ノ統一ト云フコトハ「ピスマー」ハ辯護シテ居ラヌ、「ピスマー」ガ議會ニ説明シタ其演說ヲ讀ンデ見マスルト、獨逸ハ分立シテ居テ、經濟上ノ共通デナイカラ、丁度官線ヲ撤去シタト同ジヤウナ形勢ノ下ニ、鐵道ヲ統一スル必要ガアルト論ジテ居ルハ、他ノ諸聯邦ノ嫉ニ反對ヲ避ケンガタメデアラ、故ニ當時ハ宇瀨西ダケニ是ヲ行フコトガ出來テ、徐々トシテ他ハ聯邦ニ及ボシテ確カ八年バカリヲ經テ、漸ク是ヲ完成シタト記憶スル、此例ガ違ヘバ佐々君ノ御正シヲ願フノデアリマスガ、本員ノ記憶スルトコロハ是ノ如キモノデアアル、ソコデ是ノ如キ必要カラ是ヲヤリマシタノト、竝ニ大陸國デアデ四隣ノ國ハ皆鐵道ヲ敏活ニ用ヰテ、兵ヲ出スト云フ恐レガアル、私ハ「ピスマー」ノ此事業ノ如キハ、矢張左祖セザルヲ得ヌ、殊ニ此場合ニハ相當デアルト思ウテ居ル、併ナガラ尙米國ヲ旅行シテ歸ラレタトコロノ御方ガ言フトコロヲ見ルト、本員ハ頗ル是ニ不同意ヲ表スルノデアアル、米國ノ鐵道ハ「トラス」ト以テ會社ガ大勢力ヲ持テ居ル、大統領モ議會モ制スルコトガ出來ナイ大勢力ヲ持テ居ルカラ、今日ハ鐵道民有論ガ民論トシテ盛ンデアルト言ハレマシタガ、大統領ノ意見書ヲ讀ンデ見ルト云フト、決シテサウ云フ極度ノモノデナイ、米國ニハ丁度英國流儀デ、百年トカ九十九年ト云フ長イ間特許ヲ得テ、其特許ガ盛ンニ勢力ヲ得テ米國ヲ支配スルヤウニナツテ居テ、此組合ハ國論ヲ左右スルニ至ルカラ、何トカシテ是ヲ制スルトコロノ法律ヲ立テタイト云フノデ、少ナクトモ日本ノ私設鐵道法ノ如キモノヲ大統領ガ議會ニ設定セシメテ是ヲ支配スル、其割合ヲ餘リ高クセシメタクナイ、其荷物ニ餘リ不便ヲ與ヘサセナイヤウニ「トラス」ヲ以テ直段ヲ上ゲルト云フコトヲ防グノ權力ヲ、政府ニ有セキコトデアデ、鐵道私設法ノアル日本ニ於テ、是ノ如キコトヲ言フノハ是亦夢ニ過ギナイト私ハ思フノデアアル、是カラシテ竹越君ハ白耳義ニ於テ、著シク國有鐵道ガ成功シタト言ハレマシタガ、本員ノ讀ンダ書ハ反對デアアル、白耳義デヤリカケテ一時成功シタガ大ニ弱デ、議會ガ調査シテ此議案ヲ豫算委員會デ討論シタトコロノ記錄ガアリマスガ、是ハ餘程前ノコトデアアル、丁度獨逸ガ國有鐵道ヲ拵ヘルト同時代ニ、歐羅巴ヲ席卷シ風靡シタトコロノ議論デアアル、ソレデ諸君其以前ニ白耳義ノ方ガヤリマシタカラ、經驗ヲ以テ——少シ弱タトコロノ經驗ヲ本員ハ知ツテ居リマス、千八百七十二年カラ七十四年ノ間ニ、政府ノ國有鐵道ハ非常ニ損ヲシテ、今マデ收入ガ有ルト思ツタモノガ無クナデ俄カニ弱タ、其弱タ原因ハ

何アルカト云へば、國有鐵道ニ向テ批評ヲ加フルトコロノ白耳義ノ論者ノ意見ハ斯様アル、凡ソ私立會社ノ物品ヲ買入レルニ、其規則ニ拘束セラレズニ廉イ時分ニ買入レル、今直グニ使ハナイデモ軌道ヲ車ヲ註文ヲシテ早ク準備スル、政府ノ會計規則ヲ拘束スル、國有鐵道ハ、ツレガヤレヌメニ廉イ品物ヲ買フコトガ出來ヌ、高イトキニ高イ物ヲ買ハナケレバナラヌ必要ニ迫ラレテ、白耳義ノ鐵道國有ハ大損ヲシテ、議會ノ問題ナラヌカ千八百七十二年七月十四年ノ間ノ問題アルカラ、竹越君ノ言ハハレル如キ成功ハナカッタと思フ、ツレカラ鐵道ノ上ニ付イテ伊太利デモ矢張左様ノ經驗ヲ經テ、トウノ私立ノ方ニ分ケナケレバナラヌト云フコロノ論ガ沸騰シタ、是等ノ諸國ガ皆成功ヲシタト云フコトハ本員ハ請合フコトハ出來ナイ、況ヤ日本ニ於テオヤト思フ、日本ニ於テオヤト云フコトハ、前ニ申シマシタル通り、鐵道ノ賃銀ヲ上ゲタノハ、私設鐵道ニアラズニ鐵道ガ成功スルコトニ依テ上ゲタノアル、ツレカラ進歩ノ度ハドウアルカト云フニ、官設鐵道ガ成功スルコトニ依テ上ゲタノアル、斯ウ考ヘ見エルト、此滿韓經營ノ方針モ決定マラナケレバ、稅則改正ノ方針モ決定マラズ、内地ニ於ケル諸般ノ設備モ亦次ノ議會ニ出スト云フ、其間ニ中アルト云フ時代ニ於テ、直チニ鐵道國有ヲ實行シナケレバ、國ノ安危ニ係ルガ如ク、外敵境ニ迫マルコトヲ豫想スルガ如キ理由ヲ以テ、鐵道國有論ヲ主張スルニ至ッテハ、本員ハ何分是ガ真正ノ理由ナリシテ、受取ルコトハ出來ナイ、唯本員ガ聞イテ居ッテ頗ル怪シム居ルコトコノ一事實ガアリマス、ツレハ斯ウ云フコトアル、昨年戰爭中ニ一度ハ關稅ヲ抵當ニシ、一度ハ專賣煙草ヲ抵當ニシテ、尙戰ガ續イタナラバ、何カ金ニナリ易イ物品ヲ政府ガ持ッテ、金ニ替ヘナケレバナラヌ、其時ハ鐵道ノ内地ノ公債ヲ以テ、人民カラ買上ゲテ、是ヲ金貨ニ替ヘル、一ノ基本財産アラウト云フ論ガ、タト云フコトハ本員ハ聞イテ居ル、是ハ戰爭耐ナルトキニ民間ニ傳エタ一ノ風説アル、是ガ根據アリハシナイカト思フ居ルノガ、是ハ公ノ理由、モウ一ツ私ノ理由ヲ私ハ茲ニ公言スルノモ餘リ快クナイトコロノ理由ガ一ツアリマス、ツレハドウアルカト云ヘバ、方々ノ鐵道會社ハ、多年買収セラレシコトヲ希望シ居タ、ツレハ其準備シテ居タ、準備ト云フハ外ノコトデハナイガ、買上ゲル年ニハ成ルベク割賦金ヲ多クシテ、高ク買上ゲラレル準備スル、ツレハ鐵道ノ普請ヲシナイ、鐵道ノ方ノ言葉申シマス、線路ヲ虐使シテ鐵道ニ金ヲ入レナイデ、多クノ割賦ヲシテ株ヲ上ゲテ置イテ、久シク準備シテ持ッテ居レバ、政府ノ國有ニシテ貰ヘルト云フ或會社ガアタマテ居リマスガ、此會社ノ請願モ亦一ノ理由ニナラ居ルコト聞イテ居リマス、是ハ現内閣ニ出シタニアラズシテ、前内閣ニ出シタトコロノ請求アルト承テ居リマス、若シ是ガ事實ナリトセバ、一ツ共ニ非ナリ戰已ニ終リタルトキニ當ッテハ、政府ガ是ノ如キモノヲ所有スルニ及バヌ、況ヤ其後ニ公債ガ無抵當テ出來ル位日本ガ、何ヲ苦シテ過去ノコトヲ夢ミテ、鐵道ヲ所有シナケレバナラヌト云フ必要ガアリマスルカ、第二ハ彼我ノ請託ニ依ッテ或會社ガ準備ヲシテ買上ゲラ望ムコトガ一ノ理由デアレバ、本員ハ奮然トシテ國民ノ心情ニ訴ヘナケレバナラヌ、是ハ本員ノ唯想像バカリデナイ、或ツレト符合スル事實ガ世ノ中ニアルニ至ッテハ本員驚カザルヲ得ナイ、是ハ本月十二日ノ國民新聞ノ中ニ法理ノ蹂躪ト云フ論題載リ居リマスルガ、某法學者ノ談シテ載リ居リマス、其文章ノ必要ナルトコロヲ讀ミマス(無用無用)ト呼フ者アリ、無用デナイ有用デアリマス「鐵道國有ナルモノハ固テ鐵道業者ノ要求スル所ニシテ(無用々々)ト呼ビ議場騷然」諸君ノ御靜ニナルマデ待ッテ居リマセウ「鐵道國有ナルモノハ固テ鐵道業者ノ要求スル所ニシテ今日トモ一部ノ何カ爲ニスル者ノ外ハ皆國有案贊成者タル實アリ云々」是ハ一篇ノ論文デアッデ、本月十二日ノ紙上ニ出テ居ル「法理ノ蹂躪」ト書イテ、某法學者ガ此法是律ヲ以テ買収スルノハ、私權ヲ蹂躪スルモノナリト云フ反對ノ論ニ答ヘルトコロノ論旨デアリマスカラ、

詰リ政府ニ贊成スルトコロノ論旨アル、無論國民新聞ハ前内閣ニ付イテハ、今ノ内閣ヨリ關係ノ深イコトハ世ノ人ガ認メテ居リマスルカラ、此原因ニ付イテハ前内閣ニ對テ尋ネル程、是ハ脈絡ノアル論文デアルト云フデ宜イ、其論文ニハ鐵道國有ナルモノハ、元ト鐵道業者ノ要求スル所ニシテ(無用々々)ト呼ビ議場騷然)サウ致シマスルノハ、此論文ニシテ根據アリトスレバ、此國有案ハ政府ノ自由獨立ノ意思カラ發シタルニアラズシテ、或鐵道業者ノ要求ガ原因ニナッタト推斷スルコトガ出來ル(拍手起ル)此論文ヲ抹殺スルコトハ出來ナイ、是ハ萬人ノ目ニ觸レテ居ル論文デアル、是ハ前内閣ノメニ辯護ノ勞ヲ執ッタルトコロノモノデアル、然ラバ某會社ガ豫テ買収セラレシコトヲ用意シテ、準備シテ、サウシテ鐵道ヲ虐使シテ割賦金ヲ殖ヤシテ株券ヲ高メテ、高ク買上ゲラレヤウト云フ請求ガ一部ノ原因ニナッタカト思フ、本員ガ當局ヨリ示サレタル鐵道ノ參考表ヲ見ルト、或會社ハ大ナル割合ヲ以テ算定セラレテ居ルノハ、多クノ割賦ヲシテ線アルト本員ハ思フ、是ノ如ク種々ナル方面カラ推定シテ見タラバ、是ハ或ハ民間ノ或一部ノ發意ヲ政府ガ採用セラレタノデアアルマイカ、前内閣ガ採用シタ案ヲ現内閣ガ承繼イダモノデアアルマイカト云フコトハ、決シテ本員ハ無根ノ推論ニハアラズト信ジマス、ツレハ本員ガ思ヒマスルニハ、成程鐵道業者ガ是ハ贊成スル譯デアル、前ニ申シマシタル、七尾鐵道、豐川鐵道、近江鐵道、豆相鐵道、尙私設鐵道ヲ買上ゲマスレバ、日本全國ノ民間ガ疲弊シテ居ル間ニ、或少數ノ人ガ俄ニ巨万ノ富ヲ得ルコトノ現象ガ必ズ此案ノ過ギタ後、一年ナラズシテ現ハレルコトハ本員ノ豫言スルコトガ出來ル、如何トナレバ價ノ下ガッテ居ル鐵道ヲ國家ガ損害ヲ顧ミズシテ買上ゲレバ、買上ゲラレタモノハ俄ニ巨多ノ利益ヲ得ルコトハ推定上、算出上、明確ナル事實デアリマスカラ、本員ハ此議案ノ經過シタ後、一年ナラズシテ社會ニ現ハレルトコロノ現象ヲ、冷眼ヲ以テ是ヲ觀察シヤウト思フ居リマス、斯ウ考ヘテ見タラバ(宜シイ)ト呼フ者アリ、此案ト云フモノハ眞ニ國家ノ利益カラ割出サレタル案ニアラズシテ、種々ナル空想ガ促シテ茲ニ至ラシメタモノデアル、ツレハ故ニ現内閣ガ未ダ稅則ノ改正モ緒ニ就カズ、滿韓ノ經營モ手ヲ著ケズシテ、直チニ是ヲ出サナケレバナラヌト云フ必要ニ迫ラレタハ思ヘマセヌ、本員ハ此點ニ於テ幹線ハ其年限ノ盡キニ從ッテ、政府ガ選シサウシテ段々國有ニシテ、自然ト此儘ニ放任シテ私設ト官設トノ間ニ、健穩ナルトコロノ競爭ヲ開カシメテ此進歩ト立ニ安全ト云フモノヲ保ッテ國民ノ福利ヲ完クスルノ處置ヲ執ラ、ト云フコトデアラナラバ本員ハ其方法ニ依ッテハ、此政策ヲ贊成シテハ、國有鐵道トスルモ非ナラズトノ論斷ヲ下スコトモ出來ルデアリマセウガ、今日ノ案ニ於テハ、本員ガ唯今マデ列舉シタルトコロノ事實ト道理トニ依ッテ全然國有誤ルモノナリ、國民多數ノ損害ハ、政府ノ手ヲ經テ、少數ノ人ニ期スルコトコロノ案デアッデ、價ナキトコロノ案デアリ、道理ナキトコロノ案デアルト、論斷シナケレバナラヌ、成田鐵道ノ如キ、或ハ高野鐵道ノ如キ、或ハ豐川鐵道ノ如キ、參詣ノ用ニ當テルトコロノ鐵道マデモ、或ハ陸軍ニ必要ナリトノ名ニ依ッテ或ハ經濟上有利ナリトノ名ニ依ッテ、之ヲ政府ノ手ニ收ムルト云フノハ、政府ノタメニ極メテ悲シムベキコトデアルト云ハナケレハナラヌ、本員ハ此理由ニ依ッテ、此案ヲ廢棄セラレシコトヲ望ミマス

(參照)

鐵道國有ト財政經濟

鐵道國有ノ財政上及ビ經濟上甚ダ危險ナル次第ハ屢々本紙ノ論シタル處ナルガ去ル三十二年ノ鐵道國有調查會ノ求メニ應ジ時ノ大藏省ハ理財局長松尾臣善氏ノ名義ヲ以テ經濟上財政危險ナルコトヲ論述セリ三十二年今日ノ經濟財政ヲ對照セバ果シテ如何ナル結論ヲ生ズベキヤ左ニ三十二年當時ノ所論ヲ紹介スベシ私設鐵道ヲ國有トスルニ當リ其代價ハ公債證書ヲ以テ會社ニ交付スルモノトスルキハ毎年凡ソ幾何ノ高マデ右ノ債證書ハ發行スルモ差支ナキカトノ問題ニ對シテ直ニ金額ヲ指定シテ明確ナル答辯ヲナスコトハ頗ル困難ナルコトナリト概括シテ云ヘバ

能論ノ如キハ、國家ヲ成スコトノ出來ナシ、猶太民族以外ノ今日ニ於テハ、既ニ滅亡シタル歴史中ノ殘灰ヲ持テ來テ、此戰場ニ振撒カウトスル愚論ナリト斷言セザルヲ得ナシ、(ヒヤ)ト呼フ者アリ、反對ノ第二論ハ、頗ル有力ニ聞ヘマス、即チ財政經濟ノ上カラシテ、此公債ガ下落シヤウト云フ杞憂論デアリマス、過去十八億ノ公債ニ向テ、更ニ新公債ヲ募ツタラバ、公債又公債、遂ニ日本公債ノ相場ヲ紊亂スルデアラウト云フコトハ、一應ハ尤デアラケレドモ是ハ、公債學ナルモノヲ御存知ナイトコロノ無學者流ノ杞憂ト、本員ハ言フデアル、言フマデモナク、公債ノ定義ニ於テ一方ニハ生産の公債、若クハ再生産力アル公債ト、他方ニ於テハ、不生産の、若クハ消費の公債ト、此區別サヘ分カッタラバ、同シ名ハ公債デアラモ其實質ニ於テ、全ク違フデアル、恰モ政府ト云ヘバ何處マデモ反對セヌケレバナラヌト云フノハ、反對黨諸君ノ御希望デアル、サリナカラ政府ノ實質如何ニ於テハ、全ク之ニ異ナルデアル、公債モ亦是ノ如シ、不生産の公債ヲ發スル程恐ロシ、併シ生産の公債ニ至テハ公債ノ目的物其モノガ坐ナガラニシテ、元利ヲ産シテ往クデアル、即チ我國ハ此鐵道國有法案ニ依テ、四十年ノ後六千七百七十七萬圓ノ利益ト、五千哩ノ鐵道ガ、國家ノ利益トナデ來ル、斯カル生産の公債ニ向テ反對スルト云フコトハ、公債論ノ原則スラモ御存知ナイトコロノ無理ナル御議論ト本員ハ斷言スルデアル、適切ニ申セバ、既往十八億ノ公債ハ恰モ不動產ヲ擔保ニシテ振出ストコロノ手形ノ如ク、斯カル手形ノ濫發ハ無論其信用ヲ害スルガ、今回ノ公債ハ正金ヲ準備シテ居テ、一覽拂フ仕出ス如キモノデアル、要スル點ハ、流通貨幣ノ運轉如何デアルト云フコト、其運轉ノメニコソ、政府ハ五箇年ノ餘裕ト云フモノヲ先ツ公債ノ中ニ入レタノデ、拔ケ目ナク斯クマデ此公債ノ上ニ注意ヲ致シテ居ル、本員ノ更ニ切望シテ諸君ノ同情ヲ求メナケレバナラヌコトハ、元來此十八億ハ既往ノ公債ニ對スル、一億ノ利子ノ負擔ハ國民ニ向テ重大ナルモ、此重大ナルモノハ何トカ輕減シナケレバナラヌ、輕減スルニハドウデアル、ドウシテ重大ナルモ、敢テ西國寺內閣ト云ハズ、時ノ政府ニ向テ、新シク財源ヲ拵ヘルヨリ他ニ方法ハナシデアル、其新シク財源ヲ拵ヘ、其確實ナル財源ニ依テ古ク高キコロノ公債ヲ新シク廉キコロノ公債ト借換ヘテ往クト云フ以外ニハ、日本ノ公債整理政略トシテ、此外ニ私明案ト云フモノハナシト信ズルデアル、現ニ此生産の公債ニ於テハ二十九年ノ事業公債ヲ見レニ付イテモ、臺灣ノ公債ヲ見レニ付イテ又北海道ノ公債ヲ見レニ付イテモ皆著々成功シタルデアル、前途ノ形勢ハ智者ヲ待タズシテ後知ルベキモノト、本員ハ斷言シタリデアル、更ニ經濟上ヨリモ一言ヲ加ヘナケレバナラヌ、諸君戰後ノ目的ハ無論、亞細亞大陸ニアルデアル、亞細亞大陸ニ對スル我國民ノ經營ニ於テ、第一ニ憂フベキモノハ、資本ノ缺乏、金利ノ騰貴、隨テ事業界ノ銷沈デアル然レニ此度ノ四億六千萬圓ノ公債ハ既往ノ固定資本ヲ一變シテ、流通資本ト致シ、其結果ハ今後日本ノ商業ハ、是ヨリ漸ク亞細亞大陸ニ向テ發展スル、其經濟的資本トナルト云フコトヲ思フニ付ケモ、此案ト云フモノハ經濟學上決シテ恐レベキモノデアリコト、本員ハ確信スルデアル、諸君(簡單簡單)ト呼フ者アリ、畢竟、反對論者トモ、ト議論ハ、根本ニ於テ異ナリ居ル、即チ消極的ノ方策ヲ以テ、如何ニ此經濟ノ運用ヲ致スコトガ出來マセウ、既ニ大石君モ見エラレヌガ、先刻ノ言葉ニ依テ見ルト、大石君ハ積極論者デアルカラ、必ズ本案ニ贊成シテ與レルヲウツ信ズルガ、其他ノ消極論者ノ如キハ日ク、歲入ニ從テ國家ノ經營ヲ完ツセヨ、曰ク、自然ノ發展ニ一任セヨト云フコトハ、本員ハ嘗テ之ヲ評シテ、國家ノ經營ヲ言ツタガ、生産の公債ニ反對スル人ハ之ニ「ト掛ケテ老後家ノ總勘定ト本員ハ罵倒スルデアル、(簡單々々)又ハ「ト呼フ者アリ、反對論ノ第二致シテハ、將來ノ經理上政府ハ果シテ是ガ目的ヲ達シ得ルヤ否ヤト云フコトデアル、是ハ見込問題デアルガ、是ハ本員ハ達シ得ラレト信ズルデアル、即チ經費節減ノ上ニ於テモ、

百三十萬圓ヲ示シ、而シテ輸送力ハ將來ニ於テ一倍以上二倍ヲ増ス其他實錢ノ低減ニ付イテハ、竹越君ヨリ說明シテ居ルガ更ニ進シテ日本ノ貿易品ヲ海外ニ發展スルニ至ツテモ、鐵道國有トナタタ曉ニハ、本員ハ一二茲ニ品名ヲ申上ゲテ見レバ、例ヘバ福島ト横濱間ノ生絲一噸ガ一哩七圓六十八錢ノ運賃ハ約其半分即チ三圓八十四錢ニ減シ、(阿漕)神戸間ノ茶一噸二圓七十錢ガ一圓八錢、能代横濱間ノ銅六圓十九錢ト云フモノガ、四圓十一錢トナル、斯ウ云フ實例ハ、獨リ日本ノ前途ノミナラズ、過去ノ歐洲各國ニ於テ、鐵道國有ヲ致シタル國ニ於テ、實驗シタルコトデアル、先刻島田君ハ伊太利ノコトニ向テ失敗デアルカノ如ク、本員ハ聽キマシケレドモ、伊太利ハ昨年一月カラ、鐵道國有ヲ實行シ、六月カラ十二月其私立會社ノ時ニ當テ收益一萬六千法ノモノガ鐵道國有トナデ一萬七千法、即チ一萬法ト云フモノガ、半期ニ増シタルト云フ實證ヲ確メタルデアル、斯ウ致シテ見タラバ、縱ンバ既往ノ内閣中ニ適所ニ適材ヲ用井ナカッタ弊ガアリトシテ見タトコロガ、此大膽ニシテ思慮アル新内閣ガ、而カモ自己ノ名譽ニ訴ヘテ提出シタ、其鐵道國有ガ、前途經營ガ出來ナイト云フコトニ成デハ諸君區々タル五千哩ノ鐵道、亞米利加ニ於テハ「ハリマン」一人ガ二萬哩ヲ支配シテ居ル、其五千哩ニ至テ前途ノ經營ムツカシデアラウト憂フルガ如キ御議論ハ、畢竟内閣ニ對スル攻擊ニアラズシテ、寧ロ此天才湧クガ如キ事務的材幹アルトコロノ御同様ノ國民ヲ侮辱スルモノデハゴザイマスマイカ(拍手スルモノアリ)故ニ本員ハ反對黨諸君ニ向テハ、暫ク現内閣ガ多數ヲ有スル間、之ニ信任シ暫ク其技倆ヲシテ可ナリト云フコトヲ忠告シタリデアル、諸君論ジテ茲ニ至リマスレバ、最早反對黨ノ論據ト云フモノハ開城ヨリ外ナカラウト思フ、(拍手起ル)去リナガラ本員ハ尙茲ニ本案贊成ノ理由ヲ一層明白ニセンガタメニ、今一言附加ヘルトコロノ必要ガアル、諸君、軍事上鐵道國有ノ非要デアルト云フコトニ關シテ、陸軍大臣ハ頗ル追窮セラレタルデアル、殊ニ島田君ノ如キハ、之ニ向テ唯今モ非難ヲ加ヘラレタケレドモ、此陸軍大臣ハ受働的見地カラシテ、此鐵道國有ノ必要ヲ說イタカラ、反對ヲ受ケタノデアル、本員ハ區々タル專門技術ノ末ニ拘ハラズシテ、積極的即チ攻撃的ノ軍事行動ヨリシテ、此鐵道國有ノ必要ヲ一言シテ見タイ思フ、(譁聽又簡單)ト呼フモノアリ、諸君、全國三十何箇所ニ分レテ居ル鐵道會社「レール」ニ、汽罐ニ、運轉車ニ、貨車其他、各材料ノ不一致ナルコトモ明白デアル、其結果ハドウデアルカ、官設線ノ輸送力ト、私設鐵道ノ輸送力トハ、全ク統一シナイデアル、此結果日露戰爭ニ實際及ンダトコロノ其證據ヲ諸君ニ申上ゲテ、成程鐵道ハ國有ニナサルベカラザルト云フコトヲ、軍事上私ハ立證シテ見ヤウト思フ、諸君、東海道線ハ一日二十列車ノ運送力ガアル、然レニ、此官設線ハ二十列車ヲ輸送シ得ルニモ拘ハラズ、神戸以南ノ私線ハ、之ニ伴ナハザル結果、已ユラ得ズ戰時ニ於テハ、十四列車ヲ以テ極端ト致シタルデアル即チ一日六列車ノ差別ト云フモノハ、兵士ニ於テ見ルト約五千人、馬ニシテ見ルト五百何頭ト云フモノ、停滯ヲ致スト云フコトハ、論ヨリ證據戰機ノ熟スルマデ、空シク海岸ニ何日ナク兵士ヲ停滯サセテ、第八師團ノ如キハ大阪ニ止マルコト二箇月以上ニ及ンダコトハ、諸君ノ御承知ノコトデアル、斯カル實例ハ則チ官設鐵道ノ輸送力ト、私設鐵道ノ輸送力ト、平均ナル結果デアルト云フコトハ寧ロ消極的證據デアル、更ニ積極的證據ニ至テハ、重大ナル事實ガアル、忘レモセヌ、奧大將ノ第二師團ハ、諸君、如何ナル苦心經營ノ下ニ於テ此輸送ヲ實行致シマシタカ、當時一方ニ於テハ旅順、他方ニ於テハ「グロバトキン」ノ中軍ニ喰入ガハタメニ、奧大將ハ一瞬間ヲモ爭フ程ノ急速力ヲ以テ、亞細亞大陸ニ上陸ヲシナケレバナラヌ、然レニ輸送力ノ不統一ノ結果ハ、ドウデゴザイマセウ、已ムナク先發隊ノ多クノ者ハ、鎮南浦附近ニ於テ、十四日間後發隊ヲ船中ニ於テ待タナケレバナラヌ、然レニ普通通ナラバ四日ハ減縮サレタデアル、諸君、此四日間ハ方ニ是國家興亡ノ其四日間、若シモ露國ガ數理的ノ頭腦ヲ以テ日本ノ輸送力ヲ計算サレタナ

ラバ此名譽アルトコロノ輿論ナリモノ、魏子富ニ於ケル結果ハ、如何ナル有様ニ陷
タデゴザイマセウカ、本員ハ今尙之ヲ憶フモ、其肌ノ慄然トシテ塞サザ感ズルニ堪ヘナイ
ノデアル(「ロヤノ」ト呼フ者アリ)是ノミナラス、今日輸送シテ居ルコロノ軍隊ハ、五箇
月ヲ要シナケレバ、此六十萬ハ内地ニ歸レナイノデアル、ナセ五箇月ヲ要スルカト云フニ、
大連マデ到ルトコロノ東清鐵道ノ輸送力ト、大連カラ内地ニ至ルトコロノ海上ノ輸送
力ハ平均スル、併シ内地ニ至ルト、飄軍ノ口ノ如ク段々トツボマデ來ルガタメニ、四箇
月ノモノガ五箇月ニナル、諸君、一箇月ノ經費ハ幾ラカト云ヘバ、八千萬圓掛ルノデア
ル、斯ウ云フ明白ナル事實ヲ見來タナラバ、豈啻受動ノ軍事行動ノミナランヤ、攻撃
ノ軍事行動ノ必要上、鐵道國有ト云フモノハ、即チ經濟ノ上、財政ノ上ニ伴ッテ、軍
事上又大必要ナルト云フコトハ明確ナルト思フ、終リニ臨ンデ、以上立論スルガ如
ク、本案ハ財政上、經濟上、軍事上、是非共通過ヲ希望スルト共ニ、本員ハ此機會ヲ
利用シ、前外務大臣加藤氏ガ、本員等ト不幸意見ヲ異ニシテ、其意見ハ免ニ角、茲ニ
斷然勇退セラレタト云フコトハ、流石カニ諸君ノ贊成スルコロノ立憲内閣ニ於テ、大
臣補弼ノ責任ヲ完ウシタモノト、本員茲ニ感謝ヲ表スルト共ニ、此有力ナル一外務大臣
ヲ失フテモ、尙且斷々乎トシテ本案ヲ提出シタルトコロノ當内閣、就中西國寺總理大
臣ニ向テ無限ノ同情ト尊敬トヲ表スルノデアル、(拍手起ル)諸君曩ニ減債基金ノ
時ニ於テ、反對黨ノ諸君ハ何ト言ハレタノデアル、減債基金ヲ致シタルコトガ、日本ノ信
用決シテ増加シナト言ハレタ、其悲觀ノ想像ハ如何ニナッテ來タカ、一月二十七日日減
債基金法ヲ提出ノ時以來、世界ノ金融市場ハ「モロッコ」事件及露西亞ガ五億ノ新
公債ヲ募集タ、此影響アルニ拘ハラズ、日本ノ公債ハ、諸君ノ大多數ヲ以テ通過シテ吳
レタタメニ、其市價ヲ維持シ來タタノデアル、又此軍事、經濟、財政ノタメニ必要ナル、
鐵道國有法案ガ、議會ニ提出サレタ、此三月三日以來ノ相場ヲ見ルト、是モ亦順潮
デアル、順潮ヲ得タノミナラス、段々此案ノ通過ガ明カニナルニ從ッテ、日本ノ公債ト云
フモノハ騰貴シタルノデアル、三月三日、八十九兩八分一ノ四分利付ノモノハ、昨日、
九十兩四分ノ二ニナッテ、六分利付ノ百三兩四分ノ三ノ四分利付ノモノハ、昨日、
ニ騰貴シタルノデアル、其他順潮ナル市場ノ形勢ヲ見ルニ付ケテモ、反對黨ノ諸君ハ宜
ク御安心下サテ可ナリト本員ハ思フノデアル、(「ロヤノ」ト呼フ者アリ)當時島田君
ノ如キハ、本員ノミナラス、諸君ヲ以テ猿智慧ト云ハレタケレドモ、此猿智慧ノ結果ハ、
今果シテ如何、島田君ハ名譽ヲ重シズル紳士トシテ、本員ハ尊敬スルト共ニ、此猿智
慧ト呼ンダトコロノ結果ヲ見タナラバ、今日ハ島田君ト雖トモ、殊ニ先刻我親友竹越
君ヲ罵倒シ、虛飾誇大ノ言ヲ弄シタルト云ムトハ、島田三郎君自ラガ虛飾誇大ノ言ヲ弄
シタル適證デアル諸君智者ハ坐ナガラニシテ天下ヲ知ル、若モ島田君智者デアッタナ
ラバ、此智識ハ不幸ニシテ此際ニ於テハ、毎日新聞樓上内外ニハ走ラナカッタト云フコ
トニ付イテ、本員ハ茲ニ謹シテ本日此席ニ於テ、先日受ケタトコロノ猿智慧ト云フ言葉
ニ付イテハ、熨斗付ノマ、之ヲ島田先輩ニ返呈致ス(笑聲起リ拍手起ル)ト共ニ終リテ
ナイ、最後ニ於テ賢明ナル諸君ニ向ッテ、訴ヘタイコトハ、今や我國ハ日露戰爭ノタメ
理上ニ於テハ、亞細亞大陸ニ隣リ、歴史のニ於テハ既ニ歐洲ノ一強國ト提携致シタ
日本ハ、實ニ世界ノ日本デアル、此世界ノ日本ヲ經營スルニ於テ、彼ノ村夫子の識
論ヲ以テ、ドウシテ諸君此經濟の難關ガ切抜ケラレマセウカ、希クハ諸君ハ曩ノ減債基
金法ニ向ッテ大多數ヲ以テ通過シテ吳レタ如ク、更ニ此鐵道國有法案ニ向ッテモ、又大
多數ヲ通過ガ出來タナラバ、吾ハ此名譽アル第二十二議會ノ最後ノ員ニ於テ、所謂
錦上添花ヲ添ヘルト云フ、即チ國民ノ奉公心ハ、此以上ニナイト云フコトハ本員ハ確信ス
ルト共ニ、不幸萬一此事ガ否決セラル、ガ如キコトガアッタナラバ、九切ノ功ヲ一貫ニ關ク
ト思フカラ、希クハ一人モ多ク反對黨諸君ニ於テ、此案ニ御贊成アラント切望致ス
次第デアリマス(拍手起ル)

〔討論終結ト呼フ者アリ〕

○長谷場純孝君 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス、最早議モ熟シタト考ヘマス、今
ノ此案ヲ通過シマシタ以上ハ、直チニ京釜鐵道買収法案ヲ是非今日中ニ議了致シタ
イト思ヒマス、此案ノ討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

〔贊成々々ノ聲起ル〕

○議長(杉田定一君) 討論終結ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシノ聲起ル〕

○議長(杉田定一君) 討論終結ニ定規ノ贊成アリト認メマス、討論ハ終結致シマシ
タ、採決ノ方法ニ依リマシテ、長谷場純孝君外數名ヨリ定規ノ贊成ヲ以テ記名投票
ヲ要求ノ書面ガ出テ居リマス、因テ衆議院規則第八十七條ニ依リマシテ、記名投票ヲ
以テ採決ヲ致シマス

〔贊成々々ニ異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 尙申上ゲマスガ、二讀會ヲ開クベシト云フ御方ハ、白イ札ヲ
御持參ニナルヤウニ願ヒマス、又二讀會ヲ開クベカラスト云フ御方ハ青キ札ヲ御持參ニ
ナルヤウニ願ヒマス——閉鎖

〔書記氏名ヲ點呼ス〕

○議長(杉田定一君) 投票漏ハアリマセヌカ——投票漏ハナイト認メマス——開
鎖——開匣

〔書記官投票ノ數ヲ計算ス〕

○議長(杉田定一君) 投票ノ結果ヲ書記官長ヨリ報告致サセマス

(林田書記官朗讀)

出席總員 三百五十二
可トスル者 二百四十三
否トスル者 百九

(拍手起ル)

○議長(杉田定一君) 投票ノ結果ヲ書記官長ヨリ報告致サセマス

(林田書記官朗讀)

出席總員 三百五十二
可トスル者 二百四十三
否トスル者 百九

(拍手起ル)

○議長(杉田定一君) 投票ノ結果ヲ書記官長ヨリ報告致サセマス

(林田書記官朗讀)

出席總員 三百五十二
可トスル者 二百四十三
否トスル者 百九

(拍手起ル)

○議長(杉田定一君) 投票ノ結果ヲ書記官長ヨリ報告致サセマス

(林田書記官朗讀)

出席總員 三百五十二
可トスル者 二百四十三
否トスル者 百九

(拍手起ル)

○議長(杉田定一君) 投票ノ結果ヲ書記官長ヨリ報告致サセマス

(林田書記官朗讀)

出席總員 三百五十二
可トスル者 二百四十三
否トスル者 百九

(拍手起ル)

○議長(杉田定一君) 投票ノ結果ヲ書記官長ヨリ報告致サセマス

(林田書記官朗讀)

出席總員 三百五十二
可トスル者 二百四十三
否トスル者 百九

(拍手起ル)

○議長(杉田定一君) 投票ノ結果ヲ書記官長ヨリ報告致サセマス

(林田書記官朗讀)

出席總員 三百五十二
可トスル者 二百四十三
否トスル者 百九

(拍手起ル)

○議長(杉田定一君) 投票ノ結果ヲ書記官長ヨリ報告致サセマス

(林田書記官朗讀)

出席總員 三百五十二
可トスル者 二百四十三
否トスル者 百九

(拍手起ル)

○議長(杉田定一君) 投票ノ結果ヲ書記官長ヨリ報告致サセマス

田村惟一君 入江武一郎君 松本長平君 守屋謙三君
根津嘉一郎君 竹村良貞君 飯本大郎君 佐藤伊助君
大石正己君 木村仁太郎君 飯島省三郎君 久保田與四郎君
關野善次郎君 石崎東藏君 鹿本初實君 齊藤一郎君
清水隆德君 神村眞太郎君 山田平太郎君 井手武右衛門君
東尾平太郎君 加藤政之助君 尾形平太郎君 菅澤重雄君
星野仙藏君 江藤新八君 武富千次郎君 首藤陸三君
坂口仁一郎君 內藤勝利君 須見千次郎君 星松三郎君
鈴木久次郎君 箕浦勝人君 關西村春茂君 鳩山和夫君
肥塚龍喜君 木下謙次郎君 西谷清慎君 關寺敬信君
青地雄太郎君 野口源一郎君 犬養毅君 藤澤幾之輔君
森田卓爾君 堀口連太郎君 安田養毅君 藤上嘉平君
金岡又左衛門君 堀口連太郎君 安田養毅君 藤上嘉平君
小田文行君 澤上太一郎君 北田具雄君 齊藤嘉七君
荒谷桂吉君 井上重藏君 菊池九郎君 合田福太郎君
岡本金太郎君 小河口仲次君 國谷亨君 淺野陽吉君
加瀬禎逸君 山口熊野君 三輪信次郎君 高橋勝七君
濱田安太郎君 萩野左門君 富島暢夫君 藤崎朋之君
菊池武德君 米岡雄吉君 堀田三郎君 早速整爾君
鈴木倉次郎君 安岡退藏君 石田貫之助君 花井卓藏君
濱口擔君 鵜飼雄藏君 石田貫之助君 米田武八郎君

○議長(杉田定一君) 是ニテ本案ハ二讀會ヲ開クベシト云フコトニ決シマシタ
○長谷場純孝君 本案ハ直チニ二讀會ヲ開カレ、且逐條審議ヲ省イテ議案ノ全部ヲ
議題ニサレ、尙進シテ二讀會ヲ省略シ二讀會ニ於テ確定サレンコトノ勸議ヲ提出致シ
マス

(贊成々々)ノ聲起ル

○議長(杉田定一君) 長谷場君發議ノ通、直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シ
テ確定スルコトニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ)ノ聲起ル

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス直チニ二讀會ヲ開キマス

國有鐵道法案

(原案贊成異議ナシ)ノ聲起ル

○議長(杉田定一君) 採決致シマス、本案ニ付イテハ別段御異議ガアリマセヌカラ、
逐條審議ニ涉ラズ、全部ヲ一括シテ採決致シマス、委員長報告通原案ニ贊成ノ御方
ノ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○議長(杉田定一君) 大多數ト認メマス、原案ニ可決セラレマシタ、是ニテ本案ハ確
定ヲ致シマス、日程第八、京釜鐵道買収法案第一讀會ノ續

第八 京釜鐵道買収法案(政府提出)

第一讀會ノ續

○長谷場純孝君 此京釜鐵道買収法案ハ、先刻委員長トシテ御報告申シマシタ通、
特別委員會ニ於テハ四十五名中、一人ノ異議者ナク一字ノ修正ナク、政府提出ノ案

ニ賛成ヲ表シテ、テゴザイマス、故ニ直チニ二讀會ヲ開キ、續イテ三讀會ヲ省略シテ、政府原案ノ通り可決セラレシコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 本案ニ付イテ二讀會ヲ開クニ付イテ、御異議アリマセヌカ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、長谷場君發議ノ通、直チニ二讀會ヲ開キ二讀會ヲ省略シテ確定スルコトニ御異議アリマセヌカ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、全部ヲ讀題ニ供シマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、全部ヲ讀題ニ供シマス

京釜鐵道買收法案

確定讀

○議長(杉田定一君) 委員長報告通り原案ニ付イテ御異議アリマセヌカ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、本案ハ是ニテ確定ヲ致シマシタ

○議長(杉田定一君) 本日ハ是ニテ散會ヲ願ヒマス

○議長(杉田定一君) マダ讀題ガ殘リ居リマスガ、今日ハ是ニテ散會致シマス、尙報告スルコトガアリマス

○議長(杉田定一君) マダ讀題ガ殘リ居リマスガ、今日ハ是ニテ散會致シマス、尙報告スルコトガアリマス

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

明治三十八年法律第十七號中改正法律案
(第二號)明治三十九年度歳入歳出總豫算追加案
(特第一號)明治三十九年度特別會計歳入歳出豫算追加案
(追第二號)豫算外國庫ノ負擔ト爲ルヘキ契約ヲナスヲ要スル件

一委員ヲ指名スル左ノ如シ

官幣社經費ニ關スル法律案

樂山 和一君 遠山 正和君
大津 淳一郎君 小田 文行君
持田 若佐君 井上 與一郎君

貨幣法中改正法律案 澤田 佐助君 天野 藤三君

伊藤傳右衛門君 影山 甚右衛門君 松本 君平君

森 茂生君 武富 謙次郎君 須見 千次郎君

市田 兵七君 木下 謙次郎君 野上 嘉平君

小山田 信藏君 小林 元剛君 江角 千代次郎君

早速 整爾君 松林 仲次君 永見 寛二君

徵兵令中改正法律案 橫井 時雄君 麥田 宰三郎君

木暮 武太夫君 中倉 万次郎君 鳥山 敬二郎君

松本孫右衛門君 荒谷 丹次郎君 湯山 壽介君

大石 熊吉君 福留 清四郎君 合野 龜三郎君

小川 平吉君 神嶺 才一君 大野 晴二君

○議長(杉田定一君) 明日ノ日程ヲ朗讀致サセマス

(書記朗讀)

議事日程 第十六號 明治三十九年三月十七日(土曜日)

午後一時開議

第一 農工銀行補助法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會ノ續(委員長報告)

第三 韓國ニ於ケル裁判事務ニ關スル法律案 第一讀會ノ續(委員長報告)

第四 內國官憲ノ管掌ニ屬スル事項ニ付統監ノ職權ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第五 醬油稅則中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第六 軍人恩給法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第七 郡制廢止法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第八 市制改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第九 町村制改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十 郡制廢止法律案(尾見廣五郎君) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十一 債務者ニ代位スル債權者ノ登記申請ニ關スル法律案(高橋安爾君) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十二 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案(久保伊一君) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十三 民事訴訟法中改正法律案(森田卓爾君) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十四 齒科醫師法案(青柳信五郎君) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十五 衆議院議員選舉法中改正法律案(森本駿君) 第一讀會

第十六 衆議院議員選舉法中改正法律案(波多野傳三郎君) 第一讀會

第十七 衆議院議員選舉法中改正法律案(高橋安爾君) 第一讀會

第十八 屠場法案(川島藏君) 第一讀會

第十九 監視廢止ニ關スル法律案(望月長夫君) 第一讀會

第二十 四幹線鐵道敷設ニ關スル建議案(佐竹作太郎君) (委員長報告)

第二十一 精神病學科設置ニ關スル建議案(山根正次君) (委員長報告)

第二十二 日本體育會國庫補助ニ關スル建議案(山根正次君) (委員長報告)

第二十三 航海補助ニ關スル建議案(近江谷榮次君) (委員長報告)

第二十四 市町村立小學校教員俸給國庫補助ニ關スル建議案(根本正君) (委員長報告)

第二十五 高等水產學校設立ニ關スル建議案(川原茂輔君) (委員長報告)

第二十六 羽越鐵道速成ニ關スル建議案(瀨下秀夫君) (委員長報告)

○議長(杉田定一君) 本日ハ是ニテ散會致シマス

午後六時五十八分散會